

# 日本音楽財団の歩み

(1994年度～2003年度)

日本音楽財団  
NIPPON MUSIC FOUNDATION

# 日本音楽財団の歩み

(1994年度～2003年度)



Stradivarius "Paganini Quartet"

# 目 次

ごあいさつ	会 長 小林 實	2
	特別顧問 首藤 堯	3
特別寄稿	ロリン・マゼール	4
	サイモン・ラトル	5
巻頭写真集		6
Nippon Music Foundation - The First 30 Years and the Future		15
1. 日本音楽財団(設立から30年そして将来に向けて)		25
2. 1994年度(設立20年)からの実施事業		29
1) 音楽国際交流事業		31
弦楽器名器の購入・保全・貸与		31
財団所有楽器による国内演奏会の開催		39
財団所有楽器による海外演奏会の開催		51
2) 演奏会の開催事業(著名指揮者、オーケストラ等による演奏会)		60
3) 音楽文化の振興事業(音楽助成金の交付事業)		65
4) その他協力事業		68
3. 役員、委員名簿		69
4. 資 料		79
①日本船舶振興会(日本財団)からの補助金等実績(1974年度から2003年度)		80
②事業費一覧(1993年度から2003年度)		81
③財団保有楽器の概要		82
④楽器貸与状況一覧(1995年から2004年)		98
⑤財団主催演奏会曲目一覧(国内・海外)		101
⑥所有楽器及び貸与者によるCD一覧		110
⑦音楽助成金交付実績(1994年度から2003年度)		112
⑧協力事業内容一覧(1994年度から2003年度)		117
日英表記一覧		126
編集後記	理事長 塩見 和子	129

## ごあいさつ



財団法人日本音楽財団は1974年3月23日に設立し、設立から約20年間は財団法人日本国民音楽振興財団という名称でアマチュア音楽の振興を行なっていました。

設立から25年までの「日本音楽財団25年の歩み」はすでに編纂しておりますが、20周年を記念して開始した音楽国際交流事業も今や当財団の主事業となっており、10年を迎える節目にこの業績を記録し、当財団の国際交流事業をよりご理解いただけるよう、「日本音楽財団1994年度から2003年度の歩み」と題し、本史を発行する運びとなりました。

私は2003年6月に会長に就任し1年が経ちます。この国際交流事業が軌道にのってきからの当財団を内部から見てみますと、この事業開始にあたっては諸先輩方のご尽力が多々あったことが推察されます。音楽分野における国際貢献という事業を開始する英断をされた意思を引き継ぎ、ストラディヴァリウスやゲルネリ・デル・ジェスを有意義に活用し、次世代へと繋ぐ「管理者」の代表を務めさせていただこうと気持ちを新たにしております。

ストラディヴァリウスの名器を多数一堂に会しての演奏会は、世界においてもそれほど多く開催されることがないことから、1997年から毎年実施している各開催地においては、殊の外、大変好評を博しており、当財団の楽器貸与事業の効果的な広報ができていると確信しております。

私は従来から音楽は好きで様々な演奏会に伺っていましたが、主催する側としての立場で、また演奏者側の立場から音楽を考えるようになると、新鮮な発見があり、クラシック音楽の奥深さを感じております。

当財団の活動はすべて競艇交付金による日本財団の助成金で支えられています。公営競技の厳しい時代の中、当財団の事業に理解を下された日本財団の曾野綾子会長・笹川陽平理事長並びに競艇関係の皆様方にあらためて御礼申し上げますとともに、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

財団法人 日本音楽財団  
会 長 小 林 實

## 「日本音楽財団の歩み」(1994年度から2003度) 発刊にあたり

私は、1992年5月に日本音楽財団(当時は日本国民音楽振興財団)の会長に就任しましたが、その当時、当財団は学校教育の場における吹奏楽や合唱を主としたアマチュア音楽を振興する事業を実施しておりました。私が会長職に就いた2年後の1994年、新たに音楽国際交流事業として弦楽器名器を購入して演奏家に無償で貸与する事業を開始いたしました。この10年は幸運にもすべて順調に事業展開することができました。



この音楽国際交流事業開始にあたっては、日本財団の笹川陽平理事長に多大なるご理解を頂きましたことをこの場を借りまして、厚く御礼申し上げます。また当時の当財団の担当常務理事であられた苦米地行三氏には、当財団が最初取得した「パガニーニ・クワルテット」の購入に係わる市場調査から加わっていただき、さまざまなお知恵並びにご協力をいただきました。さらに同氏の後任常務理事であられた西澤辰夫氏にも、多々ご協力を賜りましたことを忘れることはできません。

弦楽器名器取得においては、最初から世界的な鑑定の権威を継承していると言われているアンドリュー・ヒル氏に協力を得られることができました。また、弦楽器貸与においては、世界的に著名な指揮者ロリン・マゼール氏に当財団の楽器貸与委員会委員長として、当初から貴重なご意見を頂戴することができましたが、これらは、塩見理事長の国際的な活動における人脈を有意義に駆使した賜物だったと確信しております。

設立20年を機に当財団が選択した弦楽器名器の保有・保存とそれらを国際的に貸与する事業は、世界の音楽界から極めて好感を持って受け入れられており、日本の文化面での国際貢献として高く評価されております。また、海外の多くの音楽組織との間で当財団が築きあげてきた国際ネットワークは我が国が音楽関係国際事業を展開する上で極めて貴重なものがあります。

2003年6月に私は会長職を退き、小林實会長に今後の活動をお任せすることになりましたが、日本音楽財団が今後ますます将来に向けて、大きな発展を遂げられることを望んで止みません。

財団法人 日本音楽財団  
特別顧問 首 藤 堯

## 特別寄稿



Maestro Lorin Maazel  
ロリン・マゼール

指揮者、ニューヨークフィルハーモニック芸術監督  
(Age of Stradivarius 2003年11月開催プログラムより)

The contribution of the Nippon Music Foundation to the vitality and promulgation of Music as a Performing Art is awesome.

The highest quality string instruments bought by the Foundation have been placed in the precious hands of major young artists from many countries and cultures who in turn have performed hundreds of concerts on these fabulous instruments of tonal beauty.

Great music thus enhanced flows more meaningfully than ever into the mainstream of contemporary life. The artist's youth and commitment to music bring renewed intensity to an art form ever in need of renewal.

With an organization at work such as the Nippon Music Foundation, classical music need never fear crisis or loss of following. If classical music continues to thrive, it will be thanks to this kind of effort.

My thanks and gratitude to the Nippon Music Foundation!

クラシック音楽を「生きた芸術」として広めようとする日本音楽財団の活動に対し、私は、楽器貸与委員会の委員長として最大の賞賛を贈りたいと思います。

財団が所有する弦楽器名器は、さまざまな国や文化を背景にした若い演奏家の才能溢れる手にゆだねられ、美しい音色が世界各地で多くの人々の耳に届いています。演奏家の若いエネルギーと真摯な姿勢はクラシック音楽の分野に新しい息吹をもたらし、その結果、至高の芸術としてのクラシック音楽は、今や現代社会の中で以前よりも重要な地位を占めつつあると考えています。

日本音楽財団のような志をもつ組織の努力と活動があつてこそ、クラシック音楽は次世代へと確実に引き継がれ発展していくのです。

日本音楽財団へのお礼と感謝の気持ちをこめて。



Sir Simon Rattle  
サイモン・ラトル

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者・音楽監督  
ザルツブルグ・イースター音楽祭 音楽監督  
(Easter with Stradivarius 2004年4月4日開催プログラムより)

©Simon Fowler / EMI Classic

Ladies and Gentlemen,

The Salzburg Easter Festival, the Berlin Philharmonic and I are committed to the aim of playing music live with the highest standards of excellence.

Such intentions can only be realised when optimum conditions prevail, the right instruments are available and partners are found who help to make this all possible. Since 1996 The Nippon Foundation has been one such partner of the Easter Festival.

Nippon Music Foundation, a sister Foundation to The Nippon Foundation, makes a contribution of inestimable value to the quality of our concerts by giving young and very talented musicians the best string instruments or making a violin available from the Foundation's collection to Toru Yasunaga, concertmaster of the Berlin Philharmonic. I should like to express my deeply felt gratitude to the Foundation for providing this specific kind of help.

It is an extraordinary privilege to be able to experience a concert played on all the Stradivarius instruments in the Foundation and will remain unforgettable for us all.

We are also grateful to the Royal Academy of Music in London for loaning the Stradivarius viola.

May I wish you every joy on this magnificent occasion.

ザルツブルグ・イースター音楽祭ならびにベルリン・フィルハーモニー管弦楽団と私は、皆様に最高の生の演奏をお届けすることに専念してきました。

我々のこうした努力は、最善の演奏条件が揃った時にはじめて実を結ぶことができるのです。その条件とは、最適な楽器を手にすることができ、それを可能にしてくれるパートナーの努力が実を結んだときです。1996年から今日まで、日本財団はイースター音楽祭にとってそのようなパートナーのひとつです。

日本財団の関連財団である日本音楽財団は、才能溢れる若い音楽家に最高級の弦楽器を無償貸与しているだけでなく、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の第一コンサートマスターである安永徹にもヴァイオリンを提供していただき、我々が質の高い演奏を続けるうえで計り知れない貢献をしてくださっております。日本音楽財団のご支援に対してあらためて心から御礼を申し上げます。

本日、演奏がすべて日本音楽財団のストラディヴァリウスによって行われるという記念すべきコンサートを聴くことが出来たことは幸運であり、我々にとって一生忘れることのない思い出となることでしょう。

最後になりましたが、本日のためにストラディヴァリウスのヴァイオラをお貸しくださったロンドンのロイヤルアカデミー・オブ・ミュージックに感謝申し上げます。皆様この壮麗なひとときをどうぞお楽しみください。



日本財団会長室にて 1994.4.26  
当財団初代会長である笹川良一氏に、「パガニーニ・クワルテット」の取得報告  
中央笹川良一氏、右側奥よりレヴィ氏(コーコラン美術館館長)、ヒル氏(当財団楽器アドバイザー)  
左側手前より苜米地行三氏(日本財団常務理事)、塩見和子当財団理事長



米国コーコラン美術館にて 1994.2.27  
「パガニーニ・クワルテット」売買契約締結

## 楽器貸与委員会風景（中央はロリン・マゼール委員長）

### 初代楽器貸与委員メンバー

ロリン・マゼール（委員長）  
 ジャン・ピエール・デ・ラオノア  
 ヤーノシュ・シュタルケル  
 ドロシー・ディレイ  
 吉田貴壽  
 塩見和子



第2回 オーストリア国ザルツブルグにて 1996.8.24

### 2004年3月31日現在の楽器貸与委員メンバー

ロリン・マゼール（委員長）  
 ジャン・ピエール・デ・ラオノア  
 ヤーノシュ・シュタルケル  
 チョン・キョン・ファ  
 海老澤敏  
 塩見和子



第9回 米国コロラド州ヴェールにて 2003.7.26

## ベルギー・エリザベート王妃国際コンクールヴァイオリン部門優勝者への楽器貸与







Age of Stradivarius 演奏会風景 (2003.11.26,27,28 東京)





Easter with Stradivarius 演奏会風景 (2004. 4. 4 ザルツブルグ)





演奏終了後のスタンディングオベーション

演奏会後のレセプション（2004.4.4 ザルツブルグ）



スピーチをする塩見当財団理事長



演奏家を囲んでのレセプション



左より  
小林当財団会長  
ラトル夫人  
曾野綾子日本財団会長  
サイモン・ラトル氏  
塩見当財団理事長



## **Nippon Music Foundation – The First 30 Years and the Future 1974 – 2003**

Nippon Music Foundation (NMF) was established in 1974. At the time of establishment, the main objective of the Foundation was to promote amateur music in Japan through chorus and brass band activities at schools. However, on the occasion of the 20th anniversary in 1994, the Foundation started to focus more on international contributions in the world of classical music. Since then the Foundation has been pursuing the three main pillars of programs, namely **“Promotion of Classical Music through Grants”**, **“Acquisition and Loan of Stringed Instruments”** and **“Concert Activities”**. These activities are only made possible by the generous support and understanding of The Nippon Foundation, the parent foundation of NMF.

**“Promotion of Classical Music through Grants”** is a program in which NMF offers grants to support various musical projects implemented by other non-profit organizations both domestic and overseas. Such projects include, for instance, summer courses given by renowned musicians and professors, concerts and workshops for school children, and concerts by handicapped people playing music for their rehabilitation.

Through the **“Acquisition and Loan of Stringed Instruments”** program, NMF acquires top quality stringed instruments, such as Stradivarius and Guarneri del Gesu, and loans them gratis to established artists as well as young talented musicians to support their musical development regardless of their nationalities.

Stradivarius and Guarneri del Gesu instruments were made in the city of Cremona, Italy, about 300 years ago. It is a dream for many musicians to be able to play a Stradivarius or del Gesu even if it is only once in a lifetime. However, the recent price of these instruments makes it extremely difficult for individuals to acquire them as their own instruments. What makes them so precious is that even with today’s technology no one has yet to produce a stringed instrument comparable to these superb instruments. According to the literature recognized by the city of Cremona, Antonio Stradivari (1644-1737) made about 1,100 stringed instruments in his lifetime, but many of them have been damaged or destroyed to leave only about 540 violins, 12 violas and 50 cellos known to exist today. Instruments made by Stradivari have always been considered to be the pinnacle for their exquisite timbre and the perfect body structure. Comparable to

Stradivarius are instruments made by another great luthier, Guarneri del Gesu (1698-1744), and they are acclaimed for their deep and powerful sound – as superb as Stradivarius, yet different. Since Guarneri made only small number of instruments during his comparatively short life, his instruments are equally sought after by many collectors and musicians.

In 1994, NMF started to acquire top quality stringed instruments with the grant from The Nippon Foundation. The important requirements when NMF purchases instruments are (1) the instrument is in an excellent condition and suitable for international concert activities; (2) the instrument is recognized to be the world's cultural asset; (3) the instrument has a good provenance and is confirmed genuine; and (4) the price of the instrument is fair and in line with the market price. The first acquisition made by NMF was the Stradivarius "Paganini Quartet", which had been in the collection of the Corcoran Gallery of Arts in Washington D.C.. This quartet is not only one of the very few all-Stradivarius quartets known to exist today, but was once owned and played by the Italian virtuoso violinist and composer, Niccolò Paganini.

NMF does not consider itself a collector but is committed to act as a custodian of the precious antique instruments – the world's cultural assets to be passed on to the future generations – and has paid utmost attention to preserve them in the best possible condition. The instruments are sent regularly to the designated violin shops for professional cleaning and examination, and the Foundation keeps all the condition reports from the examination. The Foundation pays for all maintenances and repair works as well as the insurance. Grateful to valuable advice from Mr. Andrew Hill, a leading international expert of stringed instruments in London, NMF has now come to own 19 top quality instruments (13 violins, 1 viola and 3 cellos by Stradivari and 2 violins by del Gesu – please see the List of Instruments Owned by NMF on page 19 for details).

NMF's Instrument Loan Committee, established in 1995 and composed of internationally renowned music specialists, is responsible for the selection of musicians for the loan of the instruments. The founding members of the Committee were Maestro Lorin Maazel (conductor), Comte Jean-Pierre de Launoit (President, The Queen Elisabeth International Music Competition of Belgium), Professor Dorothy DeLay (The Juilliard School), Professor Janos Starker (Indiana University, cellist), Professor Takatoshi Yoshida (President, Showa Academia Musicae, cellist), and Ms. Kazuko

Shiomi (President, Nippon Music Foundation). Sadly, Professor DeLay and Professor Yoshida passed away. In 2002, Ms. Kyung-Wha Chung (violinist) and Professor Bin Ebisawa (Vice President, New National Theater, Tokyo) kindly joined the Committee. The Committee, headed by Maestro Lorin Maazel, meets annually and NMF appreciates that the Committee members take their precious time out of the busy schedule to offer professional advice based on their expertise.

Loan of NMF's instruments is classified into two categories – “Long-Term Loan” and “Short-Term Loan”. “Long-Term Loan” is for the period of 2 years and reviewed by the Committee every year. The term can be extended with the Committee's approval. “Short-Term Loan” is for the period of 6 months for special concerts and recordings. Young musicians appreciate the loan of top quality instruments even for a short period of time as it has a beneficial effect of trying to search and produce similar timbre of sounds when they get back to their own instruments. Of the 19 instruments owned by NMF, unique arrangement is made for Stradivarius 1708 violin “Huggins”, which has been slated since 1997 for the first-prize winner of The Queen Elisabeth International Music Competition in Belgium until the next competition takes place in 4 years.

Through the “**Concert Activities**” program, NMF organizes various concerts worldwide using Stradivarius and del Gesu instruments. As many as 51 musicians played NMF's instruments in the past 10 years, and with their cooperation NMF has been able to hold 20 concerts in Japan and 9 concerts in other countries including benefit concerts (please see the List of NMF Concerts on pages 20-23 for details). Overseas concerts were held in such countries as the United Kingdom, Sweden and China. In Sweden, the concert which took place at the Royal Church within the Royal Palace in Stockholm was attended by Their Majesties King Carl XVI Gustaf and Queen Silvia. It was for the benefit of The Swedish Red Cross. The concert in China during the 2002 Beijing Music Festival was held to celebrate the 30<sup>th</sup> anniversary of the normalization of Japan-China diplomatic relations. It is also noteworthy that in April 2004, NMF was able to organize a very successful concert using 14 Stradivarius instruments as one of the official programs of the Salzburg Easter Festival, one of the most celebrated international music festivals.

Young players of NMF's instruments are active internationally, but some of them are not so well-known in Japan yet. The Foundation's concerts, for which there have been many offers for broadcasting on TV and radio, provide such musicians with good

opportunities for exposure in Japan. In addition, since most of them are soloists who hardly have a chance to perform together, they find the Foundation's concerts unique experience where they can learn from each other in a friendly rivalry. NMF concerts also create occasions for various social encounters among the audience.

For NMF's concert activities, establishing a global network is indispensable. In addition to the network in Japan, the Foundation has already been in close contact with The Juilliard School (USA), Manhattan School of Music (USA), Lincoln Center (USA), Indiana University (USA), Royal Academy of Music (UK), Philharmonia Orchestra (UK), Royal Swedish Academy of Music (Sweden), Conservatoire de Paris (France), University of Music and Dramatic Arts in Vienna (Austria), Salzburg Festival (Austria), Salzburg Easter Festival (Austria), The Queen Elisabeth International Music Competition (Belgium), China Philharmonic Orchestra (China), Beijing International Music Festival (China) and National Arts Center (Canada).

NMF wishes to further develop the network with various organizations worldwide, and will continue to pursue the **“Promotion of Classical Music through Grants”**, **“Acquisition and Loan of Stringed Instruments”** and **“Concert Activities”** programs. Nippon Music Foundation strives to promote friendship and global understanding among peoples of different countries through music – a language without frontiers.

### List of Instruments Owned by NMF

Name of Instruments	Purchase Date
Stradivarius "Paganini Quartet"	1994/2/28
Stradivarius Violin 1680	
Stradivarius Violin 1727	
Stradivarius Viola 1731	
Stradivarius Cello 1736	
Stradivarius Violin 1700 "Dragonetti"	2002/6/26
Stradivarius Violin 1702 "Lord Newlands"	2002/6/24
Stradivarius Violin 1708 "Huggins"	1995/3/28
Stradivarius Violin 1709 "Engleman"	1996/5/27
Stradivarius Violin 1714 "Dolphin"	2000/2/10
Stradivarius Violin 1715 "Joachim"	2000/9/20
Stradivarius Violin 1716 "Booth"	1999/1/20
Stradivarius Violin 1717 "Sasserno"	1999/5/21
Stradivarius Violin 1722 "Jupiter"	1998/5/8
Stradivarius Violin 1725 "Wilhelmj"	2001/6/12
Stradivarius Violin 1736 "Muntz"	1997/7/21
Stradivarius Cello 1696 "Lord Aylesford"	2003/6/27
Stradivarius Cello 1730 "Feuermann"	1996/12/4
del Gesu Violin 1736 "Muntz"	1995/3/30
del Gesu Violin 1740 "Ysaye"	1998/3/30

Stradivarius	17
Guarneri del Gesu	2
Total	19

### List of NMF Concerts (Japan)

Date	Title Venue	Players
1994.6.3	"Introducing Paganini Quartet" Beiso-Kaku	1st Violin Lorin Maazel (Paganini 1727) 2nd Violin David Nolan (Paganini 1680) * Viola Roger Benedict (Paganini 1731) * Cello Matthias Feile (Paganini 1736) * *Philharmonia Orchestra Principal Players
1996.12.11	"Two Strads. Concert" Oji Hall	Hamao Fujiwara (Strad. Violin 1708 "Huggins") Reiko Watanabe (Strad. Violin 1709 "Engleman") Keiko Mikami (piano) Miyuki Washimiya (piano)
1997.10.19	"Tokyo String Quartet and Stradivarius" Sogetsu Hall	Tokyo String Quartet (Strad. "Paganini Quartet") Mikhail Kopelman, Kikuei Ikeda, Kazuhide Isomura, Sadao Harada
1998.9.8	"The 25th Anniversary All Stradivarius Concert" Tokyo Opera City Concert Hall	Nikolaj Znaider (Strad. Violin 1708 "Huggins") Reiko Watanabe (Strad. Violin 1709 "Engleman") Daishin Kashimoto (Strad. Violin 1722 "Jupiter") Tsugio Tokunaga (Strad. Violin 1736 "Muntz") Tokyo String Quartet (Strad. "Paganini Quartet") Mikhail Kopelman, Kikuei Ikeda, Kazuhide Isomura, Sadao Harada Eri Hayashi (piano)
1998.10.26	"The 25th Anniversary Stradivarius Cello Recital" Hamarikyu Asahi Hall	Steven Isserlis (Strad. Cello 1730 "Feuermann") Ian Brown (piano)
1999.11.4	"Tokyo String Quartet - Celebrating its 30th Anniversary" Casals Hall	Tokyo String Quartet (Strad. "Paganini Quartet") Mikhail Kopelman, Kikuei Ikeda, Kazuhide Isomura, Clive Greensmith
2000.1.25	"Viviane Hagner Violin Recital" Hamarikyu Asahi Hall	Viviane Hagner (Strad. Violin 1717 "Sasserno") Eri Hayashi (piano)
2000.2.23	"Steven Isserlis Cello Recital" Casals Hall	Steven Isserlis (Strad. Cello 1730 "Feuermann") Michio Kobayashi (piano, harpsichord)
2000.7.14	"Pavel Berman & Tomoko Kato Duo Violin Recital" Hamarikyu Asahi Hall	Tomoko Kato (Strad. Violin 1736 "Muntz") Pavel Berman (del Gesu Violin 1736 "Muntz") Eri Hayashi (piano)
2000.10.3	"Tokyo String Quartet in Kyoto" Kyoto Concert Hall	Tokyo String Quartet (Strad. "Paganini Quartet") Mikhail Kopelman, Kikuei Ikeda, Kazuhide Isomura, Clive Greensmith
2000.10.25	"Lorin Maazel conducts the Symphonieorchester des Bayerischen Rundfunks" Tokyo Opera City Concert Hall	Lorin Maazel (conductor) The Symphonieorchester des Bayerischen Rundfunks Daishin Kashimoto (Strad. Violin 1722 "Jupiter") Han-na Chang (cello)
2001.10.31	"Strads. and Autumn" Hamarikyu Asahi Hall	Reiko Watanabe (Strad. Violin 1709 "Engleman") Shunsuke Sato (Strad. Violin 1725 "Wilhelmj") Steven Isserlis (Strad. Cello 1730 "Feuermann") Eri Hayashi (piano)
2002.2.1	"Winter Concert" Hamarikyu Asahi Hall	Akiko Suwanai (Strad. Violin 1714 "Dolphin") Karen Gomyo (del Gesu Violin 1736 "Muntz") Greg Anderson (piano) Boris Berezovsky (piano)
2002.12.26	"Sayaka Shoji Year-End Recital" Hamarikyu Asahi Hall	Sayaka Shoji (Strad. Violin 1715 "Joachim") Itamar Golan (piano)

2003.3.6	"Spring Concert" Hamarikyu Asahi Hall	Baiba Skride (Strad. Violin 1708 "Huggins") Lauma Skride (piano)
2003.5.28	"Isaac Stern Memorial Benefit Concert" Dai-ichi Seimei Hall  In support of "Isaac Stern Scholarship Fund" at National Arts Center, Canada	Pinchas Zukerman (del Gesu Violin 1740 "Ysaye") Tatiana Goncharova (piano)
2003.11.26	"Age of Stradivarius" Tokyo Opera City Concert Hall  Co-Presented by The Sankei Shimbun	Shunsaku Tsutsumi (conductor) Royal Chamber Orchestra Akira Uchida (Strad. Violin 1700 "Dragonetti") Akiko Suwanai (Strad. Violin 1714 "Dolphin") Shunsuke Sato (Strad. Violin 1725 "Wilhelmj") Judith Ingolfsson (Strad. Violin 1736 "Muntz") Clive Greensmith (Strad. Cello 1730 "Paganini")
2003.11.27	"Age of Stradivarius" Tokyo Opera City Concert Hall  Co-Presented by The Sankei Shimbun	Shunsaku Tsutsumi (conductor) Royal Chamber Orchestra Baiba Skride (Strad. Violin 1708 "Huggins") Viviane Hagner (Strad. Violin 1717 "Sasserno") Daishin Kashimoto (Strad. Violin 1722 "Jupiter") Kazuhide Isomura (Strad. Viola 1731 "Paganini")
2003.11.28	"Age of Stradivarius" Tokyo Metropolitan Art Space  Co-Presented by The Sankei Shimbun	Baiba Skride (Strad. Violin 1708 "Huggins") Akiko Suwanai (Strad. Violin 1714 "Dolphin") Viviane Hagner (Strad. Violin 1717 "Sasserno") Daishin Kashimoto (Strad. Violin 1722 "Jupiter") Shunsuke Sato (Strad. Violin 1725 "Wilhelmj") Judith Ingolfsson (Strad. Violin 1736 "Muntz") Tokyo String Quartet (Strad. "Paganini Quartet") Martin Beaver, Kikuei Ikeda, Kazuhide Isomura, Clive Greensmith Akira Eguchi (piano)
2004.1.27	"Lisa Batiashvili New Year Concert" Hamarikyu Asahi Hall	Lisa Batiashvili (Strad. Violin 1709 "Engleman") Yumiko Urabe (piano)

### List of NMF Concerts (Overseas)

Date	Title Venue	Players
1999.3.7	<p>"Stradivarius Cello Recital" The Duke's Hall, Royal Academy of Music, London, UK</p> <p>Co-Presented by The Great Britain Sasakawa Foundation In collaboration with Royal Academy of Music</p>	<p>Steven Isserlis (Strad. Cello 1730 "Feuermann") Ian Brown (piano)</p>
1999.4.16	<p>"The Tokyo String Quartet with Richard Stoltzman" Miller Theater, Columbia University, New York, USA</p> <p>Co-Presented by The Donald Keene Center of Japanese Culture</p>	<p>Tokyo String Quartet (Strad. "Paganini Quartet") Mikhail Kopelman, Kikuei Ikeda, Kazuhide Isomura, Sadao Harada Richard Stoltzman (clarinet)</p>
2000.10.19	<p>"The Tokyo String Quartet" Metropole Hall, Four Seasons Olympic Hotel, Seattle, USA</p> <p>Co-Presented by The United States - Japan Foundation</p>	<p>Tokyo String Quartet (Strad. "Paganini Quartet") Mikhail Kopelman, Kikuei Ikeda, Kazuhide Isomura, Clive Greensmith</p>
2001.4.18	<p>"Seven Stradivarius Palace Concert" The Royal Church, the Royal Palace, Stockholm, Sweden</p> <p>Under the patronage of The Marshal of the Realm Co-Presented by The Scandinavia - Japan Sasakawa Foundation In collaboration with Royal Swedish Academy of Music</p>	<p>Malin Broman (Strad. Violin 1709 "Ex-Crafoord")* Viviane Hagner (Strad. Violin 1717 "Sasserno") Daishin Kashimoto (Strad. Violin 1722 "Jupiter") Tokyo String Quartet (Strad. "Paganini Quartet") Mikhail Kopelman, Kikuei Ikeda, Kazuhide Isomura, Clive Greensmith Simon Crawford-Phillips (piano) *on loan from Royal Swedish Academy of Music</p>
2001.4.19	<p>"Seven Stradivarius Benefit Concert" The Royal Academy of Music Concert Hall, Stockholm, Sweden</p> <p>Co-Presented by The Scandinavia - Japan Sasakawa Foundation and SEB Enskilda Banken In collaboration with Royal Swedish Academy of Music In support of The Swedish Red Cross</p>	<p>Malin Broman (Strad. Violin 1709 "Ex-Crafoord")* Viviane Hagner (Strad. Violin 1717 "Sasserno") Daishin Kashimoto (Strad. Violin 1722 "Jupiter") Tokyo String Quartet (Strad. "Paganini Quartet") Mikhail Kopelman, Kikuei Ikeda, Kazuhide Isomura, Clive Greensmith Simon Crawford-Phillips (piano) *on loan from Royal Swedish Academy of Music</p>
2001.5.23	<p>"A Stradivari Musical Extravaganza" Lancaster House, London, England</p> <p>Co-Presented by The Great Britain Sasakawa Foundation In support of Philharmonia Orchestra and IMS Prussia Cove</p>	<p>Kikuei Ikeda (Strad. Viola 1696 "Archinto")* Reiko Watanabe (Strad. Violin 1709 "Engleman") Julia Fischer (Strad. Violin 1716 "Booth") Viviane Hagner (Strad. Violin 1717 "Sasserno") Daishin Kashimoto (Strad. Violin 1722 "Jupiter") Steven Isserlis (Strad. Cello 1730 "Feuermann") Tokyo String Quartet (Strad. "Paganini Quartet") Mikhail Kopelman, Kikuei Ikeda, Kazuhide Isomura, Clive Greensmith Ian Brown (piano) *on loan from Royal Academy of Music</p>
2002.10.25	<p>"All Stradivarius Concert Celebrating the 30th Anniversary of Normalization of China-Japan Diplomatic Relations" Poly Theater, Beijing, China</p> <p>Presented by Beijing Music Festival Co-presented by China Association for International Friendly Contact and The Sasakawa Japan - China Friendship Fund</p>	<p>Baiba Skride (Strad. Violin 1708 "Huggins") Lisa Batiashvili (Strad. Violin 1709 "Engleman") Akiko Suwanai (Strad. Violin 1714 "Dolphin") Viviane Hagner (Strad. Violin 1717 "Sasserno") Tokyo String Quartet (Strad. "Paganini Quartet") Martin Beaver, Kikuei Ikeda, Kazuhide Isomura, Clive Greensmith Eri Hayashi (piano)</p>
2002.10.26	<p>"All Stradivarius Concert Celebrating the 30th Anniversary of Normalization of China-Japan Diplomatic Relations" Diaoyutai State Guesthouse, Beijing, China</p> <p>Co-Presented by China Association for International Friendly Contact and The Sasakawa Japan - China Friendship Fund</p>	<p>Baiba Skride (Strad. Violin 1708 "Huggins") Lisa Batiashvili (Strad. Violin 1709 "Engleman") Akiko Suwanai (Strad. Violin 1714 "Dolphin") Viviane Hagner (Strad. Violin 1717 "Sasserno") Tokyo String Quartet (Strad. "Paganini Quartet") Martin Beaver, Kikuei Ikeda, Kazuhide Isomura, Clive Greensmith Eri Hayashi (piano)</p>

<p>2004.4.4</p>	<p><b>"Easter with Stradivarius"</b>  <b>The Mozerteum, Salzburg, Austria</b>    <b>Co-Presented by Salzburg Easter Festival</b></p>	<p>Kikuei Ikeda (Strad. Viola 1696 "Archinto")*  Danjulo Ishizaka (Strad. Cello 1696 "Lord Aylesford")  Toru Yasunaga (Strad. Violin 1702" Lord Newlands")  Baiba Skride (Strad. Volin 1708 "Huggins")  Lisa Batiashvili (Strad. Violin 1709 "Engleman")  Akiko Suwanai (Strad. Violin 1714 "Dolphin")  Julia Fischer (Strad. Violin 1716 "Booth")  Viviane Hagner (Strad. Violin 1717 "Sasserno")  Daishin Kashimoto (Strad. Violin 1722 "Jupiter")  Shunsuke Sato (Strad. Violin 1725 "Wilhelmj")  Tokyo String Quartet (Strad. "Paganini Quartet")  Martin Beaver, Kikuei Ikeda,  Kazuhide Isomura, Clive Greensmith  Ayumi Ichino (piano)  *on loan from Royal Academy of Music</p>
-----------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1

日本音楽財団

(設立から30年そして将来に向けて)

---

---

---

## 日本音楽財団 設立から30年そして将来に向けて

財団法人日本音楽財団(1994年4月19日に名称変更、旧称は日本国民音楽振興財団)は、日本国内の学校教育におけるコーラスやブラスバンドを中心とした音楽文化の普及を目的に1974年に設立されたが、20周年を迎えた1994年からは、西洋クラシック音楽を中心とする「音楽文化の振興」と「音楽分野における国際交流」、そして「演奏会の開催」を事業の柱として活動を実施している。

音楽文化の振興事業では、音楽団体の実施する事業に対し助成金を交付しているが、ソフト面での協力・支援を重視して、アマチュア音楽の指導者の育成、地域社会への定着、ボランティア活動の促進、アマチュア音楽各分野間の相互交流、国際交流の促進等を当面の目標として掲げた。

音楽分野における国際交流では、弦楽器奏者にとって楽器が高額となり入手困難になっていのに着目し、若手演奏家に楽器を無償で貸与する構想を打ち出し、ストラディヴァリウスを取得し貸与する事業を開始することにした。

この音楽国際交流事業は1992年度(1993年3月)に日本財団から事業資金として受けた9億円が基礎となっている。その後、日本財団から毎年資金助成を頂戴することができ、楽器貸与事業を含めた音楽家に対する支援事業は順調に推移してきた。

現在財団が保有するストラディヴァリウスやガエルネリ・デル・ジェス等は約300年前に製作されたにもかかわらず、現在の科学と技術をもっても同等のものを再現できないといわれるほど貴重な楽器であり、世界の文化遺産として次世代へ引き継ぐ任務を当財団は担ったと考えている。なお、文化遺産の管理者として、楽器に対する保管・修繕についてはその都度最善の方法を対処している。

この事業を開始して10年が経過するが日本財団のご理解の下、楽器購入に関しては、弦楽器市場においてのよきアドバイザーのアンドリュー・ヒル氏(弦楽器名器の分野では、ヒル商会がゆるぎない頂点として長年君臨してきたが、その世界的な鑑定の権威を継承していると言われる)の存在もあり、最高峰の名器を19挺保有することができた。(クワルテットを含めてヴァイオリン15挺、ヴィオラ1挺、チェロ3挺。資料:財団所有楽器の概要P82～P97参照)

楽器貸与先の選定のため、ロリン・マゼール氏をはじめとする欧・米・アジアのトップクラスの指揮者、演奏家等に楽器貸与委員に就任していただいております。委員会は毎年1回、開催している。クラシック音楽界のトップクラスの方々が委員に就任くださることをみても、当財団の実施する事業が国際的に認められていると評価できる。

当財団の今後の事業展開としては、弦楽器名器を19挺保有する現在、世界文化遺産である名器を保有している「管理者」として保存に努力することはいうまでもなく、これらの弦楽器名器を使用して、また楽器貸与者の理解を得て、の定期的に世界各地でコンサートを展開し、音楽を通じての国際交流を図っていききたい所存である。

これらの弦楽器名器を使用しての演奏会を定期的に国内外で開催するには、確実な協力団体を確保することが重要である。よって、貸与事業を実施しながら、ネットワークの形成に重点をおき、音楽を通じての国際交流事業を拡大していきたいと考えている。

国際交流ネットワークとして、すでにジュリアード音楽院(米)、マンハッタン音楽院(米)、リンカーンセンター(米)、インディアナ大学音楽学部(米)、英国王立音楽院(英)、フィルハーモニア・オーケストラ(英)、スウェーデン王立音楽院(瑞)、パリ国立音楽院(仏)、ウィーン国立音楽院(奥)、ザルツブルグ・サマー音楽祭(奥)、ザルツブルグ・イースター音楽祭(奥)、エリザベート王妃音楽コンクール(ベルギー)、チャイナ・フィルハーモニック・オーケストラ(中)、北京国際音楽祭(中)、ナショナルアーツセンター(カナダ)などとの交流があるが、今後は、これを韓国、東南アジア、中南米等にも拡大し、それらのネットワークを通じ、2国間あるいは、多国間に亘る音楽プロジェクトを模索して、音楽分野における真の国際交流を行なって行きたい。この中には、外国音楽関係機関との共同プロジェクト(例えば特定目的のチャリティコンサート等を含むものとする。)等が挙げられる。

2004年4月にはザルツブルグのイースター音楽祭の公式プログラムとしての演奏会を開催することができた。

当財団の楽器貸与者は主にソリストであり独自の演奏活動が多いことから、演奏家同士の交流は少ない。当財団の主催演奏会では、彼らが一堂に会する機会があり、その都度親交を深めている。今後10年、20年後彼らが音楽界の指導者になった時、日本音楽財団を核として知り合ったお互いの人脈を利用し、指導者としてのネットワークを創って、より内容の深い音楽教育や音楽プロジェクトを実施することを願っている。

2

日本音楽財団

1994年度(設立20年)からの実施事業

---

---

---

## 1. 音楽国際交流事業

### 弦楽器名器の購入・保全・楽器貸与

当財団は1994年3月23日をもって設立20周年を迎えるにあたり、クラシック音楽を中心とする「音楽国際交流事業」の構想を打ち出し、新たな事業展開を図ることとした。

具体的には、国際社会において古くから広く親しまれているクラシック音楽の更なる振興のため、個人の演奏家では取得が難しくなった弦楽器名器を当財団が保有し、若手演奏家に無償で貸与することにより、クラシック音楽の弦楽器分野における国際交流を実施することである。本事業は日本財団の絶大なる理解を得ることができて初めて可能になったものである。

弦楽器名器のなかでは、300年ほど前にイタリアのクレモナ市で製作されたストラディヴァリウスやデル・ジェスが最高級といわれている。これらは弦楽器奏者を志す音楽家にとって一度は手にしたい憧れの名器である。しかし、その価格は今や億単位となるため、演奏家には簡単に入手できるものではない。

ストラディヴァリウス等が高価な楽器となった理由の一つとしては、ストラディヴァリウスの楽器がなぜ輝かしい音を出し、デル・ジェスの楽器がなぜ太く充実した音なのか、現代の科学や技術でも解明できないからだといわれている。現在われわれがCD等で聴くことができる名ヴァイオリニストは皆、ほとんど例外なく、ストラディヴァリウスかデル・ジェスを愛用しているといっても過言ではない。これらの楽器は美しい音色と低音から高音までむらの無いバランスのとれた響き、コンチェルトの演奏でもオーケストラに負けない音の力強さと決して埋没することのない弱音を表現することができるからなのである。

ストラディヴァリウスの製作者であるアントニオ・ストラディヴァリ(1644-1737)は長命で、94歳でその生涯を終えるまでに約1100挺の弦楽器を製作したといわれている。(文献によって多少違うが、この数字はクレモナ市公認資料による)。その後戦争等で破損された楽器も多く、現存するストラディヴァリウスは、約600～700挺といわれ、ヴァイオリン540挺、ヴィオラ12挺、チェロ50挺の存在が確認されている。

ストラディヴァリは当時マエストロとして名声を上げていたニコロ・アマティ(1596-1684)の弟子であり、1700年から1728年に製作された楽器がストラディヴァリの黄金期・円熟期といわれ、最も優れた作品が作り出されたといわれている。また、ストラディヴァリは製作当時から今日に至るまで、演奏家やヴァイオリン製作者から最高の楽器製作者として讃えられ、彼の製作した

楽器は、美しく完璧な音色と構造を持ち、あらゆるヴァイオリン音楽に適応できる融通性を備えているといわれている。演奏家にとってこの楽器を演奏することは夢でもある。

デル・ジェスの製作者であるガールネリ(1698-1744)の作品は、ストラディヴァリウスに比べて豪快かつ大胆、男性的な作風であり、緊張感のある良く澄んだ高音部と力強い豊かな低音部は、ストラディヴァリとはまた異なった素晴らしい楽器である。

また、デル・ジェスは現在の強大なオーケストラの音量をバックに演奏するのに適した楽器であると言われている。しかしながらガールネリの最盛期は1735年といわれ、それほど製作期間が長くはなかったため残っている名器はストラディヴァリウスに比べて極めて少なく、ストラディヴァリウス同様に演奏家にとって憧れの楽器なのである。

この国際交流事業を開始して10年が経過した2004年3月末現在、当財団が所有する弦楽器は合計19挺となった。

(ストラディヴァリウス17挺、ガールネリ・デル・ジェス2挺、資料:財団所有楽器の概要P82～P97参照)

当財団が最初に購入した「パガニーニ・クワルテット」は、アメリカのコーコラン美術館が所有していたものである。

楽器をばらばらにすることなく「クワルテット」として保有し、貸与することが美術館へ楽器を寄贈したクラーク夫人の意思であったこともあり、これを当財団は遵守し、演奏家に貸与する事業を開始することから、コーコラン美術館の理事会が当財団に譲ることを決定したものである。

その後も当財団は、幸運にも保存状態のよいヴァイオリンやチェロを入手することができ、それらを若手演奏家に貸与し、彼らの成長を支援している。

いまや海外のクラシック音楽関係者は、最高水準の楽器が日本音楽財団に集まっていることに注目している。良い楽器が集まる理由は、当財団が単なる弦楽器名器蒐集家ではなく、保有している楽器は世界の文化遺産であり、それらの管理者あるいは保管者としての意識のもと、名器を次世代へつなぐ役割を強く認識するとともに、これらの楽器を国籍問わず世界各国で活躍する若手有望演奏家に無償で貸与していることが高く評価されたためである。

当財団がこのような超一流弦楽器を購入する際に条件としていることは、1.保存状態が良く、演奏に適していること。2.世界的文化遺産として後世に遺す必要があること。3.故事来歴がは

っきりしていて真贋の懼れないこと。4.価格が市場と照らし合わせて適正であることである。

保有している楽器を誰に、どの程度の期間貸与するかを決めるために、当財団では楽器貸与委員会を設立し、1995年より毎年1回開催している。同委員会は、当初、欧州代表としてロリン・マゼール氏(指揮者)、およびジャン・ピエール・デ・ラオノア伯爵(ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール理事長)、米国代表としてドロシー・ディレイ女史(ジュリアード音楽院教授)およびヤーノシュ・シュタルケル氏(インディアナ大学教授)、日本代表として吉田貴壽氏(昭和音楽大学学長)、そして塩見和子当財団理事長が委員に就任した。その後、2001年までは設立当初のメンバーが委員を務めた。



初代貸与委員メンバー(第2回委員会にて)

前列Prof. Dorothy DeLay

後列左から塩見和子当財団理事長、吉田貴壽教授(昭和音楽大学学長)、

Prof. Janos Starker(インディアナ大学教授)、Mastro Lorin Maazel(指揮者)、

Comte Jean-Pierre de Launoit(ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール理事長)

しかしドロシー・ディレイ女史、吉田貴壽氏のご逝去の後、2002年9月開催の第8回楽器貸与委員会より海老澤敏氏(新国立劇場運営財団副理事長)とチョン・キョン・ファ女史(ヴァイオリニスト)に委員にご就任頂き現在に至っている。

(資料:楽器貸与委員歴代名簿P77参照)

貸与期間は2種類あり、「長期貸与」は2年間とし、貸与の見直しと更新については楽器貸与委員会で決定する。審査では必要に応じ楽器貸与委員の前でオーディションを行っている。「短期貸与」は6ヶ月間で、2名の委員の推薦で決定し、主にコンクール出場およびCD録音、そして記念演奏会用に楽器は使用されている。短期間であっても名器を弾く機会があると自

分の楽器に戻っても同じような音を探索するので、演奏家にとっては大変プラスになると、当財団の貸与事業に対しては多くの指導者から御礼の言葉を頂戴している。

当財団の貸与委員会の選考以外において貸与を決定する方法として、1997年よりベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール、ヴァイオリン部門の優勝者に当財団の楽器(ストラディヴァリウス・ヴァリオリン「ハギンス」)を次期コンクールまでの4年間使用する権利を与えている。これは、コンクール応募者の励みにもなり、公平な貸与選定場所のひとつとして、国際的に評価されている。ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールは、チャイコフスキー、ジュネーヴ、ミュンヘンなどの大手コンクールと比肩しうる世界屈指の総合コンクールである。1937年に当時のエリザベート王妃(ベルギー)は、師であったヴァイオリニスト兼作曲家イザイの名を冠にしたコンクールを設立。先ずヴァイオリン部門でスタートをきり、翌年ピアノ部門を行い、その後の計画も進められたが大戦のため中断の憂き目にあい、結局は1951年まで長い空白の時期を過ごすこととなった。その再開の年、1951年から現在の名称に改められた。同コンクールはベルギーの国家的事業ともいわれており、開催時のブリュッセルは町ぐるみコンクール一色となり、市民は応募者のホームステイを積極的に受け入れている。コンクールの主催団体は数ある国際音楽コンクールの中でも最も組織的にしっかりしたものと評価されている。最終選考はファビオラ王妃のご臨席の下で行われており、その審査委員は世界各国の名演奏家が名を連ねている。



授賞式風景(1997年5月、ブリュッセルにて)  
ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール  
優勝者に"Huggins"を次期コンクールまでの4年間貸与  
左からファビオラ王妃、塩見当財団理事長、Mr. Nikolaj Znaider、笹川陽平日本財団理事長

このヴァイオリン部門優勝者への貸与により、コンクール申込者は質量ともに大幅に向上したと報告を受けている。1997年の優勝者はMr. Nikolaj Znaider、2001年の優勝者はMs. Baiba Skrideであった。両者とも当該楽器貸与中にすばらしい成長を遂げている。

この10年間に貸与または演奏委託した演奏家は51名となるが延べにすると75名となる。一度短期貸与または長期で貸与し、期間が終了した後も、特定の演奏会やCDレコーディング等のために貸与する演奏家もいる。

楽器貸与の際には、当財団保有の楽器は世界的文化遺産であることを認識してもらい、最大の注意をもって管理することを各貸与者に義務づけていることから、この事業を始めてから今まで楽器本体に大きな事故はなく、通常調整で済んでいる。なお、当財団はこれらの歴史的文化遺産を長く次世代へ引き継ぐため、楽器の修理及び調整内容等については、慎重に検討し、名器の取り扱いに馴れている世界屈指の楽器店を演奏家に指定し、1年以上の長期貸与に供している楽器については、当財団が指定した楽器店において定期的(年4回)に専門家による楽器の点検を義務付けるとともに、コンディションレポートを取り寄せている。

長期貸与者へは、当財団主催の国内外における演奏会には年間3回まで無料で出演協力することを貸与契約の条件の一つに加えている。財団保有楽器と楽器貸与者による日本国内演奏会を年2回あるいは3回、海外においては年1回あるいは2回開催し、当財団の貸与事業を周知広報するとともに、クラシック音楽を通じての音楽国際文化交流を行っている。

当財団が主催する演奏会においては開始前または終了後にレセプションを開催している。海外においては音楽を共通分母とする来場者間の交流は、コンサートカルチャーとして存在しているが、日本においても広めたいと実施している。

財団主催演奏会内容については、次の財団所有楽器による国内演奏会及び海外演奏会にて説明する。

## 貸与実績演奏家一覧

(アルファベット順)	演奏家名	貸与楽器名
Arai	荒井英治氏	Stradivarius Violin "Huggins"
Batiashvili	Ms. Lisa Batiashvili	Stradivarius Violin "Engleman"
Beaver	Mr. Martin Beaver	Stradivarius Violin "Paganini"1680,1727
Berman	Mr. Pavel Berman	del Gesu Violin "Muntz"
Chang	Ms. Sarah Chang	Stradivarius Violin "Paganini"1727
Chiba	千葉純子女史	del Gesu Violin "Muntz", Stradivarius Violin "Dragonetti"
Daws	Mr. Andrew Daws	Stradivarius Violin "Paganini"1727
Fischer	Ms. Julia Fischer	Stradivarius Violin "Booth"
Fujiwara	藤原浜雄氏	Stradivarius Violin "Huggins"
Gomyo	五明カレン女史	del Gesu Violin "Muntz"
Goto	五嶋みどり女史	del Gesu Violin "Ysaye"
Greensmith	Mr. Clive Greensmith	Stradivarius Cello "Paganini"
Hagner	Ms. Viviane Hagner	Stradivarius Violin "Booth", "Sasserno"
Hahn	Ms. Hilary Hahn	Stradivarius Violin "Huggins"
Harada	原田禎夫氏	Stradivarius Cello "Paganini"
Ikeda	池田菊衛氏	Stradivarius Violin "Paganini"1680,1727
Ingolfsson	Ms. Judith Ingolfsson	Stradivarius Violin "Muntz"
Ishizaka	石坂団十郎氏	Stradivarius Cello "Lord Aylesford"
Isomura	磯村和英氏	Stradivarius Viola "Paganini"
Isserlis	Mr. Steven Isserlis	Stradivarius Cello "Feuermann"
Kamio	神尾真由子女史	Stradivarius Violin "Muntz"
Kashimoto	檜本大進氏	Stradivarius Violin "Muntz", "Jupiter"
Kato	加藤知子女史	Stradivarius Violin "Muntz"
Kawai	川井郁子女史	del Gesu Violin "Muntz"
Kobayashi	小林 響女史	Stradivarius Violin "Muntz"
Kopelman	Mr. Mikhail Kopelman	Stradivarius Violin "Paganini" 1680, 1727
Liu	劉 薇(リュウ・ウェイ)女史	del Gesu Violin "Muntz"
Maazel	Maestro Lorin Maazel	Stradivarius Violin "Huggins", "Wilhelmj"
Meyers	Ms. Anne Akiko Meyers	del Gesu Violin "Muntz"
Mintz	Mr. Shlomo Mintz	Stradivarius Viola "Paganini"
Morishita	森下幸路氏	Stradivarius Violin "Muntz"
Ono	小野明子女史	del Gesu Violin "Muntz", Stradivarius Violin "Muntz"
Sato	佐藤俊介氏	Stradivarius Violin "Wilhelmj"
Shimada	島田真千子女史	Stradivarius Violin "Muntz"
Shoji	庄司紗矢香女史	Stradivarius Violin "Muntz", "Joachim"
Skride	Ms. Baiba Skride	Stradivarius Violin "Huggins"
Stern	Maestro Issac Stern	Stradivarius Violin "Muntz", del Gesu Violin "Ysaye"
Suwanai	諏訪内晶子女史	Stradivarius Violin "Dolphin"

Takezawa	竹澤 健氏	Stradivarius Violin "Muntz"
Terasawa	寺沢希美女史	del Gesu Violin "Muntz"
Tokunaga	徳永二男氏	Stradivarius Violin "Muntz", del Gesu Violin "Ysaye"
Uchida	内田 輝氏	Stradivarius Violin "Dragonetti"
Uemura	植村菜穂女史	Stradivarius Violin "Huggins", "Booth"
Umezu	梅津美葉女史	Stradivarius Violin "Huggins"
Unno	海野義雄氏	Stradivarius Violin "Dragonetti", del Gesu Violin "Muntz"
Uribe	Mr. Manuel Uribe	del Gesu Violin "Muntz"
Watanabe	渡辺玲子女史	Stradivarius Violin "Engleman", "Muntz", "Dragonetti"
Yasunaga	安永 徹氏	Stradivarius Violin "Lord Newlands"
Yoshida	吉田恭子女史	Stradivarius Violin "Huggins"
Znaider	Mr. Nikolaj Znaider	Stradivarius Violin "Huggins"
Zukerman	Mr. Pinchas Zukerman	del Gesu Violin "Ysaye"

### 長期貸与の演奏家 (2004年3月末現在)

(製作年代順)

	演奏家名	貸与楽器名	製作年
	東京クワルテット	Stradivarius "Paganini Quartet"	
Ikeda	池田菊衛氏	Stradivarius Violin "Paganini"	1680
Beaver	Mr. Martin Beaver	Stradivarius Violin "Paganini"	1727
Isomura	磯村和英氏	Stradivarius Viola "Paganini"	1731
Greensmith	Mr. Clive Greensmith	Stradivarius Cello "Paganini"	1736
Ishizaka	石坂団十郎氏	Stradivarius Cello "Lord Aylesford"	1696
Yasunaga	安永 徹氏	Stradivarius Violin "Lord Newlands"	1702
Skride	Ms. Baiba Skride	Stradivarius Violin "Huggins"	1708
Batiashvili	Ms. Lisa Batiashvili	Stradivarius Violin "Engleman"	1709
Suwanai	諏訪内晶子女史	Stradivarius Violin "Dolphin"	1714
Shoji	庄司紗矢香女史	Stradivarius Violin "Joachim"	1715
Fischer	Ms. Julia Fischer	Stradivarius Violin "Booth"	1716
Hagner	Ms. Viviane Hagner	Stradivarius Violin "Sasserno"	1717
Kashimoto	檜本大進氏	Stradivarius Violin "Jupiter"	1722
Sato	佐藤俊介氏	Stradivarius Violin "Wilhelmj"	1725
Isserlis	Mr. Steven Isserlis	Stradivarius Cello "Feuermann"	1730
Ingolfsson	Ms. Judith Ingolfsson	Stradivarius Violin "Muntz"	1736
Zukerman	Mr. Pinchas Zukerman	del Gesu Violin "Ysaye"	1740

### 短期貸与の演奏家 (2004年3月末現在)

Chiba	千葉純子女史	Stradivarius Violin "Dragonetti"	1700
Liu	劉 薇(リュウ・ウェイ)女史	del Gesu Violin "Muntz"	1736

日本音楽財団所有楽器

楽器名	購入年月日
Stradivarius "Paganini Quartet"	1994/2/28
Stradivarius Violin 1680	
Stradivarius Violin 1727	
Stradivarius Viola 1731	
Stradivarius Cello 1736	
Stradivarius Violin 1700 "Dragonetti"	2002/6/26
Stradivarius Violin 1702 "Lord Newlands"	2002/6/24
Stradivarius Violin 1708 "Huggins"	1995/3/28
Stradivarius Violin 1709 "Engleman"	1996/5/27
Stradivarius Violin 1714 "Dolphin"	2000/2/10
Stradivarius Violin 1715 "Joachim"	2000/9/20
Stradivarius Violin 1716 "Booth"	1999/1/20
Stradivarius Violin 1717 "Sasserno"	1999/5/21
Stradivarius Violin 1722 "Jupiter"	1998/5/8
Stradivarius Violin 1725 "Wilhelmj"	2001/6/12
Stradivarius Violin 1736 "Muntz"	1997/7/21
Stradivarius Cello 1696 "Lord Aylesford"	2003/6/27
Stradivarius Cello 1730 "Feuermann"	1996/12/4
del Gesu Violin 1736 "Muntz"	1995/3/30
del Gesu Violin 1740 "Ysaye"	1998/3/30

ストラディヴァリウス	17 挺
ガールネリ・デル・ジェス	2 挺
合計	19 挺

## 財団所有楽器による国内演奏会の開催

ストラディヴァリウス等の名器を使用しての日本国内における貸与者による演奏会は、1996年より貸与者の来日に合わせ実施しており、当財団の楽器貸与事業の広報を図るとともにストラディヴァリウス等の名器の妙音を提供し、クラシック音楽の普及振興を行っている。

回を重ねるごとに日本音楽財団の楽器貸与事業の周知は十分されてきており、クラシック音楽の普及にとって大きな成果をもたらした。

当財団の主催演奏会では、来場者間の交流の場として開演前にレセプションを行っている。これは音楽を共通として集まった方々同士のコンサートカルチャーを定着することを目的としている。

各回の演奏会プログラムノートは当財団の職員による手作りによるものであり、表紙のデザイン、演奏家紹介、曲目解説等、日・英文でお客様の立場から見たプログラムを作成してきた。(演奏会の曲目等は巻末資料参照)

### 1994年度

#### ストラディヴァリウス「パガニーニ・クワルテット」披露ミニ・コンサート

日 時 1994年6月3日(金) 記者会見17:30～ コンサート 18:30～19:00  
場 所 米荘閣(東京・南麻布)  
演奏者 ロリン・マゼール氏とフィルハーモニア首席奏者  
来場者 150名

当財団がストラディヴァリウス「パガニーニ・クワルテット」を購入した公式記者会見が主であり、その後、「パガニーニ・クワルテット」の音色を披露するため、来日中の指揮者ロリン・マゼール氏とフィルハーモニア首席奏者のご好意により演奏披露を行った。



## 1996年度

### ストラディヴァリウス・ヴァイオリン「ハギンス」のベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールへの提供をベルギー国王・王妃に報告

日 時 1996年10月22日(火)11:00～11:30  
場 所 駐日ベルギー大使館(東京)  
演奏者 藤原浜雄氏(1972年度同コンクール3位入賞者)  
来 賓 50名

国賓として来日中のベルギー国王アルベール2世・パオラ王妃両陛下にベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールへのストラディヴァリウス・ヴァイオリン「ハギンス」の提供を報告し、併せてその音色をお聴かせした。両陛下とも当財団の事業に対しご理解を示され、特に楽器貸与事業に関しては、感謝の意を表された。

ベルギー国においても同コンクールへのヴァイオリン提供はTV報道もされ、国際的な話題となった。



### 「ふたつのストラディヴァリウスの夕べ」

この演奏会は、楽器の製作者が同一であっても、製作年代や演奏者の個性によって、楽器の音色が変わってくるということが如実に分かる試みであり、クラシックの演奏家そして愛好家にとっても印象深い演奏会であったとの評価を得ることができた。

この試みは、将来、当財団が所有するストラディヴァリウスを一堂に集めて演奏会を企画する際の貴重な経験であった。

日 時 1996年12月11日(水)レセプション18:00～ 演奏会19:00～  
場 所 王子ホール(東京・銀座)  
来場者 約300名

藤原浜雄氏 Stradivarius Violin 1708 “Huggins”

伴 奏 三上桂子女史(ピアノ)

渡辺玲子女史 Stradivarius Violin 1709 “Engleman”

伴 奏 鷺宮美幸女史(ピアノ)



## 1997年度

### 「東京クワルテットとストラディヴァリウスの調べ」

ストラディヴァリウス「パガニーニ・クワルテット」を貸与している東京クワルテットの演奏会は皇后陛下をお迎えして、下記のとおり開催した。

日 時 1997年10月19日(日) レセプション13:15～ 演奏会14:30～15:30  
場 所 草月ホール(東京・赤坂)  
来場者 約400名

東京クワルテット	Stradivarius “Paganini Quartet”
Mr. Mikhail Kopelman	Violin 1727 “Paganini”
池田菊衛氏	Violin 1680 “Paganini”
磯村和英氏	Viola 1731 “Paganini”
原田禎夫氏	Cello 1736 “Paganini”



## 1998年度

### 「オール・ストラディヴァリウス・コンサート」(財団設立25周年記念事業)

当財団設立25周年記念事業と位置づけ、ストラディヴァリウスの名器8挺を一堂に集め、質の高い音楽を低価格で提供した。演奏会のテーマは楽器「ストラディヴァリウス」を前面に打ち出し、演奏曲目は親しみやすい小曲を選んだことから来場者はクラシック音楽により親しむことができ、来場した聴衆からは、このような演奏会の継続開催要望が多々寄せられ、クラシック音楽愛好家の拡大に貢献した。

この演奏会の実録CDを作成し財団の広報活動の一環として配布した。

なお、当日は皇后陛下の行啓を賜ることができた。



日 時 1998年9月8日(木) 19:00～21:30  
 場 所 東京オペラシティコンサートホール(東京・初台)  
 来場者 約1400名  
 演奏者及び使用楽器(8人の演奏家と8挺のストラディヴァリウス)

東京クアルテット	Stradivarius “Paganini Quartet”
Mr. Mikhail Kopelman	Violin 1727 “Paganini”
池田菊衛氏	Violin 1680 “Paganini”
磯村和英氏	Viola 1731 “Paganini”
原田禎夫氏	Cello 1736 “Paganini”
Mr. Nikolaj Znaider	Stradivarius Violin 1708 “Huggins”
渡辺玲子女史	Stradivarius Violin 1709 “Engleman”
檜本大進氏	Stradivarius Violin 1722 “Jupiter”
徳永二男氏	Stradivarius Violin 1736 “Muntz”
伴 奏 林絵里女史(ピアノ)	



会場ロビーに「ヴァイオリンのできるまで」をパネルにして展示

### 「ストラディヴァリウス・チェロ・コンサート」(財団設立25周年記念事業)

「ストラディヴァリウス・チェロ・コンサート」は特別事業として実施した「オール・ストラディヴァリウス・コンサート」(9月8日開催、前記)に出演できなかったMr. Steven Isserlisが来日したことを機に開催したものである。したがって、当財団の25周年記念事業「オール・ストラディヴァリウス・コンサート」の続編として位置づけて実施した。

日 時 1998年10月26日(月) レセプション18:00～ 演奏会19:00～20:10  
 場 所 浜離宮朝日ホール(東京・築地)  
 来場者 400名  
 演奏者と楽器 Mr. Steven Isserlis Stradivarius Cello 1730 “Feuermann”  
 伴 奏 Mr. Ian Brown(ピアノ)

1999年度

「東京クワルテット・コンサート」

日 時 1999年11月4日(木) レセプション18:00～ 演奏会19:00～20:10  
場 所 カザルスホール(東京・御茶ノ水)  
来場者 約500名 皇后陛下の行啓を賜った。

皇后陛下とのご歓談風景



東京クワルテット Stradivarius “Paganini Quartet”  
Mr. Mikhail Kopelman Violin 1727 “Paganini”  
池田菊衛氏 Violin 1680 “Paganini”  
磯村和英氏 Viola 1731 “Paganini”  
Mr. Clive Greensmith Cello 1736 “Paganini”

「Viviane Hagnerヴァイオリン・リサイタル」 Stradivarius Violin 1717 “Sasserno”

日 時 2000年1月25日(火)レセプション18:00～ 演奏会19:00～20:10  
場 所 浜離宮朝日ホール(東京・築地)  
伴 奏 林絵里女史(ピアノ)  
来場者 約550名



「Steven Isserlisチェロ・リサイタル」 Stradivarius Cello 1730 “Feuermann”

日 時 2000年2月23日(水)レセプション18:00～ 演奏会19:00～20:10  
場 所 カザルスホール(東京・御茶ノ水)  
伴 奏 小林道夫氏(ピアノ・チェンバロ)  
来場者 約500名



2000年度

「Pavel Berman & 加藤知子ヴァイオリン・リサイタル」

グアルネリ・デル・ジェス1736年製「ムンツ」を貸与しているMr. Pavel Bermanの日本デビューリサイタルとして開催した。客演ヴァイオリニストとして加藤知子女史にストラディヴァリウス1736年製「ムンツ」を演奏してもらい、製作年の同じグアルネリ・デル・ジェスとストラディヴァリウス(楽器名も同じ「ムンツ」)の聴き比べができるコンサートにした。1736年に製作された2つのヴァイオリンを使用しての演奏会は、音の聴き比べを楽しんでもらう企画で大変好評であった。

日 時 2000年7月14日(金)レセプション18:00～ 演奏会19:00～20:10  
場 所 浜離宮朝日ホール  
来場者 約550名



加藤知子女史 Stradivarius Violin 1736 “Muntz”  
Mr. Pavel Berman del Gesu Violin 1736 “Muntz”  
伴 奏 林絵里女史(ピアノ)

## 「東京クワルテット・コンサート」 Stradivarius “Paganini Quartet”

関西地区の拠点作りの一つとして、京都コンサートホールの協力を得、東京で従来開催しているコンサートを京都で開催した。基盤を関西に築き上げることで有意義であった。

日 時 2000年10月3日(火) レセプション18:00～ 演奏会19:00～20:10  
場 所 京都コンサートホール小ホール  
来場者 約500名

## 2001年度

### 「秋のストラド」

長期貸与が終了する渡辺玲子女史の演奏と購入したばかりの楽器「ウィルヘルミ」の初演奏披露を兼ねた演奏会となった。Mr. Steven Isserlisの来日に合わせる事ができ華やかな演奏会となった。

日 時 2001年10月31日(水) レセプション18:00～ 演奏会19:00～20:10  
場 所 浜離宮朝日ホール  
来場者 約500名



佐藤俊介氏  
Stradivarius Violin 1725 “Wilhelmj”



渡辺玲子女史  
Stradivarius Violin 1709 “Engleman”



Mr. Steven Isserlis  
Stradivarius Cello 1730 “Feuermann”  
伴奏 林絵里女史(ピアノ)

### 「新春ヴァイオリンコンサート」

長期貸与者のふたりに楽器貸与後、当財団としてはじめての演奏披露となるコンサートを開催した。このコンサートには監督官庁である文部科学省、遠山敦子大臣のご来臨をいただくことができた。

日 時 2002年2月1日(金) レセプション18:00～ 演奏会19:00～20:10  
場 所 浜離宮朝日ホール  
来場者 約500名



諏訪内晶子女史  
Stradivarius Violin 1714 “Dolphin”  
伴 奏 Mr. Boris Berezovsky (ピアノ)



五明カレン女史  
Guarneri del Gesu Violin 1736 “Muntz”  
伴 奏 Mr. Greg Anderson (ピアノ)

### 2002年度

#### 「庄司紗矢香イヤーエンドリサイタル」

日 時 2002年12月26日(木)  
18:00～レセプション 19:00～20:10演奏会  
場 所 浜離宮朝日ホール  
来場者 約500名



庄司紗矢香女史 Stradivarius 1715 “Joachim”  
伴 奏 Mr. Itamar Golan(ピアノ)

### 「スプリング・コンサート」

ベルギー・エリザベート王妃国際コンクールヴァイオリン部門に2001年5月に優勝し、当財団所有楽器を使用することになったMs. Baiba Skrideとその妹(ピアニスト)のデュオコンサートを実施した。

日 時 2003年3月6日(木) レセプション18:00～ 演奏会19:00～20:10  
場 所 浜離宮朝日ホール  
来場者 約520名



Ms. Baiba Skride Stradivarius Violin 1708 “Huggins”  
伴奏 Ms. Lauma Skride (ピアノ)

### 2003年度

#### 「アイザック・スターン・メモリアル・チャリティ・コンサート」

日 時 2003年5月28日(水) レセプション18:00～ 演奏会19:00～20:00  
場 所 第一生命ホール(東京・晴海)  
演奏者 Mr. Pinchas Zukerman Guarneri del Gesu Violin 1740 “Ysaye”使用  
伴 奏 Ms. Tatiana Goncharova (ピアノ)  
チャリティ先 「アイザック・スターン奨学基金」  
(カナダ・ナショナル・アーツセンターの若手育成プログラム)  
チケット販売 一席5,000円で販売し、売上は全額チャリティ先に寄贈した。  
来場者 約550名

この演奏会は楽器貸与事業の広報の場とすると同時に、日本でのチャリティ文化の推進を図ることを目的とした。当財団主催の演奏会では、これが日本国内で初めてのチャリティ・コンサートとなった。1998年に購入した楽器、グアルネリ・デル・ジェス1740年製ヴァイオリン「イザイ」は、ベルギーの国家的演奏家ウジェーヌ・イザイによって使用された後、故アイザック・スターン氏によって愛用され、同氏が逝去後、この楽器を日本で披露する機会があったが、宮崎国際音楽祭のため来日するピンカス・ズッカーマン氏が「イザイ」を使用して当財団主催の演奏会に出演することを快諾してくれたことによりこの演奏会は実現した。

なお、同氏が現在率先して行っている若手音楽家の育成プログラムのための「アイザック・スターン奨学基金」が当財団の事業目的に共通するため、今回の演奏会をチャリティ・コンサートとしてチケットを販売し、チケット売上全額(US\$30,000)を寄贈した。

この演奏会には皇后陛下の行啓を賜った。

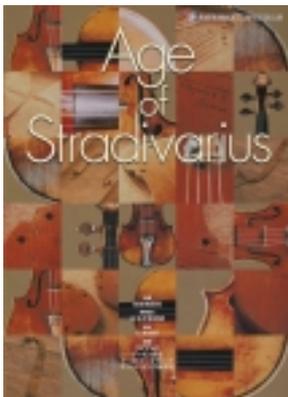


前列左より  
笹川陽平日本財団理事長、  
曾野綾子日本財団会長、  
皇后陛下、  
首藤堯当財団会長、首藤会長夫人



Mr. Pinchas Zukerman  
Guarneri del Gesu Violin 1740 “Ysaye”  
伴奏 Ms. Tatiana Goncharova(ピアノ)

## 「Age of Stradivarius」



当財団の所有楽器11挺と楽器貸与者11名による演奏会を3夜続けて下記のとおり東京において開催した。このように多くのストラディヴァリウスを集めた演奏会は、当財団設立25年記念演奏会(1998年9月8日開催)後、国内においては今回が2度目となる。

「Age of Stradivarius」と題したこの演奏会は、産経新聞社との共同開催となったため、楽器貸与事業についての広報を、モーストリークラシック(音楽専門月刊誌)及び新聞紙上で効果的に周知でき、当日演奏を聴いていただいた来場者のほかに、広く当財団の楽器貸与事業を理解してもらうことができた。

また広報の一環として、この公演のプログラムには当財団所有の19挺の楽器の詳細を記載し紹介したほか、演奏会3公演の実録CD、DVDを作成し関係者に配布した。なお、この演奏会は第33回フジサンケイグループ広告大賞(イベント部門優秀賞)を受賞した。

### 日時・場所及び来場者数

2003年11月26日(水)19:00 東京オペラシティコンサートホール(初台) 約1600名  
2003年11月27日(木)19:00 東京オペラシティコンサートホール(初台) 約1600名  
2003年11月28日(金)19:00 東京芸術劇場コンサートホール(池袋) 約1900名



その他の写真は巻頭写真参照



指揮 堤 俊作氏(26日,27日)

管弦楽 ロイヤルチェンバーオーケストラ(26日,27日)

演奏家及び(出演日)使用楽器

内田輝氏(26日)

Stradivarius Violin 1700 “Dragonetti”

Ms. Baiba Skride(27日,28日)

Stradivarius Violin 1708 “Huggins”

諏訪内晶子女史(26日,28日)

Stradivarius Violin 1714 “Dolphin”

Ms. Viviane Hagner(27日,28日)

Stradivarius Violin 1717 “Sasserno”

樫本大進氏(27日,28日)

Stradivarius Violin 1722 “Jupiter”

佐藤俊介氏(26日,28日)

Stradivarius Violin 1725 “Wilhelmj”

Ms. Judith Ingolfsson(26日,28日)

Stradivarius Violin 1736 “Muntz”

池田菊衛氏(東京クワルテット)(28日)

Stradivarius Violin 1680 “Paganini”

Mr. Martin Beaver(東京クワルテット)(28日)

Stradivarius Violin 1727 “Paganini”

磯村和英氏(東京クワルテット)(27日,28日)

Stradivarius Viola 1731 “Paganini”

Mr. Clive Greensmith(東京クワルテット)(26日,28日)

Stradivarius Cello 1736 “Paganini”

江口玲氏(ピアノ・28日)

#### 「Lisa Batiashvili 新春コンサート」

日時 2004年1月27日(火) レセプション18:00～ 演奏会19:00～20:10

場所 浜離宮朝日ホール

来場者 約520名



Ms. Lisa Batiashvili Stradivarius Violin 1709 “Huggins”  
伴奏 占部由美子女史(ピアノ)

## 財団所有楽器による海外演奏会の開催

当財団所有楽器を使用する海外演奏会は、主に楽器貸与者の活動地を中心として演奏会を開催し、当該国と我が国との友好促進を図ること、同時に、当財団の楽器貸与事業によって、如何に日本が音楽文化に対して国際貢献を果たしているかを当該国有識者にアピールすることを目的として、1998年度より実施している。

コンサート開催地は毎年変わるが、各開催地では外交・経済・文化・教育・音楽の各界の要人に当財団の楽器貸与事業の意義を充分広報することができた。また演奏家の高い技術によるストラディヴァリウスの音色を紹介したことはもとより、日本の音楽界における国際貢献を効果的にアピールすることができ、国際交流に大いに役立てることができた。

この事業は、すべて日本財団並びに関連の海外法人との相互協力のもとに実施している。

### 1998年度

#### Stradivarius Cello Recital

日 時 1999年3月7日(日) レセプション18:00～ 演奏会19:30～20:30  
場 所 英国王立音楽院(ロンドン)  
演奏者 Mr. Steven Isserlis Stradivarius Cello 1730 “Feuermann”使用  
伴 奏 Mr. Ian Brown(ピアノ)  
共催団体 グレートブリテン・ササカワ財団、英国王立音楽院  
来場者 約450名

#### The Tokyo String Quartet with Richard Stoltzman

日 時 1999年4月16日(金) 演奏会20:00～ レセプション21:30～  
場 所 Miller Theatre, Columbia University(ニューヨーク)  
演奏者 東京クワルテット Stradivarius “Paganini Quartet”使用  
Mr. Mikhail Kopelman Violin 1727 “Paganini”  
池田菊衛氏 Violin 1680 “Paganini”  
磯村和英氏 Viola 1731 “Paganini”  
原田禎夫氏 Cello 1736 “Paganini”  
Mr. Richard Stoltzman (Clarinet)  
協力団体 The Donald Keene Center, Columbia University (日本文化研究センター)  
来場者 約150名

この演奏会は、米国コロンビア大学The Donald Keene Center(日本文化研究センター)への研究資金チャリティ・コンサートとして開催され、大成功を収めることができた。

ニューヨークにおける外交・経済・文化・教育・音楽の各界の要人が参集し、当財団の楽器貸

与事業の意義を周知した。また日本文化を紹介することにより、ニューヨークにおける日本理解のネットワークをより確実なものにすることができ、日米交流に大いに役立てることができた。

#### 2000年度

##### **The Tokyo String Quartet**

日 時 2000年10月19日(木) 演奏会20:00～ レセプション21:30～  
場 所 The Four Seasons Olympic Hotel, Metropole Hall (米国・シアトル)  
演奏者 東京クワルテット Stradivarius “Paganini”使用  
Mr. Mikhail Kopelman Violin 1680 “Paganini”  
池田菊衛氏 Violin 1727 “Paganini”  
磯村和英氏 Viola 1731 “Paganini”  
Mr. Clive Greensmith Cello 1736 “Paganini”

協力団体 米日財団

来場者 約200名

この演奏会は、米日財団設立20周年記念コンサートとして開催された。米日財団の全面的な協力のもと、ニューヨーク及びシアトルにおける外交・経済・文化・教育・音楽の各界の要人が参集し(日本からは中曽根元首相も参加)、当財団の楽器貸与事業の意義を周知した。

またアメリカにおける日本理解のネットワークをより確実なものにすることができ、日米交流に大いに役立てることができた。

#### 2001年度

##### **Seven Stradivarius Palace Concert**

日 時 2001年4月18日(水)レセプション18:30～ 演奏会19:30～21:00  
\*招待者(150名)を対象にチャペルに隣接するArmory Museumにおいてコンサート前のレセプションを行った。  
場 所 ストックホルム、スウェーデン王宮内チャペル(400席)  
共 催 Marshal of the Realm (スウェーデン王室)、  
スカンジナビア・ニッポンササカワ財団  
貴 賓 カール16世グスタフ国王・シルヴィア王妃  
来場者 招待者 約200名  
一般売 約200名(国王のご意向により一般にも公開した)

この演奏会は、スウェーデン国王・王妃ご臨席のもと大盛況に行われた。当初からの国王のご意向にそってチケットを一般販売し、400席中の約半分は新聞広告によって宣伝・販売した。

ストラディヴァリウスのみを7挺集めて行われた演奏会は当地でも前代未聞ということでチケットも完売となった。またスウェーデン国営テレビもインタビューに来るなど大きな話題になり、当財団活動の広報目的は十分に達成された。





東京クワルテット           Stradivarius “Paganini Quartet”  
 Ms. Viviane Hagner        Stradivarius Violin 1717 “Sasserno”  
 樫本大進氏                 Stradivarius Violin 1722 “Jupiter”  
 Ms. Malin Broman (スウェーデン音楽院所有楽器Stradivarius Violin 1709 “Ex-Crafoord”)  
 Mr. Simon Crawford Philips (ピアノ)

#### **Japan 2001 オープニング・ガラ・コンサート (ロンドン)**

日 時                   2001年5月20日(日) 19:30～21:30  
 場 所                   Royal Festival Hall (3000席)  
 主 催                   Japan 2001実行委員会  
 共 催                   グレートブリテン・ササカワ財団  
 協 力                   Philharmonia Orchestra  
 来場者                  約3000名  
 オーケストラ         Philharmonia Orchestra  
 指 揮                   Maestro Vladimir Ashkenazy  
 ソリスト                諏訪内晶子女史 Stradivarius Violin 1714 “Dolphin”使用  
                           Mr. Evgeny Kissin (ピアノ)  
 貴 賓                   浩宮皇太子殿下

日英両政府が主幹となって開催しているJapan2001のオープニング演奏会として開催された当演奏会には、Japan2001の日本側の総裁でいらっしゃる皇太子殿下にもご臨席いただくことができ、現地でも非常に話題になり、当財団活動の広報目的も十分に達成された。

当演奏会の唯一のスポンサー団体として、当日来場者3000名に配られたコンサート・プログラムの表紙には日本音楽財団のロゴが大々と明記されて注目を浴びた。また、Japan2001の総合プログラムにも掲載されたためロンドンのみならず英国中にも幅広く当財団の活動を広報することができた。

**A Stradivari Musical Extrabaganza (ロンドン)**

日 時 2001年5月23日(水) 19:15～ レセプション、コンサート、夕食会  
場 所 Lancaster House、ロンドン  
ホスト HRH The Duke of Kent K.G.  
共 催 グレートブリテン・ササカワ財団  
協 力 Philharmonia Orchestra  
援助先 Philharmonia Orchestra、Prussia Cove(室内楽マスタークラス)  
来場者 200名 \*チケット1枚200ポンドで販売  
演奏及び楽器 東京クワルテット Stradivarius “Paganini Quartet”  
渡辺玲子女史 Stradivarius Violin 1709 “Engleman”  
Ms. Julia Fischer Stradivarius Violin 1716 “Booth”  
Ms. Viviane Hagner Stradivarius Violin 1717 “Sasserno”  
檜本大進氏 Stradivarius Violin 1722 “Jupiter”  
Mr. Steven Isserlis Stradivarius Cello 1730 “Feuermann”  
Stradivarius Viola 1769 “Archinto” \*英国ロイヤルアカデミー所蔵  
伴奏 Mr. Ian Brown (ピアノ)



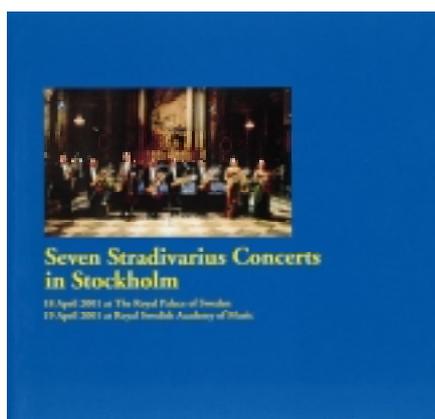
ケント公と演奏家たち



このチャリティ・コンサートは、ロンドンのオピニオンリーダー等の有力者200名を対象に大盛況に終わることができた。ストラディヴァリウスを10挺集めて行われた演奏会は当地でも前代未聞ということで非常に話題になり、当財団活動の広報目的も十分に達成された。演奏会后、素晴らしい日英間の文化交流であったというお褒め並びに絶賛のお言葉を多くの方々からいただいた。

演奏会終了後日にも、出席者から感激のあまり追加寄付がさらに集まり、200名の出席者から(うち約30名はご招待者)合計約880万円のチケット売上げと寄付金が集まった。この金額は予想を上回るほどであり、十分な寄附を英国の音楽界に対して贈呈することができ、目的も十分に達成できたと言える。この寄附は、英国のオーケストラPhilharmonia Orchestraと室内楽マスターコースIMS Prussia Cove間で折半された。

当演奏会は、日英両政府が推進するJapan2001の認知事業として開催されたため、Japan2001の総合プログラムにも掲載され、ロンドンのみならず英国中にも幅広く当財団の活動を広報することができた。



ストックホルム、ロンドン、北京及びザルツブルグでの各コンサートは実録CDを作成し、広報活動の一環として日本と各国の関係者に配布した。

2002年度

### All Stradivarius Concert

日中国交正常化30周年記念国家事業の一環として、中国(北京)において、当財団が所有するストラディヴァリウス8挺を使用してAll Stradivarius Concertを2回開催した。



東京クワルテット	Stradivarius "Paganini Quartet"
Ms. Baiba Skride	Stradivarius Violin 1708 "Huggins"
Ms. Lisa Batiashvili	Stradivarius Violin 1709 "Engleman"
諏訪内晶子女史	Stradivarius Violin 1714 "Dolphin"
Ms. Viviane Hagner	Stradivarius Violin 1717 "Sasserno"
伴奏 林絵里女史(ピアノ)	

- 日 時 2002年10月25日(金) 19:30~21:30  
第5回北京音楽祭の一環として、保利劇場(1400席)にて特別公演を開催した。  
1400席中400席は中国における音楽関係者らを招待し、残りの1000席は一般聴衆に販売した。
- 主 催 中国文化部、北京国際音楽祭  
共 催 中国国際友好聯絡会、笹川日中友好基金
- 日 時 2002年10月26日(土) 16:00~17:10  
中国政府要人を招いてサロン・コンサートを釣魚台迎賓館にて開催した。  
ご招待者のみ対象(150名)
- 出演者 前述10月25日と同じ  
主 催 中国国際友好聯絡会、笹川日中友好基金  
協 力 北京国際音楽祭



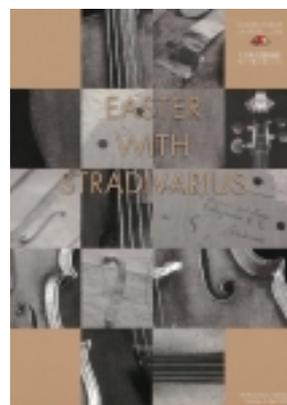
2公演とも中国側からは、呉儀中国国務委員、黄華元中国首相、蕭榕女史を含む要人にご出席をいただいた。

## 2003年度

### Easter with Stradivarius (ザルツブルグ)

日本財団が長年支援し、関係を築き上げてきたザルツブルグ・イースター音楽祭との共催により、2004年ザルツブルグ・イースター音楽祭の一環として「イースター with ストラディヴァリウス」演奏会を4月4日にモーツアルテウム大ホールにてストラディヴァリウス14挺を一堂に会して開催した。

演奏されたストラディヴァリウスのうち13挺は当財団が所有する楽器で、ヴィオラ1挺は、ベルリンフィルの常任指揮者サイモン・ラトル氏の口添えによりメンデルスゾーンの弦楽八重奏曲作品20をストラディヴァリウス8挺で演奏するために英国のロイヤルアカデミーより特別に借用することができた。当日はモーツアルテウムを満席(約800席)にした聴衆からスタンディング・オベーションを受けた。



今回の演奏会は、14挺の楽器のそれぞれの音色が聴けるような室内楽演目を、ベルリンフィルの第一コンサートマスターである安永徹氏と夫人の市野あゆみ女史(ピアニスト)に選んでいただいた。

ヨーロッパにおけるオピニオンリーダーをはじめとする有識者が多数訪れるこの音楽祭の公式プログラムとして開催できたことにより、楽器貸与事業を通じてのクラシック音楽界に対する当財団の貢献を世界的な規模で周知広報することができた。

日 時	2004年4月4日(日) 演奏会11:00~13:30	
場 所	Mozerteum大ホール(オーストリア国ザルツブルグ)	
共 催	ザルツブルグ・イースター音楽祭	
演奏者	石坂団十郎氏	Stradivarius Cello 1696 "Lord Aylesford"
	安永徹氏	Stradivarius 1702 Violin "Lord Newlands"
	Ms. Baiba Skride	Stradivarius Violin 1708 "Huggins"
	Ms. Lisa Batiashvili	Stradivarius Violin 1709 "Engleman"

諏訪内晶子女史	Stradivarius Violin 1714 “Dolphin”
Ms. Julia Fishcher	Stradivarius Violin 1716 “Booth ”
Ms. Viviane Hagner	Stradivarius Violin 1717 “Sasserno”
樫本大進氏	Stradivarius Violin 1722 “Jupiter”
佐藤俊介氏	Stradivarius Violin 1725 “Wilhelmj”
東京クワルテット	Stradivarius “Paganini Quartet”
(Mr. Martin Beaver、池田菊衛氏、磯村和英氏、Mr. Clive Greensmith)	
伴奏 市野あゆみ女史(ピアノ)	
Stradivarius Viola 1696 “Archinto” *英国ロイヤルアカデミー所蔵	

なお、広報活動の一環としてこの公演のプログラムには当財団所有の楽器の詳細を記載したほか、当日の実録CD、DVDを作成し関係者に配布した。



その他の写真は巻頭写真参照

レセプション後に演奏家と一緒に

## 2. 演奏会の開催事業（海外著名指揮者、オーケストラ等による演奏会）

日本における海外著名指揮者、オーケストラ並びに海外居住の演奏家によるコンサートは高額でなかなか生の音楽を聴く機会を作ることができないこと、また日本の西洋音楽とのかかわりが明治維新以降約100年足らずであることを鑑み、当財団は良質のクラシック音楽を低廉な価格で一般に提供するコンサートを1994年より開催してきた。

これは、西洋クラシック音楽をわが国に普及し、人々の心の安らぎと穏やかで精神生活をもたらすとともに、物心均衡の取れた豊かな生活を求めようとすることを目的とした。

良質の音楽を低廉な価格で提供することは、クラシック音楽の普及・振興とクラシック愛好家の拡大を図ることに貢献しているが、この観点からこのような演奏会の機会が今後ますます増大することが切に望まれている。開催したコンサートは下記のとおりである。

### 1994年度

期 日	1994年5月26日(木) 19:00～
場 所	サントリーホール
指 揮	Maestro Lorin Maazel
オーケストラ	フィルハーモニア管弦楽団
視聴者数	1800名 うち招待960名
曲 目	ベートーヴェン交響曲第1番、第3番「英雄」

### 1995年度

期 日	1995年6月1日(木) 19:00～
場 所	東京芸術劇場大ホール
指 揮	Maestro Lorin Maazel
オーケストラ	ピッツバーグ交響楽団
視聴者数	2000名 うち招待1000名
曲 目	チャイコフスキー・プログラム くるみ割り人形より花のワルツ ヴァイオリン協奏曲ニ短調作品35 Mr. Julian Raclin(ヴァイオリン)

期 日	1996年1月17日(水) 19:00～ (当財団所有楽器Huggins披露の演奏会を兼ねる)
場 所	NHKホール
指揮&ヴァイオリン	Maestro Lorin Maazel
オーケストラ	バイエルン放送交響楽団
視聴者数	1500名 うち招待700名

曲 目 ヨーゼフ・シュトラウス「ナスワルドの娘」作品267  
「踊るミューズ」作品266

#### 1996年度

##### コントラバス・レクチャー・クリニック(音大生・プロを対象)

(コントラバスのフランス弓奏法とドイツ弓奏法を比較することにより、コントラバスの新たな魅力を探ることをテーマに実施)

期 日 1996年10月26日(土)27日(日)  
場 所 関西日仏学館稲畑ホール(京都)  
講 師 フランス弓奏法:今野京氏(N響奏者)  
ドイツ弓奏法:文屋充徳氏(ヴェルツブルグ音楽大学教授)  
受 講 者 8名  
聴 講 者 延べ37名

##### コントラバス・レクチャー・コンサート

期 日 1996年10月28日(月)  
場 所 京都コンサートホール小ホール  
演 奏 者 フランス弓奏法:今野京氏(N響奏者)  
ドイツ弓奏法:文屋充徳氏(ヴェルツブルグ音楽大学教授)  
ピアノ伴奏:児島一江氏(東京芸術大学講師)  
来 場 者 約170名

「コントラバス・レクチャー・クリニックとコンサート」のうちクリニックは、プロまたはプロを目指す音大生を対象に、フランス弓奏法とドイツ弓奏法の違いを歴史的背景からわかりやすく解説し、コントラバス奏法を指導したものである。コントラバス奏法の比較に着眼点を置いたコンサートは、日本では初めての試みであった。一般には伴奏楽器として認識されているコントラバスがソロ楽器としても十分魅力のある楽器であることを証明したコンサートであった。

この企画に関する継続実施の要望が関係者から多く寄せられたことは、今回の企画が音楽界の人々に高く評価された一つの証左であると思われる。

財団としては、関西地区でのコンサート実施は初めてであったが、企画実施を同地域の音楽関係者と共同作業で行ったことにより、当財団の今後の関西地区における活動展開の足掛かりが得られた。

#### 1997年度

期 日 1997年5月15日  
場 所 東京国際フォーラムCホール  
指 揮 Maestro Lorin Maazel

オーケストラ フィルハーモニア管弦楽団  
ソリスト 前橋汀子女史(ヴァイオリン)  
視聴者数 1400名  
曲 目 「劇場支配人」序曲ハ長調作品486  
ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調作品219  
交響曲第41番ハ長調作品551「ジュピター」

皇太子殿下・妃殿下並びに高円宮殿下・妃殿下のご臨席いただいた。

### 1999年度

#### チェロリサイタル3公演、公開レッスン1回

チェリストで世界的に著名であり、当財団の楽器貸与委員のメンバーでもあるヤーノシュ・シュタルケル教授(チェロ)の来日リサイタルを3回、公開レッスンを1回開催した。

10月9日(土)のリサイタルは、当初、10月6日(水)予定であったが、出演者のやむを得ぬ理由により振り替えて実施したものである。また、音楽家を目指している若手チェリストに直接指導する公開レッスンを企画し、演奏技術の向上と指導法を学ぶ機会を提供した。

京都コンサートホール小ホール 1回、カザルスホール(東京御茶ノ水) 3回

チェロ ヤーノシュ・シュタルケル教授

ピアノ伴奏 練木繁夫氏



期 日 1999年10月1日(金)レセプション18:00～ リサイタル19:00～21:00  
場 所 京都コンサートホール小ホール  
視聴者数 約500名(招待209名、一般254名)  
後 援 京都市音楽芸術振興財団

期 日 1999年10月5日(火)公開マスタークラス18:30～  
場 所 カザルスホール(東京・御茶ノ水)  
講 師 ヤーノシュ・シュタルケル教授  
聴講者数 約420名 レッスン受講者 3名  
共 催 日本チェロ協会

期 日 1999年10月7日(木)レセプション18:00～ リサイタル19:00～21:00  
場 所 カザルスホール(東京・御茶ノ水)  
視聴者数 約500名  
後 援 カザルスホール倶楽部、主婦の友社  
共 催 カザルスホール

期 日 1999年10月9日(土)リサイタル13:00～14:50  
場 所 カザルスホール(東京・御茶ノ水)  
視聴者数 約400名  
後 援 カザルスホール倶楽部、主婦の友社  
共 催 カザルスホール

関西地区(京都)の公演は1回のみのため、一般販売と招待を半分ずつに設定した。一般販売の入場料金は関西地区の現状を勘案し、東京開催よりも低額で提供した。その結果、当日券販売は予定を上回る評判で、著名演奏家の低料金での演奏会を期待している同地域の状況が窺えた。また、同伴での招待と開演前のレセプションとの組み合わせによる演奏会の形式は、来会者同士の懇親の場となったことも相俟って評価が高く、会場となった京都コンサートホールからも継続した開催及び同様の形式による演奏会を開催していきたいと今後の継続の意欲が見られた。

東京でのリサイタル2日開催のうち1日を一般公開日として低廉な料金にて提供し、もう1日は主に外交界並びにわが国各界のオピニオンリーダを招待し、チェロリサイタルの楽しみを味わってもらうとともに、当財団の事業展開の広報を行った。なお、一般公開日当日10月6日が、演奏者のやむを得ぬ理由により9日へ振替となったが、大きな混乱もなくキャンセル料金の返金や代替演奏会への振替作業を済ませることができた。このような経験は当財団事業での初めてのものであったが、キャンセルの処理及び当日券販売などの実務については、今後のため有益な参考となった。

公開レッスンは、日本チェロ協会と共催し、同協会を通じて周知し無料公開することにより、アマチュア演奏家並びに指導者たちが、聴講し易いように配慮した。この結果、多くの人達が卓越した演奏技術や演奏指導を間近に聴講することができ、演奏を志す人達や指導者等を通じて室内楽の普及振興の一助となった。

## 2000年度

世界的に著名であり、当財団の楽器貸与委員のメンバーでもあるロリン・マゼール氏指揮によるバイエルン放送交響楽団の日本ツアーに合わせ、当財団主催の演奏会を1回開催した。ソリストには当財団楽器貸与者の樫本大進氏と新進チェリストとして脚光を浴びているハンナ・チャン女史を起用した。

期 日	2000年10月25日(金)19:00～
場 所	東京オペラシティコンサートホール
指 揮	Maestro Lorin Maazel
オーケストラ	バイエルン放送交響楽団
ソリスト	樫本大進氏 Stradivarius Violin1722 “Jupiter”使用 ハンナ・チャン女史 (チェロ)
曲 目	グリンカ 歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲 チャイコフスキー 「ロココ風の主題による変奏曲」 ラヴェル 「ツイガース」 モーツァルト 交響曲第39番 変ホ長調作品543 アンコール曲 「バラの騎士」
視聴者数	1500名

### 3. 音楽文化の振興事業(音楽助成金の交付事業)

日本における各種音楽団体は、それぞれの分野で音楽活動を行っているが、いずれも組織力、資金面での制約があり、十分な活動が行えない事情にある。当財団は、これらの音楽諸団体を支援し、音楽水準の向上を図るとともに、音楽の普及と振興を目的として、音楽団体の実施する事業に対し助成金を交付している。

1993年度まではアマチュア音楽団体が実施する講習会(講師派遣)助成に限っていたが、財団設立20年となった1994年度から支援事業対象を音楽一般に広げた。それにより助成団体が増加し、各種音楽団体は、より充実した事業を実施できるようになった。

1994年度当初は吹奏楽、合唱、日本太鼓分野が主であったが、1995年度から室内楽等の弦楽器分野を多く採用するようになった。

また、1996年度には助成予算総額が年額1,000万円から2,000万円と2倍になったことから、多様な事業への支援も可能となった。よってこの年度から、一定のガイドラインを設け資金枠の中で、より効率のよい事業に支援することができるようにした。

ガイドラインとして掲げたことは、

#### ① 事業の主旨

音楽文化の振興を目的として、より多くの人に、より多くの音楽に接する機会を提供し、「豊かにして、ゆとりある心」を持つ人を育成できればという考えから、各種音楽団体等が実施する音楽事業に対し資金的援助を行う。

#### ② 事業の対象団体

本事業の趣旨に沿った事業の実施を目的とする音楽団体で、社団法人、財団法人などの公益法人。任意団体であっても、規約・会則等があり、意思の決定及び会計処理のための組織を有し、事務所を設けているなどの要件を充たしている団体、そのほか当財団の事業運営委員会において認められた団体。

#### ③ 対象となる事業

申請を希望する団体が直接主催する事業で、演奏技術の向上(講習会・研修会)、国際交流、普及、音楽を通じてのボランティア活動等を目的とした事業。なお、主に弦楽器部門を重視し、原則として企業色の強い事業や宣伝を意図した事業は、対象から除く。

#### ④ 助成交付額の上限

交付額の上限は、原則、国際的および全国規模の事業200万円、地域単位の音楽祭、演奏会等の事業100万円、地域単位の講習会、音楽教室等の事業50万円とした。また同一事業者が行う事業に対する年間交付額は、事業数に係わりなく原則として300万円以内とした。

1997年度からは海外の団体が実施する国際事業に関しても支援できるようになり、国内外、アマチュア・プロを問わず事業選定を実施してきた。

2000年度からはこれまで支援できなかった障害者グループの演奏会発表及び高齢化社会を見据えたシニアオーケストラの活性化研修等を加えた。障害者や高齢者の治療及び生きがいの一環となる事業は、近年音楽療法として注目されているが、今後も積極的に取り組んでいかなければならない事業である。

事業の選定にあたっては、すべて事業運営委員会の選考を諮って決定している。(資料:事業運営委員歴代名簿P77参照)

事業の詳細については、音楽助成金交付実績(巻末資料)のとおりであるが1994年度から2003年度の10年間に51団体134事業助成総額1億6千6百万円となった。

当財団が弦楽器貸与事業と並行して音楽諸団体への支援を引き続き行っていくことは、音楽関係者からの強い要望である。

音楽助成金交付事業実施状況

年度	交付分野	件数	事業費
1994年度	合唱	1	25 万円
	吹奏楽・マーチング	4	220 万円
	日本太鼓	3	200 万円
	室内楽	3	207 万円
	国際交流	1	40 万円
	療育音楽	1	100 万円
	合計	13	792 万円
1995年度	合唱	1	200 万円
	吹奏楽・マーチング	3	200 万円
	日本太鼓	2	250 万円
	室内楽	2	300 万円
	合計	8	950 万円
1996年度	合唱	1	150 万円
	吹奏楽・マーチング	2	200 万円
	日本太鼓	3	699 万円
	オーケストラ	2	250 万円
	室内楽	3	350 万円
	ガラコンサート	2	200 万円
	音楽教育	1	150 万円
合計	14	1,999 万円	
1997年度	合唱	3	400 万円
	吹奏楽・マーチング	2	200 万円
	日本太鼓	1	100 万円
	オーケストラ	2	270 万円
	室内楽	3	500 万円
	ガラコンサート	2	327 万円
	合計	13	1,797 万円
1998年度	合唱	3	420 万円
	吹奏楽・マーチング	2	200 万円
	オーケストラ	3	380 万円
	室内楽	4	550 万円
	国際交流	1	200 万円
	音楽教育	1	200 万円
	合計	14	1,950 万円
1999年度	合唱	1	150 万円
	吹奏楽・マーチング	2	200 万円
	オーケストラ	3	430 万円
	室内楽	4	500 万円
	音楽教育	2	350 万円
	合計	12	1,630 万円
2000年度	合唱	1	100 万円
	吹奏楽・マーチング	2	200 万円
	オーケストラ	4	550 万円
	室内楽	5	564 万円
	音楽教育	1	150 万円
	療育音楽	1	100 万円
	合計	14	1,664 万円
2001年度	合唱	1	130 万円
	吹奏楽・マーチング	3	300 万円
	オーケストラ	2	250 万円
	室内楽	5	600 万円
	国際交流	3	450 万円
	療育音楽	1	120 万円
合計	15	1,850 万円	
2002年度	合唱	2	200 万円
	吹奏楽・マーチング	2	200 万円
	オーケストラ	3	400 万円
	室内楽	4	500 万円
	国際交流	1	100 万円
	音楽教育	3	450 万円
	療育音楽	1	150 万円
合計	16	2,000 万円	
2003年度	合唱	1	100 万円
	吹奏楽・マーチング	2	200 万円
	オーケストラ	2	300 万円
	室内楽	3	350 万円
	音楽教育	6	900 万円
	療育音楽	1	150 万円
合計	15	2,000 万円	
総計		134	16,632 万円

#### 4. その他協力事業

当財団は、1994年より事業の3本柱として、国際交流事業(楽器貸与事業)、演奏会の開催、音楽助成金の交付事業を掲げているが、これらに加え、従来からの音楽関連機関が主催する事業への協力を、国内外を問わず積極的に実施してきた。また、日本財団を中心とした関連団体の実施する諸事業についても演奏家(団体)を派遣し、当財団の広報の一環として積極的に協力してきた。

特筆しておく内容としては、①1995年にザルツブルグ音楽祭音楽監督の来日時の記事会見及びレセプションの運営協力、②2001年にマゼール・ヴィラ国際指揮者コンクールアジア地区予選の日本事務局として協力、③2001年「We Love New York」チャリティ・コンサート、また④1996年より日本財団が支援しているザルツブルグ・イースター音楽祭事務局との細部にわたる事務手続き等の協力支援等が挙げられる。この4事業の協力は、今後の各種イベント開催の運営等に関してのノウハウを学ぶことができ、財団としては有意義な協力事業であった。

また、当財団は1997年11月に設立した財団法人日本太鼓連盟の前身である全日本太鼓連盟の事務局を、1979年より約18年間当財団内に置き、その事務を行ってきた。なお、当該団体が法人化するに際しては、法人化申請の事務を積極的に協力した。従来当財団が日本太鼓関連事業にかかわってきた事業に関しては、法人化を機にすべて財団法人日本太鼓連盟に移行した。

1994年度から2003年度の10年間の協力事業は巻末資料のとおりである。

# 3 日本音楽財団 役員、委員名簿

---

---

---

日本音楽財団 歴代会長



初代会長 笹川良一(1974年3月設立時より1978年10月まで)



第2代会長 江崎真澄  
(1978年10月～1992年3月)



第3代会長 首藤 堯  
(1992年5月～2003年6月)



第4代会長 小林 實  
(2003年6月～現在)

**理事・監事**

敬称略

(設立時から1994年までは「25年の歩み」に記載)

**第11期理事・監事**(任期1993.6.4～1995.6.5)

会長	首藤 堯	(財)地域総合整備財団(ふるさと財団)会長
副会長	鹿海 信也	元・文化庁文化部長
専務理事	塩見 和子	常勤(1993.9.17 理事就任、1993.9.24 専務就任)
常務理事	下田 勝美	常勤
理事	遠藤 実	作曲家
理事	岩淵龍太郎	ヴァイオリニスト
理事	中曾根松衛	(株)芸術現代社社長
理事	小口 大八	全日本太鼓連盟理事長
理事	三條 進弘	(社)全国モーターボート競走会連合会専務理事
理事	山本 直純	作曲家・指揮者
理事	吉田 貴壽	昭和音楽大学学長
監事	石井 歆	作曲家

**第12期理事・監事**(任期1995.6.6～1997.6.5)

会長	首藤 堯	(財)自治総合センター会長
副会長	鹿海 信也	元・文化庁文化部長 (社)日本芸能実演家団体協議会参与
理事長	塩見 和子	常勤(1995.6.13 理事長就任)
常務理事	下田 勝美	常勤
理事	芦田 淳	ファッション・デザイナー
理事	畠山 向子	(財)畠山記念美術館館長
理事	日野原重明	聖路加国際病院院長
理事	Isabelle Hupperts	ベルギー・ジェネラル・グループ・ジャパン(株)社長
理事	岩淵龍太郎	ヴァイオリニスト
理事	児玉 幸治	商工組合中央金庫理事長
理事	成田 豊	(株)電通社長
理事	西村 康雄	日本国有鉄道清算事業団理事長
理事	新田 勇	(株)東芝常務取締役
理事	小口 大八	全日本太鼓連盟理事長
理事	佐治 俊彦	(株)SS コミュニケーションズ社長
理事	植村伴次郎	(株)東北新社 社長
監事	三宅 省三	弁護士(1996.5.15 就任)
監事	三條 進弘	(社)全国モーターボート競走会連合会専務理事

**第13期理事・監事**(任期1997.6.6～1999.6.5)

会長	首藤 堯	(財)自治総合センター会長
副会長	鹿海 信也	元文化庁文化部長 (社)日本芸能実演家団体協議会参与
理事長	塩見 和子	常勤
常務理事	下田 勝美	常勤
理事	芦田 淳	ファッション・デザイナー
理事	Gili 栄子	エッセイスト(1998.5.27 就任)

理事	畠山 向子	(財)畠山記念美術館館長
理事	日野原重明	聖路加国際病院名誉院長
理事	Isabelle Hupperts	ベルギー・ジェネラル・グループ・ジャパン(株)社長
理事	岩淵龍太郎	ヴァイオリニスト
理事	児玉 幸治	商工組合中央金庫理事長
理事	成田 豊	(株)電通社長
理事	西村 康雄	日本国有鉄道清算事業団理事長
理事	新田 勇	(株)東芝専務取締役
理事	小口 大八	(財)日本太鼓連盟副会長
理事	佐治 俊彦	(株)SS コミュニケーションズ社長
理事	植村伴次郎	(株)東北新社社長
監事	三條 進弘	(財)モーターボート競走近代化研究センター理事長
監事	三宅 省三	弁護士

#### 第14期理事・監事 (任期 1999.6.6～2001.6.7)

会長	首藤 堯	(財)地方財務協会会長
理事長	塩見 和子	常勤
理事	海老澤 敏	(財)新国立劇場運営財団理事長(2000.6.1 就任)
理事	Glili 栄子	エッセイスト
理事	畠山 向子	(財)畠山記念美術館館長
理事	日野原重明	聖路加国際病院名誉院長
理事	Isabelle Hupperts	ベルギー・ジェネラル・グループ・ジャパン駐在員事務所 日本及びアジア太平洋地区首席代表
理事	岩淵龍太郎	ヴァイオリニスト
理事	児玉 幸治	商工組合中央金庫理事長
理事	西村 康雄	(財)海事産業研究所理事長
理事	新田 勇	(株)東芝顧問
理事	佐治 俊彦	毎日新聞社社友
理事	植村伴次郎	(株)東北新社社長
理事	山之内秀一郎	東日本旅客鉄道(株)会長
理事	頼近美津子	コンサートプランナー
監事	三條 進弘	(財)競艇情報化センター理事長
監事	三宅 省三	弁護士(2000.10.17 逝去)
監事	垣見 隆	弁護士(2000.12.7 就任)

#### 第15期理事・監事 (任期 2001.6.8～2003.6.7)

会長	首藤 堯	(財)地方財務協会特別顧問
理事長	塩見 和子	常勤
理事	海老澤 敏	(財)新国立劇場運営財団理事長
理事	畠山 向子	(財)畠山記念美術館館長
理事	日野原重明	聖路加国際病院名誉院長
理事	Isabelle Hupperts	前欧州ビジネス協議会会長
理事	岩淵龍太郎	ヴァイオリニスト
理事	児玉 幸治	(財)日本情報処理開発協会会長
理事	Hans D Schweisgut	駐日オーストリア大使(2001.10.17 就任)

理事	西村 康雄	(財)海事産業研究所理事長(2002.3.27 逝去)
理事	新田 勇	(株)東芝顧問
理事	佐治 俊彦	毎日新聞社社友
理事	植村伴次郎	(株)東北新社社長
理事	山之内秀一郎	宇宙開発事業団理事長
理事	頼近美津子	コンサートプランナー
監事	垣見 隆	弁護士
監事	宮地 真澄	(社)全国モーターボート競走会連合会理事長

#### 第16期理事・監事 (任期 2003.6.8～2005.6.7)

会長	小林 實	(財)地方財務協会理事長
理事長	塩見 和子	常勤
理事	長谷川和年	伊藤忠商事(株)常勤顧問
理事	海老澤 敏	(財)新国立劇場運営財団副理事長
理事	畠山 向子	(財)畠山記念美術館館長
理事	日野原重明	聖路加国際病院名誉院長
理事	岩淵龍太郎	ヴァイオリニスト
理事	児玉 幸治	(財)日本情報処理開発協会会長
理事	熊谷 直彦	三井物産(株)相談役
理事	Hans D Schweisgut	駐日オーストリア大使(2003.7.10 海外赴任のため辞任)
理事	新田 勇	(株)東芝顧問
理事	佐治 俊彦	毎日新聞社社友
理事	植村伴次郎	(株)東北新社会長
理事	山之内秀一郎	宇宙航空研究開発機構理事長(2003.10.1 組織名称変更)
理事	頼近美津子	コンサートプランナー
監事	垣見 隆	弁護士
監事	宮地 真澄	(社)全国モーターボート競走会連合会理事長

#### 評議員

敬称略

(設立時から1994年までは「25年の歩み」に記載)

#### 第11期評議員 (任期 1994.5.23～1996.6.4)

秋山 紀夫	日本吹奏楽指導者協会会長
井出 博正	作詞家
神川 愛彦	(財)自治総合センター常務理事
川口 譲治	音楽家(ジョージ・川口)
川崎 優	作曲家
佐藤 陽子	音楽家
北橋 徹	元文化庁文化部長 山野美容芸術短期大学副学長
関根 五郎	NHK 交響楽団団友
関谷 晋	(社)全日本合唱連盟副理事長
萩原 道彦	旧東京音楽学校奏楽堂館長

宮地 真澄 (社)全国モーターボート競走会連合会常務理事  
矢萩 保三 (財)日本吟剣詩舞振興会理事  
若松 亮任 (財)ブルーシー・アンド・グリーンランド財団専務理事

**第12期評議員** (任期 1996.6.5～1998.6.4)

安倍 寧 音楽評論家  
藤田 潔 (株)ビデオプロモーション社長  
萩原 道彦 旧東京音楽学校奏楽堂顧問  
石井 歆 作曲家  
神川 愛彦 (財)自治総合センター常務理事  
木全 ミツ (株)イオンフォレスト社長  
北橋 徹 元文化庁文化部長 山野美容芸術短期大学副学長  
清原 武彦 産経新聞社専務取締役  
森下 慶子 (株)ケーピー代表取締役  
佐藤 陽子 音楽家  
関根 五郎 NHK 交響楽団団友  
Vittorio Volpi SBC ウォーバーク ジャパン在日代表取締役会長

**第13期評議員** (任期 1998.6.5～2000.6.4)

安倍 寧 音楽評論家  
藤田 潔 (株)ビデオプロモーション社長  
萩原 道彦 旧東京音楽学校奏楽堂顧問  
堀池 秀人 建築家  
石井 歆 作曲家  
神川 愛彦 (財)自治総合センター常務理事  
木全 ミツ (株)イオンフォレスト社長  
北橋 徹 元文化庁文化部長 山野美容芸術短期大学副学長  
清原 武彦 産経新聞社社長  
森下 慶子 (株)ケーピー代表取締役  
佐藤 陽子 音楽家  
関根 五郎 武蔵野音楽大学講師  
須磨 久善 湘南鎌倉総合病院院長  
Vittorio Volpi UBS グループ在日代表

**第14期評議員** (任期 2000.6.5～2002.6.17)

安倍 寧 音楽評論家  
藤田 潔 (株)ビデオプロモーション会長  
萩原 道彦 旧東京音楽学校奏楽堂顧問  
堀池 秀人 建築家  
石井 歆 作曲家  
神川 愛彦 (財)自治総合センター監事  
木全 ミツ 中日文化経済交流協会副会長  
北橋 徹 元文化庁文化部長 山野美容芸術短期大学副学長  
清原 武彦 産経新聞社社長  
小林 道夫 ピアニスト、チェンバロ奏者

森下 慶子	(株)ケーピー代表取締役
佐藤 陽子	音楽家
関根 五郎	(財)NHK 交響楽団団友
須磨 久善	葉山ハートセンター院長
Vittorio Volpi	UBS グループ在日代表(2001.4.24 海外赴任のため辞任)

**第15期評議員** (任期 2002.6.18～2004.6.17)

安倍 寧	音楽評論家
Richard Collasse	シャネル(株)社長
藤田 潔	(株)ビデオプロモーション会長
萩原 道彦	日本ハンガリー友好協会理事長
堀池 秀人	建築家
石井 歆	作曲家
神川 愛彦	(財)自治総合センター監事
木全 ミツ	女子教育奨励会理事長
北橋 徹	元文化庁文化部長 山野美容芸術短期大学名誉教授
清原 武彦	産経新聞社社長
小林 道夫	ピアニスト、チェンバロ奏者
森下 慶子	(株)ケーピー代表取締役(2003.11.16 逝去)
佐藤 陽子	音楽家
関根 五郎	(財)NHK 交響楽団団友
須磨 久善	葉山ハートセンター名誉院長
丹治 誠	イーバンク銀行(株)会長

楽器貸与委員歴代名簿(1994年-2004年) 任期2年

代表地区		氏名	就任年月日	何期目	現職(元)
米国	委員長	ロリン・マゼール Lorin Maazel	1994/8/15	5	指揮者
欧州	委員	ジャン・ピエール・デ・ラオノア Comte Jean-Pierre de Launoit	1994/8/15	5	ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール理事長
米国	委員	ヤーノシュ・シュタルケル Janos Starker	1994/8/15	5	インディアナ大学音楽学部教授
日本	委員	塩見 和子 Kazuko Shiomi	1994/8/15	5	当財団理事長
日本	委員	海老澤 敏 Bin Ebisawa	2002/8/15	1	(財)新国立劇場運営財団副理事長
アジア	委員	チョン・キョン・ファ Kyung-Wha Chung	2002/9/22	1	ヴァイオリニスト
(歴代委員名)					
米国	委員	ドロシー・ディレイ Dorothy DeLay	1994/8/15		ジュリアード音楽院教授(2002/3/23逝去まで)
日本	委員	吉田 貴壽 Takatoshi Yoshida	1994/8/15		昭和音楽大学学長(2001/10/2逝去まで)

事業運営委員歴代名簿(1994年度から2003年度) 任期1年

	氏名	就任年月日	就任当時の役職(現職)	備考
委員長	中曾根 松衛		(株)芸術現代社社長→会長	
委員	塩見 和子	1994/4/1	当財団専務理事→理事長	
委員	岩井 宏之	1997/4/1	音楽評論家	
委員	藤掛 廣幸	1997/4/1	音楽家	
委員	川本 統脩	1999/4/1	洗足学園・日本芸術学部講師(指揮科)	
委員	鹿海 信也	1999/4/1	(社)日本芸能実演家団体協議会参与	
委員	齋藤 一郎	2000/4/1	元東京芸術大学名誉教授	
(歴代委員名)				
委員長	吉田 貴壽	1994/4/1	昭和音楽大学学長	2001/10/2逝去まで
委員	下田 勝美	1994/4/1	当財団常務理事	1999年3月まで
委員	原田 元吉	1994/4/1	日本マーチング指導者協会理事長	1999年3月まで
委員	秋山 紀夫	1994/4/1	日本吹奏楽指導者協会会長	1997年3月まで
委員	関谷 晋	1994/4/1	(社)全日本合唱連盟副理事長	1997年3月まで
委員	米山 穂積	1994/4/1	全日本太鼓連盟副理事長	1997年3月まで
委員	川崎 優	1996/4/1	作曲家	1998年3月まで
委員	辻 正行	1998/4/1	日本吹奏楽指導者協会理事長	2000年3月まで

# 4 日本音楽財団 資料

---

---

---

## 日本船舶振興会（日本財団）補助・助成金実績一覧

（単位：円）

年 度	補 助 金			助 成 金			交付総額
	事業費総額	補助金額	事業内容	運営助成金	基 金	事業基金 (楽器購入・事業費)	
1974～1991 (S.49～H.3) 年度まで小計 国際交流事業開始前	863,014,162	676,681,000		579,000,000	60,000,000	0	1,315,681,000
1992年度	40,585,132	32,400,000	音楽祭、笹川賞他	68,100,000		900,000,000	1,000,500,000
1993年度	27,890,753	22,294,000	”	82,400,000		1,000,000,000	1,104,694,000
1994年度	28,272,624	22,618,000	演奏会、音楽エイド	102,400,000		488,600,000	613,618,000
1995年度	29,500,000	23,600,000	演奏会、音楽助成金	99,900,000		0	123,500,000
1996年度	26,366,207	21,092,000	演奏会、音楽助成金	99,900,000		897,000,000	1,017,992,000
1997年度	17,970,096	17,970,000	音楽助成金	118,000,000		1,193,000,000	1,328,970,000
1998年度	19,500,000	19,500,000	音楽助成金	128,900,000		1,390,700,000	1,539,100,000
1999年度	34,236,718	30,636,000	演奏会、音楽助成金	131,300,000		1,232,000,000	1,393,936,000
2000年度	55,013,200	49,040,000	”	117,600,000		1,082,000,000	1,248,640,000
2001年度	18,500,000	18,500,000	音楽助成金	160,700,000		909,100,000	1,088,300,000
2002年度	20,000,000	20,000,000	音楽助成金	111,600,000		1,018,800,000	1,150,400,000
2003年度	44,606,182	44,600,000	演奏会、音楽助成金	111,600,000		691,800,000	848,000,000
1992～2003 (H.4～H.15) 年度まで 小 計	362,440,912	322,250,000		1,332,400,000	0	10,803,000,000	12,457,650,000
合 計	1,225,455,074	998,931,000		1,911,400,000	60,000,000	10,803,000,000	13,773,331,000

### 事業費内訳（年度毎の決算額）

（単位：円）

事業名 年度	国際交流事業 (楽器購入費含む)	オーケストラ等の 演奏会事業	音楽助成金	一般事業	事業費計
1993年度	1,615,424,510	-	-	1,735,100	1,617,159,610
1994年度	516,263,171	20,000,000	8,272,624	2,394,577	546,930,372
1995年度	85,439,636	20,000,000	9,500,000	1,683,615	116,623,251
1996年度	926,438,380	6,377,438	19,988,769	2,401,774	955,206,361
1997年度	1,153,948,443	27,000,000	17,970,096	898,057	1,199,816,596
1998年度	1,130,135,801	17,005,883	19,500,000	3,333,493	1,169,975,177
1999年度	1,313,572,898	17,936,718	16,300,000	540,860	1,348,350,476
2000年度	527,621,290	38,372,553	16,640,647	920,920	583,555,410
2001年度	609,956,588	0	18,500,000	0	628,456,588
2002年度	1,142,137,875	0	20,000,000	0	1,162,137,875
2003年度	638,618,059	24,606,182	20,000,000	0	683,224,241
計	9,659,556,651	171,298,774	166,672,136	13,908,396	10,011,435,957

- ・1992年度日本財団助成金、9億円を元に音楽国際交流事業(弦楽器購入・楽器貸与事業)を開始した。
- ・1994年度以外は音楽助成金運営経費(会議及び確認視察出張等)は管理費及び一般事業にて負担した。  
(1995年度以降の音楽助成金事業の金額は助成金交付額と一致する)
- ・諸団体への協力事業は一般事業として実施していたが、2001年度からは管理費の中で実施している。

## 財団保有楽器の概要

日本音楽財団は 2004 年 3 月末現在、ストラディヴァリウス・ヴァイオリン 13 挺、ストラディヴァリウス・チェロ 3 挺、ストラディヴァリウス・ヴィオラ 1 挺、ガールネリウス・デル・ジェス・ヴァイオリン 2 挺の合計 19 挺の弦楽器を所有している。



1680 Violin



1727 Violin



1731 Viola



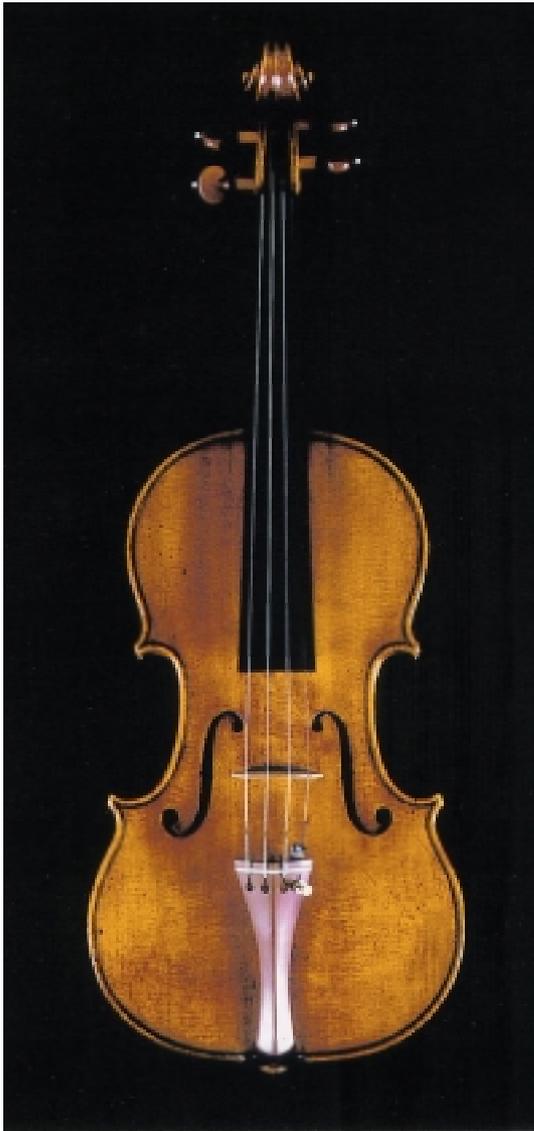
1736 Cello



## Stradivarius "Paganini Quartet"

世界に存在が知られているストラディヴァリによるクワルテットは 6 セットあると言われ、この国際的に著名なクワルテットはその 1 つである。19 世紀におけるイタリアの卓越したヴァイオリンの巨匠ニコロ・パガニーニ (1782-1840) が、クワルテット演奏に相応しい 4 挺を収集し演奏していたことからこの名前が付けられた。パガニーニは、特にヴィオラの音質に感銘を受けたためフランスの作曲家エクトル・ベルリオーズ (1803-1869) にヴィオラのための交響曲を委託し、その結果『イタリアのハロルド』が作曲された。当財団は 1994 年にアメリカ・ワシントン D.C. のコーコラン美術館からクワルテットを購入し、4 挺を常にセットとして使用し続けてもらうために、現在「東京クワルテット」に貸与している。

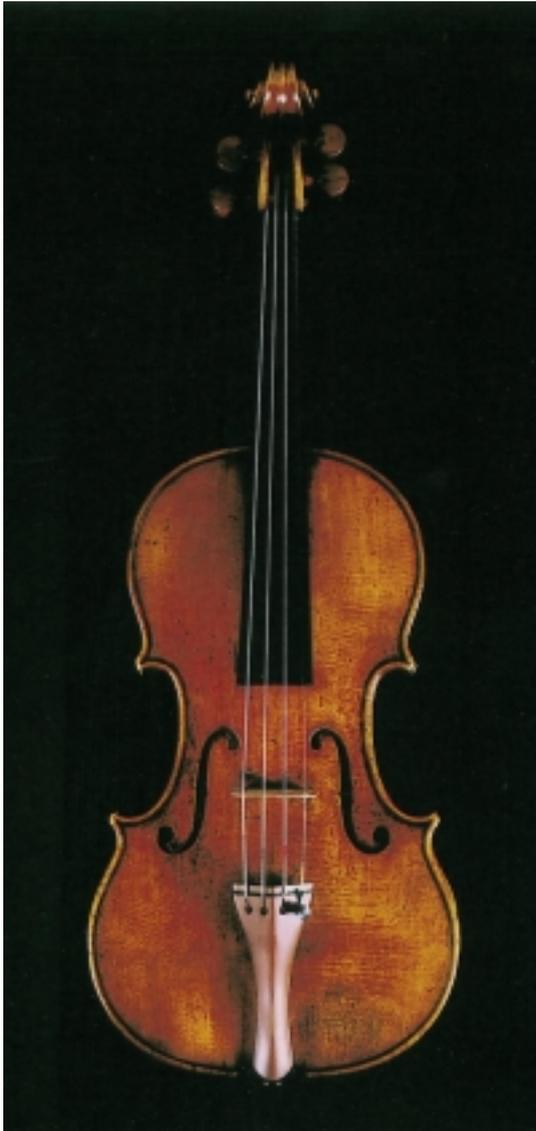
This internationally renowned quartet is one of Stradivari's six sets of quartet known to exist today. It was once owned and played by the Italian virtuoso violinist and composer, Niccolò Paganini (1782-1840), hence the name "Paganini Quartet". It is a known fact that Paganini was especially impressed with the sound quality of the viola that he commissioned a French composer Hector Berlioz (1803-1869) to write a piece for viola and orchestra. As a result, the symphony *Harold in Italy* was composed for this viola. Nippon Music Foundation acquired this set of quartet from the Corcoran Gallery of Arts in Washington D.C. in 1994. The Foundation only loans these four instruments as a set of quartet and they are currently on loan to the Tokyo String Quartet.



### 1700 年製 Stradivarius Violin "Dragonetti"

このヴァイオリンはネックの部分が製作当時のオリジナルのままという、とても貴重な楽器である。著名なコントラバス奏者ドメニコ・ドラゴネッティ(1763-1846)によって所有されていたことから現在この名前と呼ばれている。ドラゴネッティは、コレクションとして、コントラバス、ヴァイオリン、チェロ、ハーブ、ギターなどを収集していた。最近では、世界的に名の知られているヴァイオリン奏者、フランク・ピーター・ツィンマーマン(1948-)によって世界各国で演奏されていた。

This violin is one of the very few instruments which still retain its original neck. Its name is taken from the owner, Domenico Dragonetti (1763-1846), who was an Italian virtuoso double bass player. Dragonetti formed a large collection of double basses, violins, cellos, harps and guitars. Most recently, this violin was played by the renowned violinist, Frank Peter Zimmermann (1948-) throughout the world.



### 1702 年製 Stradivarius Violin “Lord Newlands”

イギリスのニューランズ卿(1890-1929)によって生涯大切に所有されていたため現在このように呼ばれている。1964年から1982年にこの楽器を保管していたロンドンのヒル商会が、1973年にバースの古楽器名器展示会にて、当時のヒル商会を代表する楽器としてこのヴァイオリンを展示した。世界的に著名なヴァイオリン奏者アイザック・スターン(1920-2001)はこの楽器を演奏した際、自身が所有しているデル・ジェスと同じパワーを感じる、と語っていた。

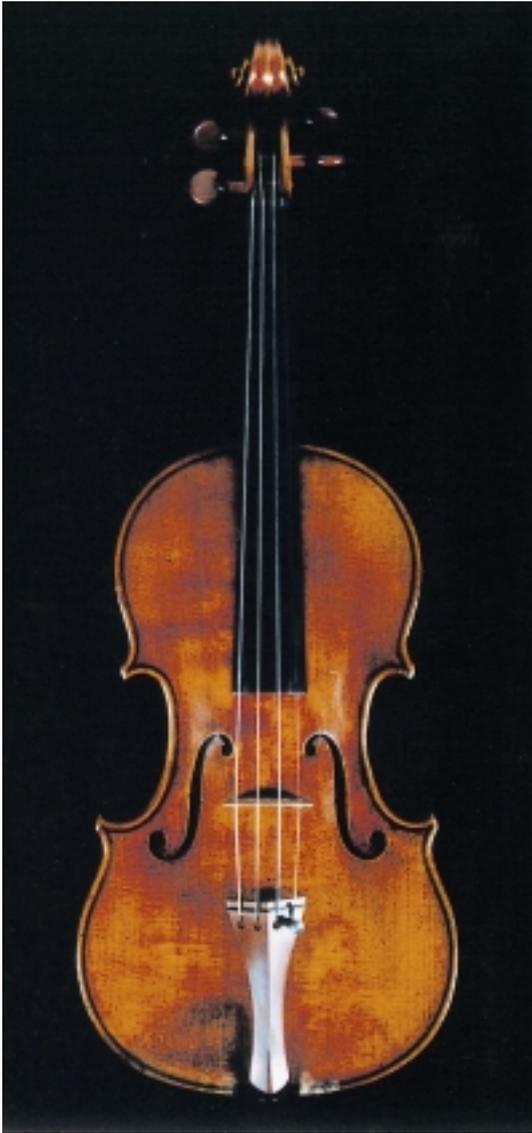
This violin was named after the owner, Lord Newlands (1890-1929), who treasured it throughout his life. While this violin was in the care of W.E.Hill & Sons of London during 1964 and 1982, it was exhibited at the CINOVA Exhibit of Bath in 1973 as the most outstanding violin in the Hill Collection. According to the world virtuoso violinist Isaac Stern (1920-2001) who once played this violin, “Lord Newlands” has the same power as his “del Gesu” violins.



### 1708 年製 Stradivarius Violin “Huggins”

この楽器を 1880 年頃に所有していたイギリスの著名な天文学者であるウィリアム・ハギンス卿(1824-1910)に因んで「ハギンス」と呼ばれている。この楽器は、1997 年以降ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門優勝者に貸与され、4 年ごとに次の優勝者に引き継がれている。1997 年の優勝者は、デンマークのニコライ・ズナイダーであり、現在は 2001 年の優勝者であるバイバ・スクリッドに貸与されている。

The name of this violin is taken from the ownership by William Huggins (1824-1910), a well-known English astronomer in the 1880s. Since 1997, this violin has been slated to the first-prize winner of The Queen Elisabeth International Music Competition in Belgium for four years until the next competition takes place. The winner of the 1997 Competition was Nikolaj Znaider of Denmark and the violin is now in the hands of Baiba Skride, the winner of the 2001 Competition.



### 1709 年製 Stradivarius Violin “Engleman”

このヴァイオリンは、海軍中佐ヤングが第 2 次世界大戦で戦死して手離されるまでの 150 年間、ヤング家で大切に保管されていたため、音色も楽器の保存状態も稀なほど良好である。当財団が所有する以前は、アメリカのアマチュア・ヴァイオリン奏者で収集家のエフレイム・エングルマンが所有していたため「エングルマン」と呼ばれている。

This violin was once owned by the family of a naval officer Commander Young until his death in World War II. The Young family had retained possession of the violin for almost 150 years, which is reflected in its superior condition. Nippon Music Foundation acquired this violin from an American amateur violinist and collector Ephraim Engleman, hence the name “Engleman”.



### 1714 年製 Stradivarius Violin “Dolphin”

この楽器は現在最も知名度の高い名器の 1 つといっても過言ではない。音色並びに保存状態も優れており、1715 年製「Alard」と 1716 年製「Messiah」に並ぶストラディヴァリウスの 3 大傑作の 1 つと言われている。この楽器は、過去に巨匠ヤシャ・ハイフェッツ（1901-1987）によって使用されていた。裏板の美しいニスの光沢と色がまるで優美なイルカのようなことから、1800 年代後半の所有者でありロンドンの楽器商のジョージ・ハートが「ドルフィン」という名を付けた。

This violin is perhaps one of the most famous violins known today. It is recognized as one of the top three violins made by Stradivari along with 1715 “Alard” and 1716 “Messiah”. This instrument was once owned and played by the world famous virtuoso Jascha Heifetz (1901-1987). The owner in the late 1800s, George Hart, who was a London instrument dealer named the violin “Dolphin” as its striking appearance and colour of its back reminded him of a dolphin.



### 1715 年製 Stradivarius Violin “Joachim”

この楽器は、有名なハンガリーのヴァイオリン奏者、ヨーゼフ・ヨアヒム（1831-1907）が所有していた 5 挺のストラディヴァリウス 1715 年製ヴァイオリンの 1 つである。この楽器はヨアヒムからヴァイオリン・レッスンを受けていた姪アディラ・アラニに遺贈されたため「ヨアヒム＝アラニ」としても知られている。日本音楽財団が購入するまで、アラニ家に代々受け継がれてきた。

This is one of the five 1715 violins once owned by the famed Hungarian violinist, Joseph Joachim (1831-1907). This violin was later bequeathed to Joachim's great-niece Adela d'Aranyi, who was also a violinist and a pupil of Joachim. Therefore, the violin is also known as "Joachim-Aranyi". This violin remained in the same family until the Nippon Music Foundation acquired the instrument.



### 1716 年製 Stradivarius Violin "Booth"

1855 年から 1856 年にかけてイギリスのブース夫人が息子のために購入し所有していたため、現在の名前が付けられた。1931 年にはアメリカの名高いヴァイオリン奏者、ミシャ・ミシャコフ (1896-1981) の手に渡った。1961 年には、このヴァイオリンはニューヨークのホットティンガー・コレクションの一部となり、そのコレクションカタログにも写真が掲載されている。

Between 1855 and 1856, this violin was owned by Madame Booth, an English lady who acquired this violin for her son, Otto Booth. In 1931, the violin went into the hands of Mischa Mischakoff (1896-1981), a celebrated American violinist. In 1961, this violin became a part of the Hottinger Collection in New York and is illustrated in its collection catalogue.



### 1717 年製 Stradivarius Violin "Sasserno"

1845年からフランスのサセルノ氏が所有していたことから「サセルノ」と呼ばれている。1894年にはヴァイオリン奏者のオト・ペイニガーによって所有され、後にイギリスで有名な醸造所を所有していたピカリング・フィップスが購入した。1906年にはイギリスの産業資本家ヘンリー・サマーズの手に渡り、それ以後 90 年以上同家で大切に保管されていたため、製作時のままの素材が多く残っており保存状態が非常に優れている。

The name of this violin is taken from a French owner in 1845, Comte de Sasserno. In 1894, it was acquired by a violinist Otto Peiniger, who in turn sold it to Pickering Phipps, owner of well-known brewery in England. In 1906, this violin was passed into the hands of an English industrialist John Summers and was well-preserved in his family for 93 years.



### 1722 年製 Stradivarius Violin “Jupiter”

このヴァイオリンは、1800 年頃にイギリスの偉大な収集家で当時の所有者のジェームス・ゴディングが名付けたと言われている。また、大切に使用されてきたため保存状態が素晴らしく、オリジナル・ニスも十分に残っている。日本が世界に誇るヴァイオリン奏者、五嶋みどり(1971-)も演奏したことがある名器である。

This violin is a well-preserved example of Stradivari’s work. It is believed that a great English collector James Goding owned and named the violin “Jupiter” in the early 1800s. It has been in caring hands who appreciated its quality, and was for a period of time performed by the world acclaimed violinist Midori Goto (1971- ).



### 1725 年製 Stradivarius Violin "Wilhelmj"

1866 年以降、約 30 年間この楽器を所有していた著名なドイツのヴァイオリン奏者、オウガスト・ウィルヘルミ(1845-1908)に因んで「ウィルヘルミ」という名が付けられた。ウィルヘルミの所有していた数多くのヴァイオリンのうち最も愛用されていた楽器だったが、「演奏者として華のあるうちに引退したい」と言い、アメリカの弟子に手渡されたという。

The name of this violin is derived from a German violinist August Wilhelmj (1845-1908), who came to possess this instrument in 1866. This violin was Wilhelmj's favorite among many precious violins he owned. After 30 years of playing this instrument, Wilhelmj passed this violin on to his pupil in America as he made the decision to "quit when at my best".



### 1736 年製 Stradivarius Violin "Muntz"

内側に貼られたラベルにストラディヴァリ本人の手書きで「92 歳の作品」と書かれている珍しい楽器である。透明な黄褐色のニス  
が楽器のほぼ全体にきれいに残っており、保存状態も音色も格段に優れている。1874 年以降、イギリスの収集家ムンツ氏が所有  
していたため、「ムンツ」と呼ばれている。1737 年に死去したストラディヴァリが、亡くなる直前に製作した楽器の 1 つとして知られ  
ている名器である。

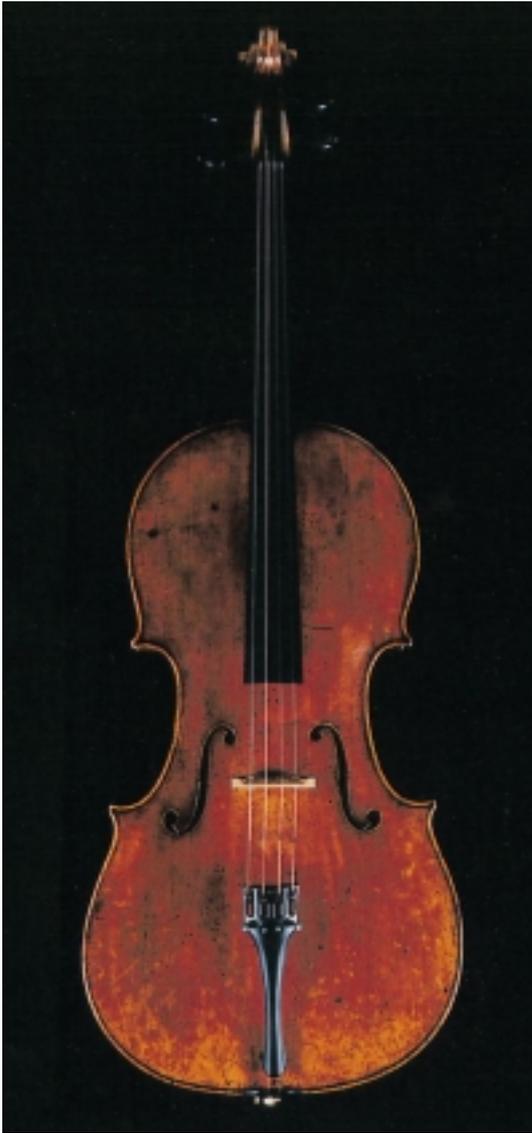
The label attached to this instrument bears an inscription, "92 years old", handwritten by Stradivari himself. It has a  
first class reputation for its excellent condition and tonal quality. This violin takes its name from a famous collector  
and amateur violinist, H.M.Muntz of Birmingham, England, who owned the violin in the late 1800s. This is one of  
the very last instruments made by Stradivari, who passed away in 1737.



### 1696 年製 Stradivarius Cello “Lord Aylesford”

アマチュア奏者として有名であったイギリスのアイレスフォード卿が 1780 年代初期にイタリアの名高いヴァイオリン奏者フェリーチェ・デ・ジャルディーニ(1716-1796)から購入し、その後アイレスフォード家に約 100 年間所有されていたことからこの名前が付けられた。1946 年にはアメリカ在住の世界的に著名なチェロ奏者グレゴール・ピアティゴルスキー(1903-1976)の手に渡り、続いて 1950 年から 1965 年には世界が認めるチェロの巨匠ヤーノシュ・シュタルケル(1924- )によって演奏会や 35 枚のレコーディングのために使用された。

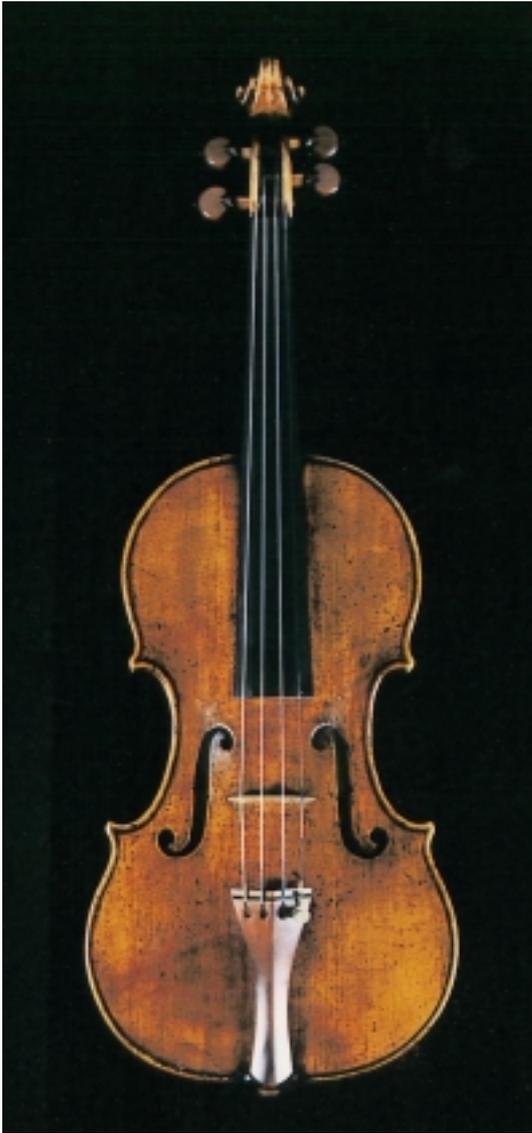
This cello was once owned by a well-known amateur player, Lord Aylesford of England, hence the name “Lord Aylesford”. Lord Aylesford acquired this cello in early 1780s from the famous Italian violinist Felice de Giardini (1716-1796) and it was retained in the Aylesford family for almost 100 years. In 1946 this cello was passed into the hands of the world renowned cellist Gregor Piatigorsky (1903-1976) in Philadelphia. During the years between 1950 and 1965, internationally acclaimed cellist, Janos Starker (1924- ), played this cello in numerous concerts and made 35 recordings.



### 1730 年製 Stradivarius Cello “Feuermann”

通常のチェロと比べ、楽器本体の部分の細長い形が特徴である。世界的に著名なオーストリアのチェロの巨匠、エマニュエル・フョイアマン(1902-1942)が1930年から、演奏活動やレコーディングに使用したことから、「フョイアマン」と呼ばれている。1956年には、ブラジル出身のチェロ奏者、アルド・パリソットの手に渡った。

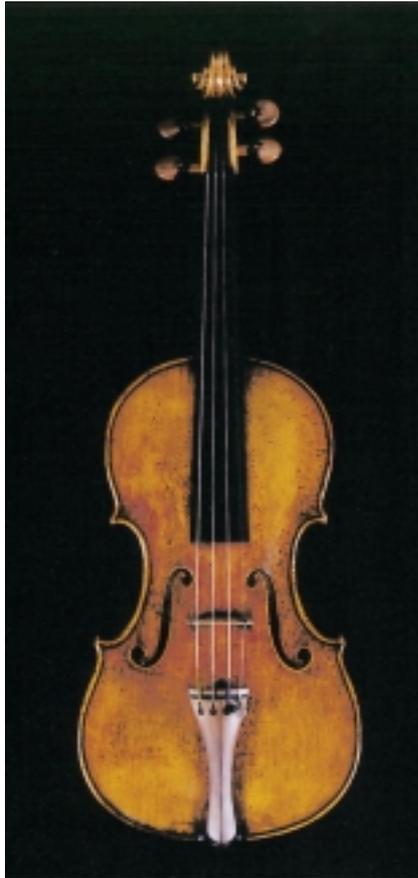
This cello is known for its relatively long and narrow shape of body. From 1934, it was owned by an Austrian cellist, Emmanuel Feuermann (1902-1942), who was one of the greatest cellists in the world. Feuermann performed throughout the world and recorded with this cello, hence the name “Feuermann”. In 1956, it was passed into the hands of distinguished cellist in Brazil, Aldo Parisot.



### 1736年製 Guarnieri del Gesu Violin “Muntz”

前記のストラディヴァリウス 1736年製ヴァイオリンの所有者であるムンツ氏がこの楽器を一時期所有していたことから、これも「ムンツ」と呼ばれている。当財団は同じ1736年にストラディヴァリとグァルネリによって製作された2挺の「ムンツ」を所有しており、その2挺を弾き比べるために2000年7月にデュオ・リサイタルを行った。当時の楽器貸与者であったロシアのパベル・バーマンがグァルネリの「ムンツ」、日本の加藤知子がストラディヴァリの「ムンツ」の音色を披露した。

This violin is also known as " Muntz " from its ownership by the same Muntz family as the above Stradivarius violin. Since the Nippon Music Foundation owns these two “Muntz” violins both made in 1736, the Foundation held a duo recital in July 2000 to compare these two violins. Stradivarius “Muntz” was performed by Pavel Berman of Russia, while Guarnieri del Gesu “Muntz” was performed by Tomoko Kato of Japan.



イザイの国葬



#### 1740年製 Guarneri del Gesù Violin “Ysaye”

この楽器はベルギーの国家的ヴァイオリン奏者ウジェーヌ・イザイ (1858-1931) が所有していたことから「イザイ」という名が付いた。イザイの提案でベルギーのエリザベート王妃が 1937 年に実現したのがエリザベート王妃国際音楽コンクールである。この楽器の中には小さなラベルが貼られ、赤いインクで「このデル・ジェスは私の生涯を通じて忠実なパートナーだった」とフランス語で書かれている。イザイ国葬の際には棺の前をクッションに載せられ行進した名器である。その後、1965年に

世界的に著名な巨匠アイザック・スターン(1920-2001)の所有となり生涯愛用されていた。現在はスターン氏の後継者として知られ、現代を代表するヴァイオリン奏者ピンカス・ズッカーマン(1948-)に貸与されている。

This violin bears the name “Ysaye” from the Belgian violinist Eugene Ysaye (1858-1931), who inspired Queen Elisabeth of Belgium to establish The Queen Elisabeth Competition (originally called “Eugene Ysaye International Competition”) in 1937. Inside the violin is an inscription written in French with red ink, “This Del Gesu was the faithful companion of my career. Ysaye 1928”. It took part in the procession of Ysaye’s State funeral being carried on a pillow in front of the virtuoso’s coffin. From 1965, the violin was owned by the world virtuoso violinist Isaac Stern (1920-2001), from whom the Foundation acquired in 1998. At present, this violin is on loan to Pinchas Zukerman (1948- ), who is known to be the successor to the late Isaac Stern and one of the foremost violinists of the 21<sup>st</sup> century.

楽器貸与状況一覧

楽器購入順

2004/3/31現在

購入月日	楽器名	貸与演奏家	貸与期間
1994/2/28	Antonio Stradivari "Paganini Quartet"	Tokyo String Quartet:	1995/9/27-2004/8/31(長期貸与)
	①Violin 1680	池田菊衛	1995/9/27-2004/8/31 2000/6よりStrad1727に変更,2002/9Strad1680に戻る
	②Violin 1727	Mr. Matin Beaver	2002/6月-2004/8/31 2002/6月よりStrad1680、2002/9月よりStrad1727
	③Viola 1731	磯村和英	1995/9/27-2004/8/31
	④Cello 1736	Clive Greensmith	1999/6-2004/8/31
		原田禎夫 (Cello1736)	1995/9/27-1999/6(東京クワルテットメンバーとして貸与)
		Andrew Daws (Violin 1727)	1995/9/27-1996/9/26(東京クワルテットメンバーとして貸与)
		Mikhail Kopelman (Violin 1727)	1996/9/27-2000/8/31(東京クワルテットメンバーとして貸与)
		Mikhail Kopelman (Violin 1680)	2000/9/1-2002/5(東京クワルテットメンバーとして貸与)
		Sarah Chang (Violin 1727)	1995/2/6-1995/3/30(試奏)
	Shlomo Mintz (Viola 1731)	1997/8/28-1997/9/7 (短期貸与)	
1995/3/28	⑤Antonio Stradivari 1708 Violin "Huggins"	Lorin Maazel	1995/5/8-1995/6/3 (試奏)
		Hilary Hahn	1995/6月-7月(試奏)
			1996/3月-1996/5/2(試奏)
		藤原浜雄	1996/9/13-1996/10/22(財団演奏会のため)
			1996/11/7-1997/4/20(短期貸与、CD録音)
		Nikolaj Znaider	1997/6/10-1999/8/20 (長期貸与、エリザベートコンクール優勝者)
		梅津美葉	1999/9/9 -2000/1/11(短期貸与)
		植村菜穂	2000/3/10 -2000/4/10(短期貸与、CD録音)
		荒井英治	2000/5/1-5/12(CD録音、短期貸与)
		吉田恭子	2000/12/15-2001/4/10(短期貸与、CD録音)
Baiba Skride	2001/5/28-2005/5/ (長期貸与、エリザベートコンクール優勝者)		
1995/3/30	⑥Guarneri del Gesu 1736 Violin "Muntz"	Anne Akiko Meyers	1995/4/26-1997/7/31(長期貸与)
		Manuel Uribe	1997/12/15-1998/1/12(試奏)
		Pavel Berman	1998/3/6- 2000/7/14(長期貸与)
		五明カレン	2000/8/17- 2002/2/4(長期貸与)
		川井郁子	2002/2/22- 2002/8/26 (短期貸与、演奏会)
		小野明子	2003/5/7-6/20 (短期貸与、日本でのオーケストラデビューのため)
		寺沢希美	2003/7/15-10/24(短期貸与、演奏会)

楽器貸与状況一覧

		海野義雄	2003/10/24-11/18(短期貸与、演奏会)
		小野明子	2003/11/18-12/2 (短期貸与、FM公開録音のため)
		千葉純子	2003/12/2-2004/2/28(短期貸与、演奏会)
		劉 薇(リュウ・ウェイ)	2004/3/2-2004/8/31(短期貸与、演奏会)
1996/5/27	⑦Antonio Stradivari 1709 Violin "Engleman"	渡辺玲子	1996/8/28-2001/10/31(長期貸与)
		Lisa Batiashvili	2001/11/20- 2004/8/31(長期貸与)
1996/12/4	⑧Antonio Stradivari 1730 Cello "Feuermann"	Steven Isserlis	1998/1/16-2004/8/31(長期貸与)
1997/7/21	⑨Antonio Stradivari 1736 Violin "Muntz"	渡辺玲子	1997/11/20-1997/11/25(試奏)
		樫本大進	1997/12/25-1998/3/2(試奏)
		Issac Stern	1998/5/16 -1998/5/20(試奏)
		徳永二男	1998/8/27-1998/9/8(財団演奏会のため)
		小林 響	1998/9/18-1998/12/14(短期貸与)
		庄司紗矢香	1998/12/28-1999/3/7(短期貸与)
		竹澤 健	1999/4/3-1999/11/29(短期貸与)
		庄司紗矢香	2000/1/25-4/3(短期貸与)
		加藤知子	2000/5/24-2000/7/14(財団演奏会のため)
		島田真千子	2000/11/16-2001/05/17 (短期貸与、エリサ'ヘート・コンクール出場)
		神尾真由子	2001/5/28-6/27(短期貸与)
		森下幸治	2001/7/11-7/28(短期貸与・CD録音のため)
		小野明子	2001/8/29-2002/5/29 (短期貸与、チャイコフスキー・コンクール出場のため) 2002/8/5-2002/10/5 (短期貸与、ヴァイオリニスト・コンクール出場のため、優勝)
		Judith Ingolfsson	2002/10/8-2004/8/31(長期貸与)
1998/3/30	⑩Guarneri del Gesu 1740 Violin "Ysaye"	Isaac Stern	1998/5/20-2001/9/22逝去まで10/9受領
		徳永二男	2002/5/18 (宮崎国際音楽祭・スターン氏追悼演奏)
		五嶋みどり	2002/6/27-7/8(楽器修理中の短期貸与)
		Pinchas Zukerman	2003/5/20-2004/8/31(長期貸与)
1998/5/8	⑪Antonio Stradivari 1722 Violin "Jupiter"	樫本大進	1998/6/26-2004/8/31(長期貸与)
1999/1/20	⑫Antonio Stradivari 1716 Violin "Booth"	Viviane Hagner	1999/3/9-1999/4/2(短期貸与)
		植村奈穂	1999/4/2-1999/9/30(短期貸与)
		Julia Fischer	2000/3/15-2004/8/31(長期貸与)
1999/5/21	⑬Antonio Stradivari 1717 Violin "Sasserno"	Viviane Hagner	1999/5/27-2004/8/31(長期貸与)

楽器貸与状況一覧

2000/2/10	⑭Antonio Stradivari 1714 Violin "Dolphin"	諏訪内晶子	2000/8/11-2004/8/31(長期貸与)
2000/9/20	⑮Antonio Stradivari 1715 Violin "Joachim"	樫本大進	2000/11/6-2001/2/28 (楽器調整中の代替として貸与)
		庄司紗矢香	2001/4/14-2004/8/31(長期貸与)
2001/6/12	⑯Antonio Stradivari 1725 Violin "Wilhemj"	Lorin Maazel	2001/9/21-9/30(日本公演中の演奏のため)
		佐藤俊介	2001/10/2-2004/8/31(長期貸与)
2002/6/24	⑰Antonio Stradivari 1702 Violin "Lord Newlands"	安永徹	2003/1/7-(楽器修理中の貸与、約2年を予定)
2002/6/26	⑱Antonio Stradivari 1722 Violin "Dragonetti"	Lorin Maazel	2003/4/2-4/10(試奏)
		渡辺玲子	2003/4/28-10/1 (短期貸与、CD録音及び演奏会のため)
		海野義雄	2003/10/1-10/14 (短期貸与、CD録音及び演奏会のため)
		内田輝	2003/10/30-11/26(11/26財団演奏会のため)
		千葉純子	2003/3/10-2004/6/25(短期貸与、演奏会)
2003/6/27	⑲Antonio Stradivari 1696 Cello "Lord Aylesford"	石坂団十郎	2004/1/29-2005/1/28(長期貸与)

## 演奏曲目（国内）

開催月日	演奏会タイトル	開催場所
作曲者名	曲 目	演奏者（使用楽器） 伴奏者
1994.6.3	Paganini Quartet 披露演奏会	港区南麻布 米荘閣
ブラームス J. Brahms	弦楽四重奏曲第2番イ短調作品51 String Quartet, Op.51 No.2 in A minor	第一ヴァイオリン Lorin Maazel (Paganini 1727) 以下フィルハーモニア主席演奏者 第二ヴァイオリン David Nolan (Paganini 1680) ヴィオラ Roger Benedict (Paganini 1731) チェロ Matthias Feile (Paganini 1736)
1996.12.11	ふたつのストラディヴァリウスのタベ	王子ホール
モーツァルト W.A.Mozart	ソナタ変ロ長調作品454 Sonata in B Flat Major, Op.454	藤原浜雄 (Strad. Violin 1708 "Huggins") 伴奏 三上桂子 (piano)
シューマン R. Schumann	ヴァイオリン・ソナタ第1番イ短調作品105 Violin Sonata No.1 A minor, Op.105	渡辺玲子 (Strad. Violin 1709 "Engleman") 伴奏 鷺宮美幸 (piano)
ラヴェル M. Ravel	チガース Tzigane	藤原浜雄 (Strad. Violin 1708 "Huggins") 伴奏 三上桂子 (piano)
ヴィエニャフスキー H. Wieniawski	創作主題による華麗なる変奏曲OP.15 Variations Brillante sur Theme Orinigale Op.15	渡辺玲子 (Strad. Violin 1709 "Engleman") 伴奏 鷺宮美幸 (piano)
サラサーテ P. Sarasate	ナヴァラ(スペイン舞曲) Navarra Duet for 2 Violins and Piano(Danzas Espanolas)	藤原浜雄 (Strad. Violin 1708 "Huggins") 渡辺玲子 (Strad. Violin 1709 "Engleman") 伴奏 三上桂子 (piano)
1997.10.19	東京クワルテットとストラディヴァリウスの調べ	草月ホール
モーツァルト W.A. Mozart	弦楽四重奏曲 第21番 ニ長調 「プロシア王第1番」 作品575 String Quartet No.21 in D Major, k.575 (No.1 of the Three Quartets dedicated to the King of Prussia)	東京クワルテット (Strad. "Paganini Quartet") Mikhail Kopelman, 池田菊衛, 磯村和英, 原田禎夫
スメタナ B. Smetana	弦楽四重奏曲 第1番 ホ短調 「わが生涯より」 String Quartet No.1 in E minor (Aus meinem Leben)	
1998.9.8	オール・ストラディヴァリウス・コンサート (財団設立25周年記念)	東京オペラシティコンサートホール
ブロッホ Ernest Bloch	「パール・シエム」より第二曲 ニーグン "Baal Sh'em Suite" No.2 Nigun	Nikolaj Znaider (Strad. Violin 1708 "Huggins") 伴奏 林絵里 (piano)
ヴィエニャフスキー H. Wieniawski	華麗なるポロネーズ 第1番 二長調 作品 4 Polonaise No.1 D-Major, op.4	Nikolaj Znaider (Strad. Violin 1708 "Huggins") 伴奏 林絵里 (piano)
プロコフィエフ Sergei Prokofiev	2つのヴァイオリンのためのソナタ ハ長調 作品 56 Sonata, C-Major 2 violins, op.56	徳永二男 (Strad. Violin 1736 "Muntz") 榎本大進 (Strad. Violin 1722 "Jupiter") 伴奏 林絵里 (piano)
パッツィーニ Antonio Bazzini	妖精の踊り 作品25 "La Rondo de Lutins"op.25	榎本大進 (Strad Violin 1722 "Jupiter") 伴奏 林絵里 (piano)
サラサーテ P. de Sarasate	ツィゴイネルワイゼン 作品20 "Zigeunerweisen" Op.20	徳永二男 (Strad. Violin 1736 "Muntz") 伴奏 林絵里 (piano)
サン＝サーンス Camille Saint-Saens	序奏とロンド・カプリッチョーソ 作品28 Introduction et Rondo Capriccioso, op.28	渡辺玲子 (Strad. Violin 1709 "Engleman") 伴奏 林絵里 (piano)
マスネー Jules Massenet	「タイス」の瞑想曲 "Meditation"(Thais)	渡辺玲子 (Strad. Violin 1709 "Engleman") 伴奏 林絵里 (piano)

演奏曲目（国内）

J.ハイドン Joseph Haydn	エルデーディ四重奏曲 ト長調 作品76 第1番 Hob・75 "Erdody Quartets"G major op. 76 HobIII 75	東京クワルテット(Strad. "Paganini Quartet") Mikhail Kopelman, 池田菊衛, 磯村和英, 原田禎夫
カザルス Pablo Casals	「鳥の歌」(編曲: 南 安雄) Poema del Pessebre (Arranged by: Yasuo Minami)	出演者全員
<b>1998.10.26</b>	<b>ストラディヴァリウス・チェロ・コンサート (財団設立25周年記念)</b>	<b>浜離宮朝日ホール</b>
J.S.バッハ J.S. Bach	無伴奏チェロ組曲 第3番 Solo Cello Suites No.3	Steven Isserlis (Strad. Cello 1730 "Feuermann") 伴奏 Ian Brown (piano)
シューマン R. Schumann	アダージョとアレグロ 変イ長調 作品70 Adagio and Allegro Op.70	
プーランク F. Poulenc	チェロ・ソナタ Cello Sonata	
セイバー M. Seiber	ジャズダンス組曲 Jazz Dance Suite	
<b>1999.11.4</b>	<b>東京クワルテット・コンサート(結成30周年記念)</b>	<b>カザルスホール</b>
アントン・ウェーベルン Anton Webern	緩徐楽章 (ラングザマー・ザッツ) Langsamer Satz	東京クワルテット(Strad. "Paganini Quartet") Mikhail Kopelman, 池田菊衛, 磯村和英, Clive Greensmith
ヒューゴー・ヴォルフ Hugo Wolf	イタリアのセレナーデ Italienische Serenade	
フランツ・シューベルト Franz Schubert	弦楽四重奏曲第14番ニ短調 死と乙女 String Quartet No.14 in D minor – Death and the Maiden	
<b>2000.1.25</b>	<b>Viviane Hagner ヴァイオリン・リサイタル</b>	<b>浜離宮朝日ホール</b>
ストラヴィンスキー Igor Stravinsky	イタリア組曲 Suite Italienne	Viviane Hagner (Strad. Violin 1717 "Sasserno") 伴奏 林絵里 (piano)
サン＝サーンス Camille Saint-Saens	ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ニ短調 作品75 Violin Sonata in D minor Op.75	
ワックスマン Franz Waxman	カルメン幻想曲 Carmen Fantasie	
<b>2000.2.23</b>	<b>ストラディヴァリウス・チェロ・コンサート</b>	<b>カザルスホール</b>
J.S.バッハ J.S. Bach	ヴィオラ・ダ・ガンバとチェンバロのためのソナタ第1番ト長調 BWV 1027 Sonatas for Viola da Gamba and Harpsichord No.1	Steven Isserlis (Strad. Cello 1730 "Feuermann") 伴奏 小林道夫 (piano & harpsichord)
W.バルギーユ Woldemar Bargiel	アダージョ op.38 Adagio op.38	
J.S.バッハ J.S. Bach	ヴィオラ・ダ・ガンバとチェンバロのためのソナタ 第2番 ニ長調 BWV 1028 Sonatas for Viola da Gamba and Harpsichord No.2	
R.シュトラウス Richard Strauss	チェロのためのロマンス へ長調 Cello "Romance" in F major	
C.ヴァイン Carl Vine	インナー・ワールド (CDと共に) Inner World (accompanied by CD)	

## 演奏曲目（国内）

2000.7.14	Pavel Berman & 加藤友子ヴァイオリン・リサイタル	浜離宮朝日ホール
エルガー Elgar	愛の挨拶 Salut d'amour	加藤知子 (Strad. Violin 1736 "Muntz") 伴奏 林絵里 (piano)
クライスラー Kreisler	愛の悲しみ Liebesleid	加藤知子 (Strad. Violin 1736 "Muntz") 伴奏 林絵里 (piano)
クライスラー Kreisler	愛の喜び Liebesfreud	加藤知子 (Strad. Violin 1736 "Muntz") 伴奏 林絵里 (piano)
ラヴェル Ravel	チガース Tzigane	Pavel Berman (del Gesu Violin 1736 "Muntz") 伴奏 林絵里 (piano)
ブロッホ Bloch	ニーグン Nigun	Pavel Berman (del Gesu Violin 1736 "Muntz") 伴奏 林絵里 (piano)
マスネ Massenet	タイスの瞑想曲 "Meditation" - Thais	加藤知子 (Strad. Violin 1736 "Muntz") 伴奏 林絵里 (piano)
サラサーテ Sarasate	ツィゴイネルワイゼン Zigeunerweisen	加藤知子 (Strad. Violin 1736 "Muntz") 伴奏 林絵里 (piano)
サラサーテ Sarasate	カルメン幻想曲 Carmen Fantasy	Pavel Berman (del Gesu Violin 1736 "Muntz") 伴奏 林絵里 (piano)
サラサーテ Sarasate	ナヴァラ-スペイン舞曲 Navarra Duet for 2 Violins with Piano	Pavel Berman (del Gesu "Muntz") 1st Vn 加藤知子 (Strad "Muntz") 2nd Vn 伴奏 林絵里 (piano)
2000.10.3	東京クワルテット	京都コンサートホール
ショスタコヴィッチ Shostakovich	弦楽四重奏曲第1番ハ長調作品49 String Quartet No.1 in C major, op.49	東京クワルテット (Strad. "Paganini Quartet") Mikhail Kopelman, 池田菊衛, 磯村和英, Clive Greensmith
ヒューゴー・ヴォルフ Wolf	イタリアのセレナーデ Italienische Serenade	
メンデルスゾーン Mendelssohn	弦楽四重奏曲 作品81 1、2番 String Quartets Op.81 1, 2	
ベートーヴェン Beethoven	弦楽四重奏曲第12番変ホ長調作品127 String Quartet No.12 in E Flat major, op.127	
2000.10.25	Lorin Maazel conducts the Symphonieorchester des Bayerischen Rundfunks	東京オペラシティコンサートホール
グリンカ Glinka	歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲 Overture to "rouslan and Ludmila"	
チャイコフスキー Tchaikovsky	ロココ風の主題による変奏曲 Variations on a Rococo Theme Op.33	Han-na Chang, Cello
ラヴェル Ravel	ツィガース Tzigane	樫本大進 (Strad. Violin 1722 "Jupiter")
モーツァルト Mozart	交響曲第39番 変ホ長調作品543 Symphony No.39 in E-flat Major, K.543	

演奏曲目（国内）

2001.10.31	秋のストラド	浜離宮朝日ホール
バッハ Bach	無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番「シャコンヌ」 "Chaconne" from Partita No.2, BWV 1004	渡辺玲子 (Strad. Violin 1709 "Engleman") 伴奏 林絵里 (piano)
グルック (クライスラー編) Gluck(Kreisler arr.)	妖精の踊り “メロデー” Melodie from 'Orfeo de Euridice'	渡辺玲子 (Strad. Violin 1709 "Engleman") 伴奏 林絵里 (piano)
ショーンソン Chausson	詩曲 作品25 Poem Op.25	佐藤俊介 (Strad. Violin 1725 "Wilhelmj") 伴奏 林絵里 (piano)
サン＝サーンス Saint-Saens	序奏とロンド・カプリチオーソ 作品28 Introduction and Rondo Capriccioso Op.28	佐藤俊介 (Strad. Violin 1725 "Wilhelmj") 伴奏 林絵里 (piano)
ショスタコヴィッチ Shostakovich	チェロ・ソナタ 二短調作品40 Cello Sonata in D minor Op.40	Steven Isserlis (Strad. Cello 1730 "Feuermann") 伴奏 林絵里 (piano)
2002.2.1	新春ヴァイオリンコンサート	浜離宮朝日ホール
プロコフィエフ Prokofiev	ヴァイオリン・ソナタ第1番へ短調 作品80 Violin Sonata No.1 in F minor, Op.80	五明カレン (del Gesu Violin 1736 "Muntz") 伴奏 Greg Anderson (piano)
ベートーヴェン Beethoven	ヴァイオリン・ソナタ第9番イ長調 作品47「クロイツェル」 Violin Sonata No. 9 A major Op.47 "Kreutzer"	諏訪内晶子 (Strad. Violin 1714 "Dolphin") 伴奏 Boris Berezovsky (piano)
2002.12.26	庄司紗矢香イアー・エンド・リサイタル	浜離宮朝日ホール
モーツァルト Mozart	ヴァイオリン・ソナタ第28番 ホ短調 K.304 Sonata IV in E minor, 304	庄司紗矢香 (Strad. Violin 1715 "Joachim") 伴奏 Itamar Golan (piano)
ショスタコヴィッチ Shostakovich	プレリュードOp.34より10番、15番、16番、24番 Preludes Op.34 10, 15, 16, 24	
プロコフィエフ Prokofiev	ヴァイオリン・ソナタ第1番へ短調作品80 Violin Sonata No.1 in F minor, Op.80	
2003.3.6	スプリング・コンサート	浜離宮朝日ホール
ベートーヴェン Beethoven	ヴァイオリン・ソナタ第5番へ長調作品24「春」 Violin Sonata No.5 in F major, op.24 "Spring"	Baiba Skride (Strad. Violin 1708 "Huggins") 伴奏 Lauma Skride (piano)
武満 徹 Toru Takemitsu	妖精の距離 "Distance de Fée "	
ラヴェル Ravel	ヴァイオリンとピアノのためのソナタ ト長調 I Sonata for Violin and Piano in G-major	
ガーシュウィン Gershwin	オペラ 「ポーギーとベス」より Excerpts from Opera "Porgy and Bess"	
2003.5.28	「アイザック・スターン」メモリアル・チャリティコンサート	第一生命ホール
フランツ・シューベルト Franz Schubert	ヴァイオリン・ソナタ(ソナティナ)第1番 ニ長調 Violin Sonata (Sonatina) No.1 in D major Op.137-1 D.384	Pinchas Zukerman (del Gesu Violin 1740 "Ysaye") 伴奏 Tatiana Goncharova (piano)
	ヴァイオリン・ソナタ(ソナティナ)第2番 イ短調 Violin Sonata (Sonatina) No.2 in A minor Op.137-2 D.385	
	ヴァイオリン・ソナタ(ソナティナ)第3番 ト短調 Violin Sonata (Sonatina) No.3 in G minor Op.137-3 D.408	

## 演奏曲目（国内）

2003.11.26	Age of Stradivarius	東京オペラシティコンサートホール
		指揮:堤俊作 管弦楽:ロイヤルチェンバーオーケストラ
ヴィヴァルディ Vivaldi	ヴァイオリン協奏曲集「和声と創意の試み」より「四季」 "The Four Seasons", op. 8	春:内田輝(Strad. Violin 1700 "Dragonetti") 夏:Judith Ingolfsson(Strad. Violin 1736 "Muntz") 秋:佐藤俊介(Strad. Violin 1725 "Wilhelmj") 冬:諏訪内晶子(Strad. Violin 1714 "Dolphin")
サラサーテ Pablo de Sarasate	カルメン幻想曲 "Carmen Fantasy", op.25	Judith Ingolfsson(Strad. Violin 1736"Muntz")
サンサーズ Saint-Saens	ハバネラ Havanaise, op.83	佐藤俊介(Strad. Violin 1725 "Wilhelmj")
エルガー Elgar	チェロ協奏曲より第1、第2楽章 Cello Concerto Op.85	Clive Greensmith (Strad. Cello 1730 "Paganini") 東京クワルテットメンバー
ブルッフ Bruch	ヴァイオリン協奏曲第1番 Violin Concerto No. 1, op.26	諏訪内晶子(Strad. Violin 1714 "Dolphin")
2003.11.27	Age of Stradivarius	東京オペラシティコンサートホール
		指揮:堤俊作 管弦楽:ロイヤルチェンバーオーケストラ
バッハ J.S. Bach	2つのヴァイオリンのための協奏曲 Concerto For 2 Violin, BWV.1043	1st Vn. Baiba Skride(Strad. Violin 1708 "Huggins") 2nd Vn. 樫本大進 (Strad. Violin 1722 "Jupiter")
ベルリオーズ Berlioz	イタリアのハロルドより第1楽章 Harold en Italie (1st movement)	磯村和英(Strad. Viola 1731 "Paganini") 東京クワルテットメンバー
バーンスタイン Bernstein	セレナーデより第5楽章 Serenade (5th movement)	Baiba Skride(Strad. Violin 1708 "Huggins")
ベートーヴェン Beethoven	ロマンス第2番 Romance No.2 op.50	樫本大進 (Strad. Violin 1722 "Jupiter")
ブラームス Brahms	ヴァイオリン協奏曲 Concerto For Violin and Orchestra Op.77	Viviane Hagner(Strad. Violin 1717 "Sasserno")
2003.11.28	Age of Stradivarius	東京芸術劇場
クライスラー Kreisler	ウィーン奇想曲 愛の悲しみ 美しきロマンス Caprice Viennois, Liebesleid, Schon Rosmarin	Judith Ingolfsson(Strad. Violin 1736 "Muntz") 伴奏 江口玲 (piano)
パガニーニ Paganini	ロッシーニのための「タンクレディ」のアリア「こんなに胸さわぎが」による序曲と変奏曲 Introduzione e variazioni su aria "di tanti palpiti" dal "Tancredi" di Rossini, op.13	Baiba Skride(Strad. Violin 1708 "Huggins") 伴奏 江口玲 (piano)
メシアン Messiaen	主題と変奏 Theme et variations	樫本大進 (Strad. Violin 1722 "Jupiter") 伴奏 江口玲 (piano)
ショパン (ミルスタイン編曲) Chopin	ノクターン第20番 Nocturne No.20 (arranged by Milstein)	Viviane Hagner(Strad. Violin 1717 "Sasserno") 伴奏 江口玲 (piano)
チャイコフスキー Tchaikovsky	ワルツ・スケルツォ Valse Scherzo, op.34	Viviane Hagner(Strad. Violin 1717 "Sasserno") 伴奏 江口玲 (piano)

演奏曲目（国内）

シマノフスキ Szymanowski	「神話-3つの詩」より”アレトウーサの泉” Zrodlo Aretuzy (Mity - 3 Poematy op.30)	佐藤俊介(Strad. Violin 1725 "Wilhelmj") 伴奏 江口玲 (piano)
ドビュッシー(ロックス編) Debussy	レントより遅く La Plus que Lente (arranged by Locke)	佐藤俊介(Strad. Violin 1725 "Wilhelmj") 伴奏 江口玲 (piano)
サン＝サーンス Saint-Saens	ワルツ・カプリース(イザイ編) Valse-Caprice, op.52 No.6 (arrange by Ysaye)	諏訪内晶子(Strad. Violin 1714 "Dolphin") 伴奏 江口玲 (piano)
フランツ・シューベルト Franz Schubert	弦楽四重奏曲第14番 死と乙女 "Der Tod und Madchen" D.810	東京クワルテット(Strad. "Paganini Quartet") Martin Beaver,池田菊衛,磯村和英,Clive Greensmith
<b>2004.1.27</b>	<b>Lisa Batiashvili 新春コンサート</b>	<b>浜離宮朝日ホール</b>
C. ドビュッシー Claude Debussy	ヴァイオリンとピアノのためソナタ ト短調 Violin Sonata in G minor	Lisa Batiashvili (Strad. Violin 1709 "Engleman") 伴奏 占部由美子 (piano)
C. フランク Cesar Franck	ヴァイオリンとピアノのためソナタ イ長調 Violin Sonata in A major	
B. スメタナ Bedrich Smetana	「わが故郷より」2つの二重奏 "aus der Heimat"(From the Native Country)	

## 演奏曲目（海外）

開催月日	演奏会タイトル	開催場所
作曲者名	曲目	演奏者（使用楽器） 伴奏者
1999.3.7	Stradivarius Cello Recital	The Duke's Hall, Royal Academy of Music, London, UK
バッハ J. S. Bach	無伴奏チェロ組曲 第1番 Solo Cello Suites No. 1	Steven Isserlis (Strad. Cello 1730 "Feuermann") 伴奏 Ian Brown (piano)
ベートーヴェン L. V. Beethoven	チェロ(ホルン)ソナタ 作品17 Cello (Horn) Sonata Op. 17	
シューベルト F. Schubert	アルペジオーネ・ソナタ D. 821 Arpeggione Sonata D. 821	
セイバー M. Seiber	ジャズダンス組曲 Jazz Dance Suite	
1999.4.16	The Tokyo String Quartet with Richard Stoltzman	Miller Theater, Columbia University, New York, USA
ハイドン Haydn	弦楽四重奏曲 第6番 作品64 String Quartet in E-flat Major, Op.64, No.6	東京クワルテット(Strad. "Paganini Quartet") Mikhail Kopelman, 池田菊衛, 磯村和英, 原田禎夫
シューマン R. Schumann	弦楽四重奏曲 第1番 作品41 String Quartet in A minor, Op.41, No.1	
ウェーバー Weber	クラリネット五重奏曲 変ロ長調 作品34 Quintet for Clarinet in B flat Major, Op.34	
2000.10.19	The Tokyo String Quartet	Metropole Hall, Four Seasons Olympic Hotel, Seattle, USA
ショスタコヴィッチ D. Schostakovich	弦楽四重奏曲 第1番 作品49 String Quartet No. 1 in C major, Op. 49	東京クワルテット(Strad. "Paganini Quartet") Mikhail Kopelman, 池田菊衛, 磯村和英, Clive Greensmith
ベートーヴェン L. V. Beethoven	弦楽四重奏曲 第12番 作品127 String Quartet No. 12 in E-flat major, Op. 127	
2001.4.18	Seven Stradivarius Palace Concert	The Royal Church, the Royal Palace, Stockholm, Sweden
バッハ J. S. Bach	無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番「シャコンヌ」 Partita No. 2 d-moll BWV1004, "Chaconne"	樫本大進 (Strad. Violin 1722 "Jupiter")
ショーン E. Chausson	詩曲 作品25 "Poeme", Op. 25	Viviane Hagner (Strad. Violin 1717 "Sasserno") 伴奏 Simon Crawford-Phillips (piano)
サラサーテ P. Sarasate	スペイン民謡組曲(サバデアード) "Zapateado" from "Spanishce Tanze", Op. 23-2	Viviane Hagner (Strad. Violin 1717 "Sasserno") 伴奏 Simon Crawford-Phillips (piano)
アウリー Tor Aulin	4つの水彩画 Fyra Aqvareller (Four Water-Colours)	Malin Broman (Strad. Violin 1709 "Ex-Crafoord") 伴奏 Simon Crawford-Phillips (piano)
ブラームス J. Brahms	弦楽四重奏曲 第3番 String Quartet No. 3 in B-flat major	東京クワルテット(Strad. "Paganini Quartet") Mikhail Kopelman, 池田菊衛, 磯村和英, Clive Greensmith
2001.4.19	Seven Stradivarius Benefit Concert	The Royal Academy of Music Concert Hall, Stockholm Sweden
ローゼンバーグ H. Rosenberg	ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第2番 作品85 Sonata for Violin and Piano No. 2, Op. 85	Malin Broman (Strad. Violin 1709 "Ex-Crafoord") 伴奏 Simon Crawford-Phillips (piano)
ラヴェル M. Ravel	ツィガース "Tzigane"	樫本大進 (Strad. Violin 1722 "Jupiter") 伴奏 Simon Crawford-Phillips (piano)

演奏曲目（海外）

イザイ E. Ysaye	無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 作品27 第4番 Sonata for Solo Violin Op. 27, No. 4	Viviane Hagner (Strad. Violin 1717 "Sasserno")
ショスタコヴィッチ D. Shostakovich	弦楽四重奏曲 第1番 作品49 String Quartet No. 1 in C major, Op. 49	東京クワルテット(Strad. "Paganini Quartet") Mikhail Kopelman, 池田菊衛, 磯村和英, Clive Greensmith
シューベルト F. Schubert	弦楽四重奏曲 第12番 ハ短調 D703 「四重奏断章」 Quartet No. 12 in C minor, D. 703, First movement "Quartett-Satz"	
<b>2001.5.23</b>	<b>A Stradivari Musical Extravaganza</b>	<b>Lancaster House, London, England</b>
バッハ J. S. Bach	無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番「シャコンヌ」 Partita No. 2 d-moll BWV1004, "Chaconne"	樫本大進 (Strad. Violin 1722 "Jupiter")
ショーソン E. Chausson	詩曲 作品25 "Poeme", Op. 25	Viviane Hagner (Strad. Violin 1717 "Sasserno") 伴奏 Ian Brown (piano)
ベートーヴェン L. V. Beethoven	ロマンス 第2番 作品50 Romance No. 2 in F major, Op. 50	Julia Fischer (Strad. Violin 1716 "Booth") 伴奏 Ian Brown (piano)
ワックスマン F. Waxman	カルメン幻想曲 Carmen Fantasy	渡辺玲子(Strad. Violin 1709 "Engleman") 伴奏 Ian Brown (piano)
レオナード H. Leonard	3つのヴァイオリンとピアノのためのスペイン・セレナーデ Spanish Serenade for 3 Violins and Piano	渡辺玲子、Viviane Hagner、Julia Fischer 伴奏 Ian Brown (piano)
フォーレ G. Faure	シチリアーナ 作品78 Sicilienne Op. 78	Steven Isserlis (Strad. Cello 1730 "Feuermann") 伴奏 Ian Brown (piano)
フォーレ G. Faure	悲歌 作品24 Elegie Op. 24	Steven Isserlis (Strad. Cello 1730 "Feuermann") 伴奏 Ian Brown (piano)
ショスタコヴィッチ D. Shostakovich	弦楽四重奏曲 第1番 作品49 String Quartet No. 1 in C major, Op. 49	東京クワルテット(Strad. "Paganini Quartet") Mikhail Kopelman, 池田菊衛, 磯村和英, Clive Greensmith
メンデルスゾーン F. Mendelssohn	弦楽八重奏曲 作品20 第1楽章 Octet for Strings in E-flat major, Op. 20, First movement	Vivian Hagner 1st vn, 樫本大進 2nd vn, Mikhail Kopelman 3rd vn, 渡辺玲子 4th vn 磯村和英 1st va, 池田菊衛 2nd va Steven Isserlis 1st vc, Clive Greensmith 2nd vc
<b>2002.10.25</b>	<b>第5回北京音楽祭特別公演 (日中国交30周年記念事業)</b>	<b>保利劇場、北京、中国 Beijing China</b>
ファリャ M. De Falla	スペイン民謡組曲 Suite Populaire Espagnole	Lisa Batiashvili (Strad. Violin 1709 "Engleman") 伴奏 林絵里(piano)
ラヴェル M. Ravel	ヴァイオリン・ソナタ Violin Sonata	諏訪内晶子(Strad. Violin 1714 "Dolphin") 伴奏 林絵里(piano)
サラサーテ P. Sarasate	カルメン幻想曲 作品25 Carmen Fantasie, Op. 25	Baiba Skride (Strad. 1708 Violin "Huggins") 伴奏 林絵里(piano)
サン＝サーンス Saint-Saens	ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ニ短調 作品75 Violin Sonata No.1 in D minor Op.75	Viviane Hagner (Strad. Violin 1717 "Sasserno") 伴奏 林絵里(piano)
スメタナ B. Smetana	弦楽四重奏曲 第1番 「我が生涯より」 String Quartet No. 1 in E minor, "From My Life"	東京クワルテット(Strad. "Paganini Quartet") Martin Beaver, 池田菊衛, 磯村和英, Clive Greensmith
<b>2002.10.26</b>	<b>第5回北京音楽祭特別公演 (日中国交30周年記念事業)</b>	<b>釣魚台迎賓館、北京、中国 Beijing China</b>
ヴィエニャフスキ H. Wieniawski	ヴァイオリン協奏曲 第2番から「ロマンス」 "Romance" from Violin Concerto No. 2 in D minor	Viviane Hagner (Strad. Violin 1717 "Sasserno") 伴奏 林絵里(piano)

演奏曲目（海外）

クライスラー Kreisler	中国の太鼓 Tambourin Chinois	Viviane Hagner (Strad. Violin 1717 "Sasserno") 伴奏 林絵里(piano)
サラサーテ P. Sarasate	ツィゴイネルワイゼン 作品20 Zigeunerweisen, Op. 20	諏訪内晶子(Strad. Violin 1714 "Dolphin") 伴奏 林絵里(piano)
サラサーテ P. Sarasate	序曲とタランテラ 作品43 Introduction et tarantella, Op. 43	諏訪内晶子(Strad. Violin 1714 "Dolphin") 伴奏 林絵里(piano)
ヴィエニャフスキ H. Wieniawski	華麗なるポロネーズ Polonaise in D major	Lisa Batiashvili (Strad. Violin 1709 "Engleman") 伴奏 林絵里(piano)
ラヴェル M. Ravel	ツィガース "Tzigane"	Baiba Skride (Strad. Violin 1708 "Huggins") 伴奏 林絵里(piano)
シューベルト F. Schubert	弦楽四重奏曲 第14番 「死と乙女」 String Quartet No. 14 in D minor "Death and the Maiden"	東京クワルテット(Strad. "Paganini Quartet") Martin Beaver, 池田菊衛, 磯村和英, Clive Greensmith
<b>2004.4.4</b>	<b>Easter with Stradivarius (Special Concert in Salzburg)</b>	<b>The Mozerteum, Salzburg, Austria</b>
ミヨー D. Milhaud	2つのヴァイオリンとピアノのためのソナタ op.15 Sonate for two violins and piano, op.15	樫本大進 (Strad. Violin 1722 "Jupiter") 佐藤俊介 (Strad. Violin 1725 "Wilhelmj") 伴奏 市野あゆみ(piano)
コダイ Z. Kodaly	セレナード op.12 Serenade for 2 violins and viola, op.12	Baiba Skride (Strad. Violin 1708 "Huggins") Lisa Batiashvili (Strad. Violin 1709 "Engleman") 磯村和英(Strad. Viola 1731 "Paganini") 市野あゆみ(piano)
トゥリーナ J. Turina	ピアノ・トリオ op.35 Trio for piano, violin and violoncello in D major, op.35	安永徹(Strad. Violin 1702 "Lord Newlands") 石坂団十郎(Strad. Cello 1696 "Lord Aylesford")
ヴェーバー A. Webern	弦楽四重奏曲 (1905) Slow movement for String Quartet (1905)	東京クワルテット(Strad. "Paganini Quartet") Martin Beaver, 池田菊衛, 磯村和英, Clive Greensmith
メンデルスゾーン F. Mendelssohn	弦楽八重奏曲 作品20 Octet E-flat major for 4 violins, 2 violas and 2 violoncellos, Op. 20	Martin Beaver 1st vn, Viviane Hagner 2nd vn, Julia Fischer 3rd vn, 諏訪内晶子4th vn 磯村和英 1st va, 池田菊衛 2nd va Clive Greensmith 1st vc, 石坂団十郎 2nd vc

所有楽器及び貸与者によるCD一覧

発売日等順

楽器名	貸与者	CDタイトル	発売日等	備考
Strad Violin 1709 Engleman	渡辺玲子	ベルクヴァイオリン協奏曲&室内協奏曲	1997/5/10	室内協奏曲のみ Engleman使用、 1996/11月録音 Warner Classic
Strad Violin 1708 Huggins	藤原浜雄	ブラームス・ヴァイオリンソナタ全集	1997/8	1997/4/14-15録音 東芝EMI
Strad Violin 1709 Engleman	渡辺玲子	マイ・フェイヴァリッツ	1998/4/25	1999/10月,12月録音 Warner Classic
Strad Violin 1708 Huggins Strad Violin 1709 Engleman Strad Violin 1722 Jupiter Strad Violin 1736 Muntz Strad Paganini Quartet	Nikolaj Znaider 渡辺玲子 樫本大進 徳永二男 東京クワルテット	All Stradivarius Concert	1998/9/8録音	日本音楽財団25周年 記念演奏会実録版 客演:徳永二男 非売品
Strad Cello 1730 Feuermann	Steven Isserlis	Stradivarius Cello Recital	1998/10/26録音	日本音楽財団25周年 記念演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1722 Jupiter	樫本大進	Daishin デビュー	1999/9/22	1999/3/25-27,29録音 Sony Classical
del Gesu Violin 1736 Muntz	Pavel Berman	Robert Schumann	1999/秋イタリア	1998/7/28-30録音 PHOENIX Classic
Strad Cello 1730 Feuermann	Steven Isserlis	Trio for Clarinet, Cello and Piano	1999/秋ロンドン	1998/9/5-7録音 BMC Classic
Strad Cello 1730 Feuermann	Steven Isserlis	Camille Saint-Saens	2000/夏ロンドン 及び日本	1999/9月,12月録音 BMC Classic
Strad Violin 1708 Huggins	植村菜穂	FRANCK Violin Sonata	2000/春	2000/4/6-7録音 MEISTER MUSIC
Strad Violin 1709 Huggins	荒井英治	ヴィエニャフスキ:言葉のないロマンスと優雅なロイド他	2001/1/25	2000/5/録音 MEISTER MUSIC
Strad Violin 1715 Dolphin	諏訪内晶子	メンデスゾーン、チャイコフスキー	2001/2/25	2000/9/7-8録音 Universal Classic
Strad Violin 1709 Huggins	吉田恭子	吉田恭子Sea Shellヴァイオリン名曲集	2001/6/21	2000/12/19-21録音 日本コロムビア
Strad Violin 1709 Huggins	吉田恭子	吉田恭子プレイズ・ザ・ビートルズ	2001/6/21	2001/3月-4月録音 日本コロムビア
Strad Violin 1716 Booth Strad Violin 1717 Sasserno Strad Violin 1722 Jupiter Strad Paganini Quartet	渡辺玲子 Viviane Hagner Julia Fisher 樫本大進 東京クワルテット	Seven Stradivarius Concerts in Stockholm	2001/4録音 スウェーデン	海外演奏会スウェーデン 2回公演実録版 (2001/4/18,19) 非売品
Strad Violin 1709 Engleman Strad Violin 1716 Booth Strad Violin 1717 Sasserno Strad Violin 1722 Jupiter Strad Cello 1730 Feuermann Strad Paganini Quartet	渡辺玲子 Julia Fisher Viviane Hagner 樫本大進 Steven Isserlis 東京クワルテット	A Stradivari Musical Extravaganza	2001/5/23録音 ロンドン	海外演奏会 ロンドン公演実録版 非売品
Strad Violin 1722 Jupiter	樫本大進	パッションータ	2001/9/5	2001/5/13-17録音 Sony Classical

所有楽器及び貸与者によるCD一覧

楽器名	貸与者	CDタイトル	発売日等	備考
Strad Violin 1709 Engleman	渡辺玲子	バッハ	2001/10/10	2000/12,2001/2録音 Warner Classic
Strad Cello 1730 Feuermann	Steven Isserlis	Richard Strauss	2001/10/24	2000/3/28-30録音 BMG Classic, Bayerischer Rundfunk
Strad Violin 1736 Muntz	森下幸路	カンタービレ	2001/10/25	2001/7/21,23録音 MEISTER MUSIC
Strad Violin 1715 Dolphin	諏訪内晶子	シベリウス・ウォルトン・ヴァイオリン協奏曲	2002/9/21	2002/3/6,6/26録音 Universal Classic
Strad Violin 1708 Huggins Strad Violin 1709 Engleman Strad Violin 1714 Dolphin Strad Violin 1717 Sasserno Strad Paganini Quartet	Baiba Skride Lisa Batiashvili 諏訪内晶子 Viviane Hagner 東京クワルテット	All Stradivarius Concert in Beijing, China	2002/10録音 北京	海外演奏会北京 2公演実録版 (2002/10/25,26) 非売品
del Gesu Violin 1740 Ysaye	Pinchas Zukerman	Issac Stern Memorial Benefit Concert	2003/5/28録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad Cello 1730 Feuermann	Steven Isserlis	Sergei Rachmaninov, Cesar Franck	2003/春ロンドン	2002/8/23-25録音 HYPERION Records
Strad Violin 1700 Dragonetti	渡辺玲子	ショスタコービッチ & チャイコフスキー ヴァイオリン協奏曲	2003/9/25	2003/6/13,23録音 Warner Classic
Strad Violin 1700 Dragonetti Strad Violin 1709 Engleman Strad Violin 1714 Dolphin Strad Violin 1708 Huggins Strad Violin 1717 Sasserno Strad Violin 1722 Jupiter Strad Violin 1736 Muntz Strad Paganini Quartet	内田輝 Lisa Batiashvili 諏訪内晶子 Baiba Skride Viviane Hagner 樫本大進 Judith Ingolfsson 東京クワルテット	Age of Stradivarius	2003/11録音 東京	3公演実録版 (2003/11/26,27,28) 非売品
Strad Violin 1709 Engleman	Lisa Batiashvili	Lisa Batiashvili New Year Concert	2004/1/27録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1715 Joachim	庄司紗矢香	プロコフィエフ・ヴァイオリン・ソナタ 第1番、第2番	2004/3/3	2003/12録音 Universal Classic
Strad Cello 1696 Aylesford Strad Violin 1700 Newlands Strad Violin 1708 Huggins Strad Violin 1709 Engleman Strad Violin 1714 Dolphin Strad Violin 1716 Booth Strad Violin 1717 Sasserno Strad Violin 1722 Jupiter Strad Violin 1725 Wilhelmj Strad Paganini Quartet	石坂団十郎 安永徹 Baiba Skride Lisa Batiashvili 諏訪内晶子 Julia Fischer Viviane Hagner 樫本大進 佐藤俊介 東京クワルテット	Easter with Stradivarius	2004/4録音 ザルツブルグ	海外演奏会 ザルツブルグ実録版 (2004/4/4録音) 非売品

## 音楽助成金交付実績

単位：円

年度	団体名	事業名	助成金額	備考
1994年度	(財)東京ミュージック・ボランティア協会	療育音楽用伴奏ソフトの製作・配布	1,000,000	
	ヴァイオリンを作る会	手作りヴァイオリンによるコンサート	400,000	
	全日本太鼓連盟	イスラエル博物館日本展和太鼓公演	1,000,000	
	全日本太鼓連盟	第17回日本太鼓全国講習会	400,000	
	全日本太鼓連盟	第18回日本太鼓全国講習会	600,000	
	東京都高等学校バトン連盟	東京都高等学校バトン講習会	200,000	
	日本アマチュア演奏家協会	エイパ(APA)公開レッスン&コンサート	1,000,000	
	日本音楽文化交流協会	国際親善交流特別演奏会	400,000	
	日本弦楽指導者協会	1995JASTAストリングフェスティバル	670,000	
	日本吹奏楽指導者協会	吹奏楽指導者指揮法講習会	1,000,000	
	日本マーチングバンド指導者協会	マーチングシンポジウム	500,000	
	日本マーチングバンド指導者協会	マーチングバンド・バトントワリング指導者研修会	500,000	
	浜松合唱連盟	1994遠州サマーコーラスフェスティバル	250,000	
	合計	13件	7,920,000	
1995年度	コーロ・カロス合唱団	第7回ヨーロッパアンサンブル合唱コンクール招聘参加	2,000,000	
	全日本太鼓連盟	第19回日本太鼓全国講習会	500,000	
	全日本太鼓連盟	米国・スミノニア研究所国立自然史博物館での和太鼓公演	2,000,000	
	日本アマチュア演奏家協会	エイパ(APA)公開レッスン&コンサート	1,000,000	
	日本吹奏楽指導者協会	吹奏楽指導者指揮法講習会	1,000,000	
	日本マーチングバンド指導者協会	マーチングシンポジウム	500,000	
	日本マーチングバンド指導者協会	マーチングバンド・バトントワリング指導者研修会	500,000	
	ロイヤルグレースカデミー	東京クワルテット・マスタークラス	2,000,000	
	合計	8件	9,500,000	
1996年度	(社)日中青年研修協会	日中国交回復25周年記念日中オペラガラ・コンサート	1,000,000	
	(社)日本アマチュアオーケストラ連盟	JAO中部地区アマチュア・オーケストラ・クリニック	700,000	
	世界自然保護基金日本委員会 (WWF Japan)	日本太鼓チャリティ・コンサート(全額助成事業)	4,988,769	
	全日本太鼓連盟	第20回全日本太鼓フェスティバル	1,000,000	
	全日本太鼓連盟	日本太鼓全国講習会(第20回、第21回)	1,000,000	
	東京カンタート1996実行委員会	Tokyo Cantat 1996	1,500,000	
	東京銀座ジュニア・オーケストラ・ソサエティ	弦楽器購入	1,800,000	

## 音楽助成金交付実績

単位：円

	日本アマチュア演奏家協会	エイバ(APA)公開レッスン&コンサート	1,000,000	
	日本弦楽指導者協会	JASTA飯岡1996サマーミュージックスクール	1,500,000	
	日本吹奏楽指導者協会	吹奏楽指導者指揮法講習会	1,000,000	
	日本マーチングバンド指導者協会	マーチングバンド・パトントワリング指導者研修会	1,000,000	
	毎日新聞社(文化事業部)	全日本学生音楽コンクール50周年記念ガラ・コンサート	1,000,000	
	みどり教育財団(東京オフィス)	1996レクチャー・コンサート(タイ)	1,500,000	
	ミュージゼシード	ミュージゼシード「コンサートシリーズ・イン・サントリーホール」	1,000,000	
	合計	14件	19,988,769	
1997年度	(財)アリオン音楽財団	アリオン・アフタヌーンコンサート(6回)	2,000,000	
	(社)日本アマチュアオーケストラ連盟	JAOアマチュア・オーケストラ・クリニック	1,200,000	
	(社)日本ギター連盟	法人設立30周年記念ガラコンサート	1,000,000	
	シャトーヴィル財団	チャリティ・コンサート&ガラ・ディナー	2,270,096	\$17,910.03
	全日本太鼓連盟	日本太鼓全国講習会(第22回、第23回)	1,000,000	
	東京カンタート1997実行委員会	Tokyo Cantat 1997	1,500,000	
	東京銀座ジュニア・オーケストラ・ソサエティ	東京銀座ジュニア・オーケストラ設立記念デビューコンサート	1,500,000	
	日本アマチュア演奏家協会	エイバ(APA)公開レッスン&コンサート	1,500,000	
	日本合唱指揮者協会	教会暦による演奏会シリーズ	1,500,000	
	日本弦楽指導者協会	JASTA飯岡1997サマーミュージックスクール	1,500,000	
	日本吹奏楽指導者協会	吹奏楽指導者指揮法講習会	1,000,000	
	日本マーチングバンド指導者協会	マーチングバンド・パトントワリング指導者研修会	1,000,000	
	ミュージゼシード	ミュージゼシード「コンサートシリーズ・イン・サントリーホール」	1,000,000	
	合計	13件	17,970,096	
1998年度	(財)新星日本交響楽団	音楽教育プログラム・夏休みファミリーコンサート オーケストラ大作戦	2,000,000	
	(財)長岡市芸術文化振興財団	交流演奏会「長岡交響楽団・バンベルク・ユースオーケストラ メンバーズ」&指揮法公開マスタークラス	1,500,000	
	(社)日本アマチュアオーケストラ連盟	アマチュア・オーケストラ・クリニック	800,000	
	JMC管弦楽団	国際青少年音楽祭参加	2,000,000	
	アンサンブル・フィドルール実行委員会	フランス宮廷音楽合奏団・日本公演	2,000,000	
	東京カンタート1998実行委員会	Tokyo Cantat 1998	1,500,000	
	東京ジュニア・オーケストラ	東京ジュニア・オーケストラ演奏会	1,500,000	団体名変更
	日本アマチュア演奏家協会	1999エイバコンサート&訪問演奏会	1,000,000	
	日本合唱指揮者協会	新作合唱曲発表会	1,500,000	

## 音楽助成金交付実績

単位：円

	日本弦楽指導者協会	JASTA飯岡1998サマーミュージックスクール	1,500,000	
	日本吹奏楽指導者協会	吹奏楽指導者指揮法講習会	1,000,000	
	日本マーチングバンド指導者協会	第63回マーチングバンド・バトントワリング指導者研修会	1,000,000	
	フォーラム21少年少女合唱団合同演奏会 実行委員会	ウィーン・フィルハーモニー弦楽五重奏団&フォーラム21少年少女合唱団合同演奏会	1,200,000	
	ミュージゼシード	ミュージゼシードコンサートシリーズ・イン・王子ホール	1,000,000	
	合計	14件	19,500,000	
1999年度	(財) 新星日本交響楽団	音楽教育プログラム・夏休みファミリーコンサート オーケストラ大作戦	2,000,000	
	(社) 青少年音楽協会	教育的コンサート並びにチャペルコンサート	1,500,000	
	(社) 日本アマチュアオーケストラ連盟	アマチュア・オーケストラ・クリニック	800,000	
	(社) 日本アマチュアオーケストラ連盟	国際アマチュアオーケストラフェスティバル	2,000,000	
	合唱人集団「音楽樹」東京カンタート実行 委員会	Tokyo Cantat 1999	1,500,000	
	東京ジュニア・オーケストラ	東京ジュニア・オーケストラ演奏会	1,500,000	
	日本アマチュア演奏家協会	エイパコンサート&訪問演奏会	1,500,000	
	日本弦楽指導者協会	JASTA1999サマーミュージックスクール	1,500,000	
	日本吹奏楽指導者協会	吹奏楽指導者指揮法講習会	1,000,000	
	日本マーチングバンド指導者協会	第65回マーチングバンド・バトントワリング指導者研修会	1,000,000	
	ミュージゼシード	ミュージゼシードコンサートシリーズ・イン・王子ホール	1,000,000	
	ゆふいん音楽祭実行委員会	ゆふいん音楽祭	1,000,000	
	合計	12件	16,300,000	
2000年度	(財) 新星日本交響楽団	オーケストラによる小中学生音楽教育プログラム	1,500,000	
	(財) 東京ミュージック・ボランティア協会	2000みんなの音楽会	1,000,000	
	(財) 函館市文化・スポーツ振興財団	ふれあい音楽祭2000	1,500,000	
	(社) 日本アマチュアオーケストラ連盟	国際アマチュアオーケストラフェスティバル2000 in Okinawa	1,500,000	
	(社) 日本アマチュアオーケストラ連盟	第1回日本マスターズオーケストラキャンプ	1,000,000	
	タバネル音楽友好協会	ベートーヴェン・プロジェクト	1,000,000	18,552,894イタ リアリ
	東京ジュニア・オーケストラ	東京ジュニア・オーケストラ演奏会	1,500,000	
	日本合唱指揮者協会	第1回北とびあ合唱フェスティバル	1,000,000	
	日本弦楽指導者協会	2000JASTAサマーミュージックスクール	1,140,647	収入増により助 成金減額
	日本吹奏楽指導者協会	吹奏楽指導者指揮法講習会	1,000,000	
	日本マーチングバンド指導者協会	第67回マーチングバンド・バトントワリング指導者研修会	1,000,000	
	日本モーツァルト研究所	モーツァルト青少年オーケストラ 草の根交流演奏会	1,500,000	

## 音楽助成金交付実績

単位：円

	ミュージゼシード	ミュージゼシードコンサートシリーズ・イン・王子ホール	1,000,000	
	ゆふいん音楽祭実行委員会	ゆふいん音楽祭	1,000,000	
	合計	14件	16,640,647	
<b>2001年度</b>	(財)東京ミュージック・ボランティア協会	2001みんなの音楽会	1,200,000	
	(社)日本アマチュアオーケストラ連盟	国際アマチュアオーケストラフェスティバル2001 in 名古屋	1,500,000	
	(社)日本アマチュアオーケストラ連盟	第2回日本マスターズオーケストラキャンプ	1,000,000	
	カザルスホール倶楽部	クワルテット推進プロジェクトQ	1,500,000	
	国際音楽評議会 日本委員会	第29回国際音楽評議会 総会・国際会議組織委員会主催演奏会	2,000,000	
	桐朋学園オーケストラ	マゼール/ヴィラー国際指揮者コンクール予選演奏	1,000,000	
	日本合唱指揮者協会	第2回北とびあ合唱フェスティバル	1,300,000	
	日本弦楽指導者協会	2001JASTAサマーミュージックスクール	1,500,000	
	日本高等学校吹奏楽連盟	日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜	1,000,000	
	日本吹奏楽指導者協会	吹奏楽指導者指揮法講習会	1,000,000	
	日本チェロ協会	ヤーノシュ・シュタルケル チェロマスタークラス	1,000,000	
	日本マーチングバンド指導者協会	第69回マーチングバンド・バトントワーリング指導者研修会	1,000,000	
	山梨県国際交流吹奏楽団	山梨県・アイオワ州姉妹都市締結40周年記念交流演奏旅行	1,500,000	
	ゆふいん音楽祭実行委員会	ゆふいん音楽祭	1,000,000	
	未来の巨匠コンサート実行委員会	未来の巨匠コンサート	1,000,000	
	合計	15件	18,500,000	
<b>2002年度</b>	(財)東京ミュージック・ボランティア協会	みんなの音楽会	1,500,000	
	(社)日本アマチュアオーケストラ連盟	全国アマチュア・オーケストラ・フェスティバル新潟大会	1,000,000	
	(社)日本アマチュアオーケストラ連盟	第3回マスターズオーケストラキャンプ	1,000,000	
	NPO 01クラブ(鼓隊クラブ)	バイオニアパレード参加(The Day of 47 Parades)	1,000,000	
	大久保混声合唱団	第6回世界合唱シンポジウム・ミネアポリス大会参加	1,000,000	
	新星東京フィルハーモニー交響楽団	チョン・ミュンフン/東京フィル「こども音・楽・館」プログラム	1,500,000	
	日本音楽家ユニオン	2002「あすなろコンサート」	2,000,000	
	日本音楽家ユニオン	子供とオーケストラ実験工房コンサート	1,000,000	
	日本合唱指揮者協会	第3回北とびあ合唱フェスティバル	1,000,000	
	日本弦楽指導者協会	2002JASTAサマーミュージックスクール	1,000,000	
	日本高等学校吹奏楽連盟	日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜	1,000,000	
	日本吹奏楽指導者協会	吹奏楽指導者指揮法講習会	1,000,000	

## 音楽助成金交付実績

単位：円

	プロジェクトQ実行委員会	クワルテット推進プロジェクトQ	1,500,000	団体名変更
	マンハッタン音楽院	ピンカス・ズッカーマン弦楽器演奏講座	1,500,000	\$12,175.33
	ミュージック・マスターズ・コースin かずさ実行委員会	ミュージック・マスターズ・コースin かずさ	2,000,000	
	未来の巨匠コンサート実行委員会	未来の巨匠コンサート	1,000,000	
	合計	16件	20,000,000	
2003年度	(財)東京ミュージック・ボランティア協会	みんなの音楽会	1,500,000	
	(社)日本アマチュアオーケストラ連盟	第4回日本マスターズオーケストラキャンプ	1,000,000	
	あすなるコンサート実行委員会 (日本音楽家ユニオン・日本芸能実演家団体協議会)	2003年「あすなるコンサート」	1,500,000	
	ウィーン音楽大学	サマーアカデミー指揮者コース参加の学生14名に対する奨学金給付	2,000,000	
	サントリーホールで音楽しよう実行委員会	サントリーホールで音楽しよう	1,000,000	
	トリトン・アーツ・ネットワーク	親子でクラシックコンサート	1,000,000	
	日本弦楽指導者協会	2003 JASTAストリングセミナー (旧称サマー・ミュージック スクール)	1,000,000	
	プロジェクトQ実行委員会	プロジェクトQ - 若いクワルテット、バルトークに挑戦する -	1,500,000	
	ミュージック・マスターズ・コースin かずさ実行委員会	ミュージック・マスターズ・コース in かずさ 2003	2,000,000	
	ロイヤルチェンバーオーケストラ	音楽大学生・高校生を対象にした、ロイヤルチェンバーオーケストラと堤俊作、高嶋ちさ子、荒庸子によるトークを交えた演奏会の開催	2,000,000	
	新星東京フィルハーモニー交響楽団	東京フィル「こども音・楽・館」2	1,500,000	
	日本高等学校吹奏楽連盟	第5回全日本高等学校吹奏楽大会in 横浜	1,000,000	
	日本合唱指揮者協会	第4回北とびあ合唱フェスティバル	1,000,000	
	日本吹奏楽指導者協会	吹奏楽指導者指揮法講習会	1,000,000	
	未来の巨匠コンサート実行委員会	未来の巨匠コンサート	1,000,000	
	合計	15件	20,000,000	
	総合計 51団体	134件	166,319,512	

## 協力事業内容一覧

### 1994年度

① マリンフェスタin船の科学館

協力依頼元 (財)日本海事科学振興財団  
期 日 1994年4月3日(日)  
協力内容 武蔵野高等学校マーチングバンドを派遣

② 多摩川競艇開設40周年記念競走開会式

協力依頼元 多摩川競走場  
期 日 1994年7月9日(日)  
協力内容 明治大学応援団吹奏楽部を派遣

③ WWF(世界自然保護基金)オーストリアへの協力事業

期 日 1994年8月31日(水)  
場 所 オーストリア国・ザルツブルグ市 ザルツブルグ・フェスティバル・ホール  
協力内容 ザルツブルグ音楽祭1994のチャリティ・コンサート及び記念晩餐会の開催に協賛  
金としてUS\$21,000を協力  
コンサート ロリン・マゼール氏指揮、ピッツバーグ交響楽団

④ 第22回全日本空手道選手権大会

協力依頼元 (財)全日本空手道連盟  
期 日 1994年12月18日(日)  
協力内容 日本大学鶴が丘高等学校吹奏楽部を派遣

⑤ 日本財団の支援した五嶋みどり女史の日本でのレクチャー・コンサート(1994年6月)及びボルチモアオーケストラ日本公演(1994年11月)の事業に対し、事務手続き等に協力した。

⑥ マリンフェスタin船の科学館

協力依頼元 (財)日本海事科学振興財団  
期 日 1995年3月25日(土)、3月26日(日)、4月2日(日)  
協力内容 武蔵野高等学校マーチングバンドを派遣

### 1995年度

① 多摩川競艇開設41周年記念競走開会式

協力依頼元 多摩川競走場  
期 日 1995年9月22日(金)  
協力内容 國學院大學吹奏楽部を派遣

② 文部大臣杯全日本ゲートボール選手権大会

協力依頼元 (財)日本ゲートボール連合  
期 日 1995年10月7日(土)  
協力内容 武蔵野高等学校マーチングバンドを派遣

③ わくわく港湾パラダイス

協力依頼元 (財)日本海事科学振興財団  
期 日 1995年11月3日(金・祝)  
場 所 船の科学館  
協力内容 日本大学鶴が丘高等学校吹奏楽部を派遣

④ ザルツブルグ音楽祭音楽総監督の来日記者会見及び歓迎レセプションへの協力

フェスティバルの音楽監督であるジェラルド・モルチェ氏は、同フェスティバルの日本開催の可能性調査のため来

日した際に、目的達成のため日本における記者会見の開催を在日オーストリア大使館及び日本音楽財団に協力を要請してきた。

協力依頼元	ザルツブルグ音楽祭実行委員会
記者会見	1995年11月10日(金)17:00～ レセプション18:00～ 約100名出席
場 所	駐日オーストリア大使館

⑤ 日本太鼓海外公演協力 その1

米国スミソニアン研究所国立自然史博物館での和太鼓演奏会並びに在米日本大使館における特別公演に和太鼓チームを派遣した。

派遣期間	1995年11月12日(日)～20日(月)
協力内容	秋田県大曲太鼓道場を派遣
演 奏 日	在米日本大使館(14日) 一竹辻が花着物展オープニング(15日) 博物館友の会演奏会(18日)

⑥ 日本太鼓海外公演協力 その2

国際交流基金の要請によりタイ、ラオス、ミャンマー及びインドネシア4カ国における文化交流事業に参加するため、太鼓チームを派遣した。

派遣期間	1995年11月21日(火)～12月10日(日)
派遣団体	山形県・龍連山と和太鼓“龍”チーム

⑦ 多摩川競艇施設改善記念競走開会式

協力依頼元	多摩川競走場
期 日	1995年12月8日(金)
協力内容	駒沢大学吹奏楽部を派遣

⑧ 第38回東京国際ギターコンクール

協力依頼元	(社)日本ギター連盟
期 日	本選 1995年12月23日(土)
協力内容	日本音楽財団賞としてトロフィーを提供

⑨ 本財団の支援した五嶋みどり女史の日本でのレクチャーコンサート(1995年6月)事業の事務手続き等を積極的に協力した。

⑩ 羊蹄丸オープニング

協力依頼元	(財)日本海事科学振興財団
期 日	1996年3月22日(金)
場 所	船の科学館
協力内容	武蔵野高等学校マーチングバンドを派遣

⑪ マリンフェスタinの科学館1996

協力依頼元	(財)日本海事科学振興財団
期 日	1996年3月23日(土)、24日(日)、31日(日)、4月7日(日)
協力内容	武蔵野高等学校マーチングバンドを派遣

⑫ 30周年を迎えたザルツブルグ・イースター音楽祭(1996年3月～4月)に日本財団が支援するのに伴い、当該音楽祭事務局との細部にわたる事務手続き等を積極的に協力した。

**1996年度**

① グランドチャンピオン決定戦競走開会式

協力依頼元	多摩川競走場
-------	--------

- |      |               |
|------|---------------|
| 期 日  | 1996年6月27日(木) |
| 協力方法 | 駒沢大学吹奏楽部を派遣   |
- ② 海の記念日 海洋ウィークフェスティバル1996
- |       |                                                                                        |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 協力依頼元 | (財)日本海事科学振興財団                                                                          |
| 期 日   | 1996年7月20日(土)～24日(水)                                                                   |
| 協力方法  | 東京フェニックスマーチンバンドを派遣(20日)<br>武蔵野中・高等学校マーチングバンドを派遣(21日～23日)<br>新宿区立東戸山中学校マーチングバンドを派遣(24日) |
- ③ 第1回全国ジュニアゲートボール大会
- |       |                      |
|-------|----------------------|
| 協力依頼元 | (財)日本ゲートボール連合        |
| 期 日   | 1996年8月10日(土)        |
| 協力方法  | 武蔵野中・高等学校マーチングバンドを派遣 |
- ④ 日本太鼓海外公演協力 (ジャパン・ウィーク・ルーマニア)
- 日本とルーマニアの友好推進を目的としてルーマニア・ブカレストにおいて「ジャパン・ウィーク」を開催することになり、日本文化を紹介するため和太鼓チームの派遣協力した。公演は3回行われたが、いずれの演奏会も大好評を博し、特に大統領ご臨席の演奏では、日本の伝統文化の紹介と2国間の交流促進に貢献した。
- |       |                       |
|-------|-----------------------|
| 協力依頼元 | 日本ルーマニア協会             |
| 派遣期間  | 1996年8月25日(日)～9月3日(火) |
| 協力内容  | 日本太鼓「ゆふいん源流太鼓」を派遣     |
- ⑤ わくわく港湾パラダイス
- |       |                       |
|-------|-----------------------|
| 協力依頼元 | (財)日本海事科学振興財団         |
| 期 日   | 1996年10月12日(土)、13日(日) |
| 派遣団体  | 武蔵野中・高等学校マーチングバンドを派遣  |
- ⑥ 多摩川競艇開設42周年記念競走開会式
- |       |                |
|-------|----------------|
| 協力依頼元 | 多摩川競走場         |
| 期 日   | 1996年10月17日(木) |
| 派遣団体  | 明治大学応援団吹奏楽部を派遣 |
- ⑦ 第39回東京国際ギターコンクール
- |       |                      |
|-------|----------------------|
| 協力依頼元 | (社)日本ギター連盟           |
| 期 日   | 本選 1996年12月8日(日)     |
| 協力方法  | 日本音楽財団賞としてトロフィーを3基提供 |
- ⑧ 第1回神宮外苑ロードレース
- |       |                                                 |
|-------|-------------------------------------------------|
| 協力依頼元 | 神宮外苑ロードレース実行委員会<br>(日本財団・東京新聞等が中心に構成する委員会)      |
| 期 日   | 1996年12月15日(日)                                  |
| 協力内容  | 日本太鼓「御諏訪太鼓保存会」と「金沢百万石太鼓」及び<br>東京成徳短大付属高校吹奏楽部を派遣 |
- ⑨ 世界自然保護基金(WWF) 総裁英国エジンバラ公フィリップ殿下来日歓迎式典
- |       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 協力依頼元 | (財)世界自然保護基金日本委員会(WWF Japan) |
| 期 日   | 1997年3月13日(木)               |
| 協力内容  | 日本太鼓「御諏訪太鼓保存会」と大由鬼山氏を派遣     |
- ⑩ ワールド・シーワールド IN 船の科学館1997春

協力依頼元	(財)日本海事科学振興財団
期 日	1997年3月29日(土)、3月30日(日)
協力内容	新宿区立東戸山中学校マーチングバンドを派遣(29日) 東京フェニックスマーチングバンドを派遣(30日)

- ⑪ 日本財団が支援したザルツブルグ・イースター音楽祭(1997年3月)事業に昨年に続き、事務手続き等を全面的に協力した。

**1997年度**

- ① 笹川鎮江先生「(財)日本吟剣詩舞振興会会長」叙勲祝賀会

協力依頼元	笹川鎮江先生受章祝賀実行委員会
期 日	1997年4月13日(日)
場 所	ホテル海洋
協力内容	日本太鼓「炎太鼓」を派遣

- ② 1997年度「日仏人物交流会」

協力依頼元	日仏経済交流協会並びに笹川日仏財団
期 日	1997年5月23日(金)
場 所	駐日フランス大使館
協力内容	日本太鼓「いずみ」を派遣

- ③ ワールド・シーワールド IN 船の科学館1997

協力依頼元	(財)日本海事科学振興財団
期 日	1997年7月19日(土)～21日(月・休)
場 所	船の科学館
派遣団体	日本太鼓「相州海老名東柏太鼓」(19日) 日本太鼓「富岳太鼓」(20日) 日本太鼓「銚子はね太鼓保存会」(21日)

- ④ 海外体験航海第20回B&G財団「少年の船」

中・高校生を対象とした「少年の船」での船内活動の一環として日本太鼓を派遣した。船内活動はもとより、寄港地の親善交流会においても日本の伝統文化紹介と相互間の交流促進に貢献した。

協力依頼元	(財)ブルーシー・アンド・グリーンランド財団
期 日	1997年7月22日(火)～29日(火)
寄 港 地	グアム・サイパン
派遣団体	日本太鼓「秩父屋台囃子保存会」(中・高校生選抜チーム10名)

- ⑤ 第2回全国ジュニアゲートボール大会

協力依頼元	(財)日本ゲートボール連合
期 日	1997年8月9日(土)
場 所	江東区夢の島競技場
協力内容	新宿区立東戸山中学校マーチングバンドを派遣

- ⑥ 多摩川競艇開設43周年記念競走開会式

協力依頼元	多摩川競走場
期 日	1997年10月17日(金)
協力内容	國學院大学吹奏楽部を派遣

- ⑦ Stradivarius Violin “Engleman”を貸与している渡辺玲子女史の初リサイタルを支援

期 日	1997年10月27日(月)19:00～21:00
-----	---------------------------

場 所 サントリー大ホール

招 待 者 1,400名

- ⑧ 全日本太鼓連盟の事務運営及び活動助成をするとともに当該団体の法人化に向けての指導を積極的に行った。その結果、当該団体は1997年11月11日に財団化され、財団法人日本太鼓連盟として活動を開始した。

- ⑨ 駐日英国大使主催「日本太鼓特別公演」

高円宮殿下・同妃殿下のご臨席のもと、演奏も大好評を博し、各団体の演奏は、日本の伝統文化の紹介と2国間の交流促進に貢献したと高く評価された。

協力依頼元 駐日英国大使

期 日 1997年11月18日(火)

場 所 在日英国大使館

出演団体 日本太鼓「響太鼓」、日本太鼓「無限響」、英国大使館太鼓チーム「番長祭太鼓」

- ⑩ 第40回東京国際ギターコンクール

協力依頼元 (社)日本ギター連盟

期 日 本選 1997年12月7日(日)

協力内容 日本音楽財団賞としてトロフィーを4基提供

- ⑪ 第2回神宮外苑ロードレース

協力依頼元 神宮外苑ロードレース実行委員会  
(日本財団・東京新聞等が中心に構成する委員会)

期 日 1997年12月21日(日)

協力内容 日本大学吹奏楽研究会を派遣

- ⑫ Stradivarius Violin “Huggins”を貸与しているMr. Nikolaj Znaider の日本における初リサイタルを支援

期 日 1997年12月7日(日)14:00～16:00

場 所 銀座・王子ホール

招 待 者 400名

- ⑬ 「競艇G1第43回関東地区選手権競走」開会式

協力依頼元 多摩川競走場

期 日 1998年2月6日(金)

協力内容 駒沢大学吹奏楽部を派遣

## 1998年度

- ① チャリティ・コンサート支援

欧・米・亜・豪からの大学就学前の音楽学生を対象とした音楽教育活動を行っているパールマン音楽プログラム(米国非営利組織)を支援する目的でチャリティ・コンサートを開催したシャトーヴィル財団に対し援助を行った。収益金はパールマン音楽プログラムへ全額寄付された。

期 日 1998年10月10日(土)、11日(日)

場 所 米国・バージニア州 “Castleton Farms”

演 奏 家 Maestro Lorin Maazel (ヴァイオリン)

Mr. Itzhak Perlman (ヴァイオリン)

Mr. Yefim Bronfman (ピアノ)

来 場 者 約100名

- ② 多摩川競艇開設44周年記念競走開会式

協力依頼元 多摩川競走場

期 日 1998年10月15日(木)

- 協力内容 國学院大学体育連合会吹奏楽部を派遣
- ③ スウェーデン大使館における北歐諸国役員歓迎レセプション
- 協力依頼元 スカンジナビア・ニッポン・ササカワ財団
- 期 日 1998年11月12日(木)
- 派遣演奏者 渡辺玲子女史 (ヴァイオリン)、鷺宮美幸女史 (ピアノ伴奏)
- ④ 第41回東京国際ギターコンクール
- 協力依頼元 (社)日本ギター連盟
- 期 日 本選 1998年12月6日(日)
- 協力方法 日本音楽財団賞としてトロフィーを3基提供
- ⑤ 第3回神宮外苑ロードレース
- 協力依頼元 神宮外苑ロードレース実行委員会  
(日本財団・東京新聞等が中心に構成する委員会)
- 期 日 1998年12月20日(日)
- 協力内容 國学院大学体育連合会吹奏楽部を派遣
- ⑥ 「日本太鼓ジュニアコンクール優勝旗」寄贈
- 第1回日本太鼓ジュニアコンクール開催にあたり、優勝団体に授与する優勝旗を作成し、主催者である(財)日本太鼓連盟に寄贈した。当優勝旗は当該コンクール開催毎に優勝団体に持ち回る事となる。
- 期 日 1999年3月
- 寄 贈 先 (財)日本太鼓連盟
- ⑦ 渡辺玲子ニューヨーク・ヴァイオリン・リサイタル支援
- Stradivarius Violin 1709 “Engleman”を貸与している渡辺玲子女史のニューヨークにおけるリサイタルを支援した。
- 日 時 1999年3月21日(日)15:00～17:00
- 場 所 Lincoln Center, Alice Tully Hall (ニューヨーク)
- 来 場 者 約1,200名
- ⑧ 榎本大進バースデイ・コンサートの支援
- Stradivarius Violin 1722 “Jupiter” を貸与している榎本大進氏の20才のバースデイ・コンサートを支援した。このコンサートの実録CDは1999年秋に発売された。
- 日 時 1999年3月27日(土)18:00～20:00
- 場 所 東京オペラシティ・コンサートホール
- 来 場 者 1,400名

#### 1999年度

- ① 多摩川競艇開設45周年競走開会式(東京都青梅市主催)
- 協力依頼元 多摩川競艇場
- 期 日 1999年7月1日(木)
- 協力内容 明治大学応援団吹奏楽部を派遣
- ② 貸与事業広報のためのチャリティ支援
- Jose Carreras International Leukemia Foundation(白血病治癒のための奨学金支給や調査研究支援を行っている米国非営利組織)を支援する目的でチャリティ・コンサートを開催したシャトーヴィル財団に対し援助するとともに、招待客である世界のトップリーダー達に当財団の楽器貸与事業について広報した。
- 期 日 1999年10月23日(土)
- 場 所 米国・バージニア州 “Castleton Farms”
- 演奏家(団体) Maestro Lorin Maazel (Violin, Conductor)

Mr. Jose Carreras (Tenor)  
Mr. Lorenzo Bavaj (Piano)  
The Castleton Philharmonic

来場者 米国の著名人約100名

③ 第42回東京国際ギターコンクール

協力依頼元 (社)日本ギター連盟  
期 日 本選 1999年11月28日(日)  
協力方法 日本音楽財団賞としてトロフィーを3基贈呈

④ 東京ふれあいマラソン 1999神宮外苑ロードレース

陸上競技の普及振興と健常者、車椅子、盲人、知的障害者のスポーツを通じた相互交流の場づくりを目的に開催しているマラソン大会への協力。

協力依頼元 神宮外苑ロードレース実行委員会  
(SSF笹川スポーツ財団が中心となった実行委員会)  
期 日 1999年12月19日(日)  
協力内容 國学院大学体育連合会吹奏楽部を派遣

⑤ 2000年4月、オーストリア国ザルツブルグで開催される、音楽界で有名なザルツブルグ・イースター音楽祭に日本財団が支援するにあたり、その交渉並びに事務手続き等について積極的に協力した。

**2000年度**

① 多摩川競艇開設46周年競走開会式(東京都青梅市主催)

協力依頼元 多摩川競艇場  
期 日 2000年6月29日(木)  
協力内容 駒沢大学吹奏楽部を派遣

② 第43回東京国際ギターコンクール

協力依頼元 (社)日本ギター連盟  
期 日 本選 2000年11月26日(日)  
協力内容 日本音楽財団賞としてトロフィーを3基贈呈

③ 東京ふれあいマラソン2000神宮外苑ロードレース

陸上競技の普及振興と健常者、車椅子、盲人、知的障害者のスポーツを通じた相互交流の場づくりを目的に1996年より開催しているマラソン大会への協力。

協力依頼元 神宮外苑ロードレース実行委員会  
(SSF笹川スポーツ財団が中心となった実行委員会)  
期 日 2000年12月19日(日)  
協力内容 青山学院大学吹奏楽部を派遣

④ 音楽界で有名なザルツブルグ・イースター音楽祭に日本財団が支援(2001年4月開催)するため、その交渉並びに事務手続き等について積極的に協力した。

**2001年度**

① 第1回マゼール/ヴィラー国際指揮者コンクールアジア地域予選協力

協力依頼元 マゼール/ヴィラー国際指揮者コンクール事務局(米国・ニューヨーク)  
開催期間 2001年10月1日(月)～10月4日(木)  
場 所 東京・五反田ゆうぼうと  
協力方法 アジア地区予選開催準備時期より、日本事務局として運営準備及び開催期間中の支援等を積極的に協力した。

実施内容 世界43カ国から350を超える応募の中からロリン・マゼール氏自らが審査し、各地域予選出場者を選んだ。アジア地域予選には10名が選ばれ、3日間に亘り公開審査が行われた。このアジア予選ではMs. Mei-Ann Chen(台湾)、服部譲二氏(日本)、吉田裕史氏(日本)の3名が2002年9月にニューヨークのカーネギーホールで開催される本選出場の権利を得た。

② 「We Love New York」チャリティ・コンサートの支援

このチャリティ・コンサートは2001年9月11日、米国・ニューヨークで発生した同時多発テロ事件の被害者援助のため、わが国の衆参超党派国会議員有志の会が主唱し企画された演奏会である。当財団に対しては来日中の指揮者ロリン・マゼール氏並びにチェリストのヤーノシュ・シュタルケル氏への出演参加仲介依頼があり、交渉を行ったところ両氏からは快く賛同を得てコンサート実現に至った。この経緯により、当財団は当日の運営にあたっても積極的に協力した。

日 時	2001年10月1日(月) 19:30～
場 所	東京・新国立劇場
指 揮	Maestro Lorin Maazel
ソ リ ス ト	Professor Janos Starker (チェロ)
オーケストラ	桐朋学園オーケストラ、NHK交響楽団有志

③ Kurt Masur指揮・London Philharmonic管弦楽団演奏会支援

Ms. Sarah Changはかつて当財団の楽器(Stradivarius Violin1727 “Paganini”)を短期で貸与したこともあり、楽器貸与委員会も今後の活躍を注目しているソリストであることから、来日公演にあたり、日本クラシック音楽界において同女史の存在を広く紹介するため支援した。

日 時	2001年10月18日(木) 19:00～
場 所	東京・サントリーホール
ソ リ ス ト	Ms. Sarah Chang (ヴァイオリン)
招 待 者	100名

④ 日本財団主催ミニコンサート開催の協力

日本財団ビル1階ロビーを利用しての第1回演奏会に当財団の楽器貸与者の出演協力をした。

日 時	2001年10月30日(火) 18:00～19:10
演奏者及び貸与楽器	渡辺玲子女史 (Stradivarius Violin 1709 “Engleman”) Mr. Steven Isserlis (Stradivarius Cello 1730 “Feuermann”) 伴奏 林絵里女史 (ピアノ)

⑤ 第43回東京国際ギターコンクール

協力依頼元	(社)日本ギター連盟
日 時	本選 2001年11月25日(日)
協力方法	日本音楽財団賞としてトロフィーを3基贈呈

⑥ ザルツブルグ・イースター音楽祭(2002年3月開催)に日本財団が支援するにあたり、当財団はその交渉並びに事務手続き等について積極的に協力した。

**2002年度**

① 日本財団主催ミニコンサート開催の協力

日本財団ビル1階ロビーを利用しての演奏会に協力した。

日 時	2002年7月4日(木) 18:00～19:10
演奏者及び貸与楽器	川井郁子女史 (del Gesu Violin 1736 “Muntz”) 伴奏 塩入俊哉氏 (ピアノ)

② 第44回東京国際ギターコンクール

協力依頼元 (社)日本ギター連盟  
期 日 本選 2002年11月25日(日)  
協力内容 日本音楽財団賞としてトロフィーを3基贈呈

- ③ 音楽界で有名なザルツブルグ・イースター音楽祭(2003年4月開催)に日本財団が支援するにあたり、当財団はその交渉並びに事務手続き等について積極的に協力した。

**2003年度**

① Pierre Boules指揮・Gustav Mahler Jugendorchester演奏会支援

当財団の楽器長期貸与者である諏訪内晶子女史が、グスタフ・マーラー・ユーゲント・オーケストラと来日公演をするにあたり、同女史と同オーケストラを広く紹介するため支援した。26歳以下のメンバーで構成されるグスタフ・マーラー・ユーゲント・オーケストラは、世界的指揮者クラウディオ・アバド氏がヨーロッパの有望な若手奏者を集めて作ったレベルの高いオーケストラである。

日 時 2003年4月22日(木) 19:00～  
場 所 東京・サントリーホール  
ソ リ ス ト 諏訪内晶子女史 (Stradivarius Violin 1714 “Dolphin”)  
招 待 数 100名

② 日本財団主催「ミニ・コンサート」開催の協力

日本財団ビル1階ロビーを利用しての演奏会に協力した。

日 時 2003年7月9日(水) 18:00～19:00  
演奏者及び貸与楽器 渡辺玲子女史 (Stradivarius Violin 1700 “Dragonetti”)  
伴奏 坂野伊都子女史 (ピアノ)

③ 日本財団主催「オープンリハーサル&ミニ・コンサート」開催の協力

一般公開チケット販売した11月26日、27日、28日の演奏会のために来日した楽器貸与者のうち3名によるオープンリハーサルおよびミニ・コンサートを日本財団との共催で開催し、無料で公開した。

日 時 2003年11月26日(水)  
オープンリハーサル11:00～ 演奏会12:10～13:00  
場 所 日本財団ビル1階 バウ・ルーム  
演奏者及び貸与楽器 Ms. Baiba Skride (Stradivarius Violin 1708 “Huggins”)  
Ms. Viviane Hagner (Stradivarius Violin 1717 “Sasserno”)  
檜本大進氏 (Stradivarius Violin 1722 “Jupiter”)  
伴 奏 江口 玲(ピアノ)

④ 第45回東京国際ギターコンクール

協力依頼元 (社)日本ギター連盟  
期 日 本選 2003年11月30日(日)  
協力内容 日本音楽財団賞としてトロフィーを2基贈呈  
(1位が該当無しのため2位、3位に授与)

- ⑤ 音楽界で有名なザルツブルグ・イースター音楽祭(2004年4月開催)に日本財団が支援するにあたり、当財団はその交渉並びに事務手続き等について積極的に協力した。

<b>A</b>	Their Majesties King <b>Albert</b> and Queen Paola	アルベール2世・パオラ王妃両殿下(ベルギー)
	<b>Amati</b> , Nicolo	ニコロ・アマティ
	<b>Anderson</b> , Greg	グレッグ・アンダーソン(piano)
	<b>Arai</b> , Eiji	荒井英治
	<b>Ashkenazy</b> , Vladimir	ウラディミール・アシュケナージ
<b>B</b>	<b>Baltimore</b> Symphony Orchestra	ボルチモアオーケストラ
	<b>Batiashvili</b> , Lisa	リサ・バティアシュヴィリ
	The Bavarian Radio Symphony Orchestra	バイエルン放送交響楽団
	<b>Beaver</b> , Martin	マーティン・ビーヴァー
	<b>Beijing</b> Music Festival	北京国際音楽祭
	<b>Berezovsky</b> , Boris	ボリス・ベレヅフスキー(piano)
	<b>Berman</b> , Pavel	パベル・バーマン
	<b>Boulez</b> , Pierre	ピエール・ブーレーズ
	<b>Broman</b> , Malin	マリン・ブロマン
	<b>Brown</b> , Ian	イアン・ブラウン(piano)
<b>C</b>	<b>Carreras</b> , Jose	ホセ・カレーラス
	<b>Chang</b> , Hanna	ハンナ・チャン
	<b>Chang</b> , Sarah	サラ・チャン
	The <b>Chateauville</b> Foundation	シャトーヴィール財団
	<b>Chiba</b> , Junko	千葉純子
	<b>China</b> Association for International Friendly Contact	中国国際友好連絡会
	<b>China</b> Philhamonic Orchestra	チャイナ・フィルハーモニック・オーケストラ
	Princess <b>Christina</b> Magnuson	クリスティーナ妃(スウェーデン)
	<b>Chung</b> , Kyung-Wha	チョン・キョン・ファ
	<b>Corcoran</b> Gallery of Arts	コーコラン美術館
	<b>Crawford-Phillips</b> , Simon	シモン・クロフォード・フィリップス(piano)
<b>D</b>	<b>Dawes</b> , Andrew	アンドリュー・ドウズ
	<b>del Gesu</b>	デル・ジェス(バルトロメオ・ジュゼッペ・ガッルネリの通称)
	<b>DeLay</b> , Dorothy	ドロシー・ディレイ
	<b>Dragonetti</b> , Domenico	ドメニコ・ドラゴネッティ
<b>E</b>	<b>Eguchi</b> , Akira	江口 玲(ピアニスト)
<b>F</b>	Her Majesty Queen <b>Fabiola</b>	ファビオラ王妃(ベルギー)
	<b>Feurmann</b> , Emanuel	エマニュエル・フォイアマン
	<b>Fischer</b> , Julia	ジュリア・フィッシャー
	<b>Fujiwara</b> , Hamao	藤原浜雄
	Dr. <b>Engleman</b> , E.P.	エンゲルマン博士
<b>G</b>	<b>Goding</b> , James	ジェームズ・ゴディング
	<b>Golan</b> , Itamar	イタマール・ゴラン(piano)
	<b>Gomyo</b> , Karen	五明カレン
	<b>Goncharova</b> , Tatiana	タチアナ・ゴンチャローヴァ(piano)
	<b>Goto</b> , Midori	五嶋みどり
	<b>Greensmith</b> , Clive	クライヴ・グリーンズミス
	<b>Guarneri</b> , Bartolomeo Giuseppe	バルトロメオ・ジュゼッペ・ガッルネリ
	Their Majesties King Carl XVI <b>Gustaf</b> and Queen Silvia	カール16世グスタフ国王・シルヴィア王妃(スウェーデン)
<b>H</b>	<b>Hagner</b> , Viviane	ヴィヴィアン・ハグナー
	<b>Hahn</b> , Hilary	ヒラリー・ハーン

	<b>Harada, Sadao</b>	原田禎夫
	<b>Hayashi, Eri</b>	林 絵里(piano)
	<b>Heifetz, Jascha</b>	ヤッシャ・ハイフェッツ
	<b>Hill, Andrew</b>	アンドリュー・ヒル
	<b>Huggins, Sir William</b>	ウィリアム・ハギンス卿
<b>I</b>	<b>Ichino, Ayumi</b>	市野あゆみ(piano)
	<b>Ikeda, Kikuei</b>	池田菊衛
	<b>Indiana University</b>	インディアナ大学
	<b>Ingolfsson, Judith</b>	ジュディス・インゴルフソン
	<b>Ishizaka, Danjulo</b>	石坂団十郎
	<b>Isomura, Kazuhide</b>	磯村和英
	<b>Isserlis, Steven</b>	ステイーヴン・イッサーリス
<b>J</b>	<b>Joachim, Joseph</b>	ヨーゼフ・ヨアヒム
	The <b>Juilliard School</b>	ジュリアード音楽院
<b>K</b>	<b>Kamio, Mayuko</b>	神尾真由子
	<b>Kashimoto, Daishin</b>	榎本大進
	<b>Kato, Tomoko</b>	加藤知子
	<b>Kawai, Ikuko</b>	川井郁子
	The Donald <b>Keene</b> Center	日本文化研究センター(コロンビア大学)
	HRH the Duke of <b>Kent</b> K.G.	ケント公(イギリス)
	<b>Kobayashi, Hibiki</b>	小林 響
	<b>Kobayashi, Michio</b>	小林道夫
	<b>Kopelman, Mikhail</b>	ミハイル・コペルマン
<b>L</b>	de <b>Launoit</b> , Comte Jean-Pierre	ジャン・ピエール・デ・ラオノア伯爵
	<b>Lincoln Center</b>	リンカーンセンター
	<b>Liu, Wei</b>	劉 薇(リュウ・ウェイ)
<b>M</b>	The <b>Maazel / Vilar</b> Conductors' Competition	マゼール・ヴィラー国際指揮者コンクール
	<b>Maazel, Lorin</b>	ロリン・マゼール
	Gustav <b>Mahler</b> Jugendorchester	グスタフ・マーラー・ユース・オーケストラ
	<b>Manhattan School of Music</b>	マンハッタン音楽院
	<b>Meyers, Anne Akiko</b>	アン・アキコ・マイヤース
	<b>Mikami, Keiko</b>	三上桂子(piano)
	<b>Mintz, Shlomo</b>	シュロモ・ミンツ
	<b>Morishita, Koji</b>	森下幸路
	<b>Mortier, Gerard</b>	ジェラルド・モルティエ
	<b>Muntz, H.M.</b>	ムンツ
<b>N</b>	<b>National Arts Center</b> , Canada	カナダ・ナショナル・アーツセンター
	<b>Neriki, Shigeo</b>	練木繁夫(piano)
<b>O</b>	<b>Ono, Akiko</b>	小野明子
<b>P</b>	<b>Paganini, Niccolo</b>	ニコロ・パガニーニ
	Conservatoire de <b>Paris</b>	パリ国立音楽院
	<b>Perlman, Itzhak</b>	イツァーク・パールマン
	<b>Philharmonia</b> Orchestra	フィルハーモニア管弦楽団
	<b>Pittsburgh</b> Symphony Orchestra	ピッツバーグ交響楽団
<b>Q</b>	The <b>Queen Elisabeth</b> International Music Competition, Belgium	ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール
<b>R</b>	<b>Rattle, Sir Simon</b>	サイモン・ラトル

	<b>Royal Academy of Music</b>	英国王立音楽院
<b>S</b>	<b>Sakano, Itsuko</b>	坂野伊都子(piano)
	<b>Salzburg Easter Festival</b>	ザルツブルグイースター音楽祭
	<b>Salzburg Festival</b>	ザルツブルグ音楽祭
	The Great Britain <b>Sasakawa Foundation</b>	グレートブリテン・ササカワ財団
	The <b>Sasakawa Japan-China Friendship Fund</b>	笹川日中友好基金
	The Scandinavia-Japan <b>Sasakawa Foundation</b>	スカンジナビア・ニッポンササカワ財団
	<b>Sato, Shunsuke</b>	佐藤俊介
	<b>Shimada, Machiko</b>	島田真千子
	<b>Shiono, Toshiya</b>	塩野俊哉(piano)
	<b>Shoji, Sayaka</b>	庄司紗矢香
	<b>Skride, Baiba</b>	バイバ・スクリッド
	<b>Skride, Lauma</b>	ラウマ・スクリッド(piano)
	<b>Smithsonian National Museum of Natural History</b>	スミソニアン研究所国立自然史博物館
	<b>Starker, Janos</b>	ヤーノシュ・シュタルケル
	<b>Stern, Issac</b>	アイザック・スターン
	<b>Stoltzman, Richard</b>	リチャード・ストルツマン (clarinet)
	<b>Stradivari, Antonio</b>	アントニオ・ストラディヴァリ
	<b>Stradivarius</b>	ストラディヴァリウス(アントニオ・ストラディヴァリ製作の楽器を言う)
	<b>Suwanai, Akiko</b>	諏訪内晶子
	The Royal Palace of <b>Sweden</b>	スウェーデン王宮
	The Royal <b>Swedish</b> Academy of Music	スウェーデン王立音楽アカデミー
<b>T</b>	<b>Takezawa, Ken</b>	竹澤 健
	<b>Terasawa, Nozomi</b>	寺沢希美
	<b>Tokunaga, Tsugio</b>	徳永二男
	<b>Tokyo String Quartet</b>	東京クワルテット
<b>U</b>	<b>Uchida, Akira</b>	内田 輝
	<b>Uemura, Naho</b>	植村菜穂
	<b>Umezu, Miho</b>	梅津美葉
	<b>Unno, Yoshio</b>	海野義雄
	<b>Urabe, Yumiko</b>	占部由美子(piano)
	<b>US-Japan Foundation</b>	米日財団
<b>V</b>	University of Music and Dramatic Arts in <b>Vienna</b>	ウィーン国立音楽院
<b>W</b>	<b>Washimiya, Miyuki</b>	鷺宮美幸(piano)
	<b>Watanabe, Reiko</b>	渡辺玲子
	<b>Wilhelmj, August</b>	オウガスト・ウィルヘルミ
<b>Y</b>	<b>Yasunaga, Toru</b>	安永 徹
	<b>Yoshida, Kyoko</b>	吉田恭子
	<b>Yoshida, Takatoshi</b>	吉田貴壽
	<b>Ysaye, Eugene</b>	ウジェーヌ・イザイ
<b>Z</b>	<b>Znaider, Nikolaj</b>	ニコライ・ズナイダー
	<b>Zukerman, Pinchas</b>	ピンカス・ズッカーマン

## 編集後記

音楽国際交流事業10年を記念して財団30年史を発行することにいたしました。振り返りますと、私は、この事業開始のために日本音楽財団に参りましたが、1992年末までサザビーズ・ジャパンの社長をしていました関係で、最初からこの業界のトップの方々からの情報を得ることができましたのも幸運でした。

また、弦楽器名器の分野では、ヒル商会がゆるぎない頂点として長年君臨していましたが、その世界的な鑑定の権威を継承していると言われているアンドリュー・ヒル氏に弦楽器購入以外にも協力を得られることができていたことも当財団にとっては財産であります。

もうひとりこの音楽国際交流事業になくはない人として挙げなければならないのは、世界的に著名な指揮者ロリン・マゼール氏であります。同氏には当財団の楽器貸与委員会委員長として、当初から貴重なご意見を頂戴しております。どの社会においても紹介者が誰であるかは大変重要なことです。私自身は同氏と旧知の仲ではありましたが、マゼール氏の紹介でヨーロッパ・アメリカにおいてもそれぞれの分野で最高峰の方々とは快く会っていただくことができ、次のプロジェクトへと進展することができました。

弦楽器名器の購入に関しては、当財団が演奏家への貸与を主要目的としているため、

名実ともに最高級品の楽器を保有すべきであることは、この事業を開始してから一貫しています。最初の購入が世界に6セットしか現存していないとされているストラディヴァリウス・クワルテットのうちの1セットであったことも財団にとっては、その後の楽器購入・貸与に良い方向に進む大きな一歩であったと思います。

私は音楽が好きですが、プロではありませんので、アマチュアの立場からトップの指揮者、演奏家と話す機会にいろいろと教えていただいております。それらがすべて当財団の事業運営に役立っています。

日本音楽財団は、ストラディヴァリウス等の弦楽器名器を19挺保有する現在、世界的に注目を浴びている財団になってきています。それらの期待に沿えるよう今後もできる限りの努力を惜しまず、邁進していきたいと思っております。

最後に、この10年間、日本財団をはじめ日本音楽財団を支えて下さった皆様に心より感謝いたします。

また私のもとで手足となって働いてくれたスタッフには、更なる成長を期待します。

日本音楽財団  
理事長 塩見 和子

2004年7月発行

発行 財団法人 日本音楽財団

〒107-0052

東京都港区赤坂 1-2-2

日本財団ビル 5階

Tel 03-6229-5566

Fax 03-6229-5570

<http://www.nmf.or.jp>

発行人 理事長 塩見 和子

企画・編集 責任者 楢林 欣也

石川 礼子

是則 祥子

富永 葉子

山田真理子

楽器撮影 日本アートプラザ 横山 進一

印刷・製本 大光社印刷株式会社